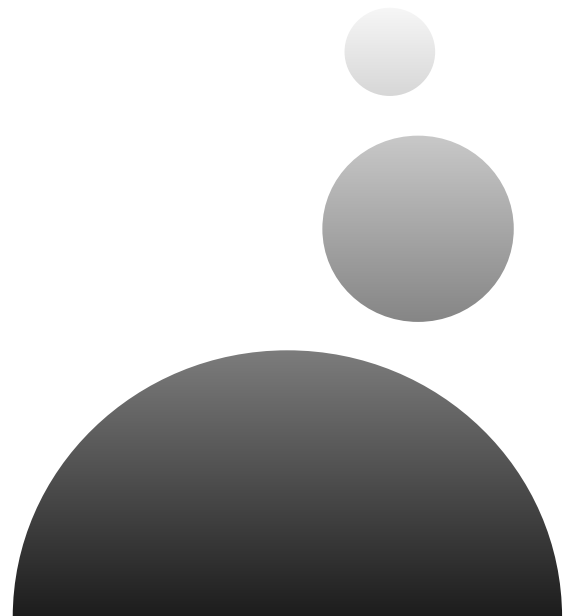


Design Your Style



Linux Based Web Portal Solution

テクニカルガイド



はじめに

セジオは我社の前製品であるコピーウェブソリューション2.5バージョンの後続製品として開発いたしました。前製品であるコピーソリューションは99年7月に1.0バージョンを発表して以来、6回に渡り改訂版を発表しながら多くの部分を改善してまいりましたが、1.0バージョンの基礎設計から大きく離れることができなかったことで、技術的な変化の要求を受容するのに多くの困難を伴いました。しかし、こういった困難を乗り越え、セジオはエンジンの安全性、拡張性、便利性を画期的に向上させるために新たな設計を基盤に開発されました。

セジオの特徴としてエンジンの安定した基盤を確保するために主エンジンと補助エンジンの二つに分離して構成いたしました。こうすることで、過去の総合エンジンから一部のモジュールエラーにより全体のシステムが不安定であった根本的な問題を解決いたしました。

認証センターはすべてのイントラセルの認証サービスを同時に提供し、メッセージセンターはすべてのイントラセルのチャットルームサービスをサポートいたします。これによりチャットルームに問題が生じたとしてもログイン機能はそのまま維持することができ、チャットルームを再開することが可能になりました。

またウェブインターフェイスの場合、基準のフィルタリング機能を更に体系化させ、ウェブインターフェイスを大幅に改善いたしました。新たに導入されたHTMLシェルの概念は便利な方法でHTML文書を維持管理できるようにして、ウェブメール及び掲示板にDHTMLエディタを導入し、マルチメディアを含んだ本文の編集が可能になりました。弊社独自に追加したスクリプトの一種であるウェブフィルタリング機能はウェブサービスをより動的に構成できるようにして、掲示物のマルチメディア資料を効果的に構成するよういたしました。

本説明書は技術的な説明に焦点を置いております。セジオに初めて接するユーザーが本説明書を十分に理解して活用するという点においては多少の難点があるであろうと思われます。セジオは販売開始後も持続的にホームページを通じ、機能が補完されたパッチバージョンについての情報を提供していくこととお約束いたします。説明書で不十分な点がございましたらセジオのホームページを参照し、問題解決にお役立てください。

用語の整理

1. ユーザー (User) : イントラセルに個人情報を入力し登録された使用者。IDとPasswordを利用しイントラセルにログインできる。
2. 接続者 (Logger、login User) : 現在ログインしている状態で、アクセスレベル(等級)とユーザーパーミッション(使用権限)が与えられた使用者。
3. ゲスト (Guest) : ログインできるように許容された仮想の使用者。
4. 会員 (Member) : コミュニティや個人ホームページの会員管理システムに加入した使用者。
5. イントラセル (Intracell) : ドメイン名を基盤にセジオ全体の機能の基本単位(イントラネットのASP概念)として一つのサーバに複数設置が可能。
6. イントラネット (Intranet) : イントラセルの基本構成要素。使用者の認証後使用するウェブサービス。
7. ホームページ (Homepage) : HTTPプロトコルのURLを基盤として提供されるウェブサービス。
8. コミュニティ (Closed User Group⇒Group) : 多数の使用者が共通の目的で運営する小規模コミュニティ。
9. セジオ管理者 (Segio Administrator) : セジオの環境設定ファイルでE-mailアドレスの形態で指定される管理者としてE-mailアドレスは所属のイントラセルの代表ドメインアドレスとイントラセルでのユーザーIDで組み合わせられる。セジオ管理者はセジオシステムの運営を担当する。
10. イントラセル管理者 (Intracell Administrator) : イントラセルに登録されたユーザーの中でユーザーレベルがレベル9(9等級)であるユーザー。イントラセルの所有権者として登録されたユーザーもレベル9の権限(パーミッション)を持つ。
11. コミュニティ管理者 (Group Administrator) : コミュニティの会員等級がレベル9のユーザー。コミュニティの所有権者として指定されたユーザーもレベル9のパーミッションを持つ。
12. システム管理者 (System Administrator) : リナックス/ユニックスのスーパーユーザー;root
13. システムユーザー (System User) : リナックス/ユニックスに登録されたユーザー。
14. 添付ファイル (Attached file) : 掲示物の本文に表示されない資料ファイル。
15. インラインファイル (Inline file) : 掲示物の本文の一部を表示する資料ファイル (HTML本文にイメージファイルがリンクされた場合、イメージファイルはインラインファイルになる)。
16. ウェブフィルタリング (HTML Filtration) : HTML文書に適用するスクリプトで動的なHTMLを構成する技法。
17. シェル文書 (HTML shell) : 一般的なHTML文書の外郭を取り囲むための文書。

目 次

第1章 設置	1
1. 1 基本パッケージの設置	1
イ、基本パッケージの圧縮解凍	1
ロ、環境設定	2
ハ、Procmailの設置	5
ニ、DataBaseの設置	6
1. 2 イントラセルの設置	9
イ、シェル命令による直接設置	9
ロ、イントラセルディレクトリ	10
ハ、ウェブデーモンの実行及び実行設定	11
1. 3 セジオの管理ツール	12
イ、イントラセルホスト管理	12
ロ、ウェブサーバの環境設定	16
ハ、共有ウェブ資源	20
 第2章 HTMLウェブサービス	23
2. 1 ホームページ & イン트라ネット	23
イ、ホームページ	24
ロ、イン트라ネット	24
2. 2 ウェブフィルタリングスクリプト	26
イ、ウェブフィルタリングの表記法	26
ロ、一般予約語	27
ハ、掲示板関連の予約語	41
2. 3 HTML SHELL	48
イ、フレーム構成	48

ロ、HTML SHELL	51
ハ、シェルテンプレート & ロケーション	55
ニ、HTMLシェルの作動例	56
2. 4 CGI / PHPの拡張	59
イ、CGIバイナリ	59
ロ、PHP	62
第3章 掲示板	67
3. 1 掲示板管理	67
イ、掲示板管理ツール	68
ロ、掲示板環境設定	69
ハ、掲示板リンク	74
3. 2 掲示板フィルタ	76
イ、編集フィルタの作成	77
ロ、表示フィルタの作成	84
ハ、リストフィルタの作成	88
ニ、認証フィルタの作成	91
3. 3 掲示板スタイル	91
イ、掲示板アイコン	92
ロ、掲示板の環境設定フィルタ	95
第4章 イン트라セル	109
4. 1 イン트라ネット	109
イ、ログイン及び管理ツール	109
ロ、ユーザー管理	111
ハ、ウェブディレクトリ管理	116
4. 2 コミュニティサービス	119

イ、コミュニティ生成及び環境設定	119
ロ、コミュニティ管理者	122
ハ、コミュニティ掲示板の自動化	124
4. 3 ユーザーサービス	126
イ、ユーザーサービスの構成	126
ロ、環境設定及び統計	127
第5章 メッセージサービス	130
5. 1 メッセージ及びチャット	130
イ、セジオメッセンジャー	130
ロ、メッセージ(Memo)	131
ハ、チャット	133
5. 2 ウェブメールサービス	139
イ、サービスURLリンク	140
ロ、ウェブメール環境設定	141
ハ、ウェブメール構成	142
ニ、ユーザー管理項目	161
ホ、迷惑メールのフィルタリング設定	164

第1章 設置

セジオはLinux/Unix基盤のウェブデーモンであり、本説明書はリナックス・カーネル2.6以上のシステムを基準に編集されました。セジオの設置は基本パッケージとイントラセルの設置プロセスで区分され、設置に必要な販売用CDに記録されています。また設置及びテストの目的で使用するための試験用バージョンは下のサイトでダウンロードすることができます。

<http://file.segio.com/>

1.1 基本パッケージの設置

rpm設置ファイルをダウンロードした場合、設置後“/etc/shttpd/bin/configure”を実行させると本説明書の第1章2節まで完了することができます。第1章の1節と2節は圧縮ファイルをダウンロードして直接設置する方法を説明しています。説明書の設置プロセスはシステム管理者(root)のアカウントでログイン後に施行し、設置されたすべてのセジオ関連資料は指定されたシステムユーザーの所有として変更するようにします。本説明書は指定システムユーザーを“segio”と仮定しています。Redhat系列のリナックスシステムであるrpmファイルをダウンロードして設置プロセスを簡素化することが可能です。

イ、基本パッケージの圧縮解凍

システム管理者としてログインした後、システムユーザーのアカウントを登録します。

```
[root@sm t]# adduser segio
```

⇒ システムユーザー登録

次に基本パッケージの圧縮を解凍して“/etc/shttpd/”に移します。

```
[root@sm t]# tar xf shttpd.*tar
```

⇒ パッケージファイルの圧縮解凍

```
[root@sm t]# move shttpd /etc/
```

⇒ 実行バイナリディレクトリの移動

```
[root@sm t]# chown -R segio:segio /etc/shttpd
```

⇒ システムユーザーの所有権変換

基本パッケージが設置されると次のような下位ディレクトリの構造を所有することになります。

/etc/shttpd/	bin/	⇒ 基本実行ファイルの位置
	tmp/	⇒ 臨時作業ファイルの位置
	cgi-bin/	⇒ 応用ウェブアプリケーションの位置
	data/	⇒ 応用テンプレート、イントラセルモデル資料の位置
	logs/	⇒ ログ分析資料の位置
	conf/	⇒ 環境設定ファイル、言語指定ファイルなどの位置
	icons/	⇒ イントラセル共有アイコンディレクトリの位置

各ディレクトリには実行バイナリと設定ファイルが位置しており、これはセジオの運営に直接関与するため任意で削除することを禁じます。

ロ、環境設定

“/etc/shttpd/conf/”にはセジオの各種環境設定ファイルが位置しています。この環境設定ファイルには次のような種類が存在します。

shttpd.conf	⇒ ウェブデーモンの基礎環境設定
hosts.conf	⇒ イントラセル、バーチャルホスティング環境設定
mimetypes.conf	⇒ ファイル拡張子によるMime type設定
spamword.dat	⇒ 迷惑メールフィルタリングデータ
fileicon.conf	⇒ ファイル拡張子によるアイコン表示の環境設定
m_virtuser.conf	⇒ ウェブメールバーチャルユーザー追加指定 * ウェブメールの説明を参照
m_localhost.conf	⇒ ウェブメールローカルホストの追加指定 * ウェブメールの説明を参照
word-jp.conf	⇒ 日本語言語指定ファイル
word-kr.conf	⇒ ハングル言語指定ファイル
word-cn.conf	⇒ 中国語言語指定ファイル
word-en.conf	⇒ en言語指定ファイル

* 言語指定ファイルは場合により構成要素が変えることができます。

“/etc/shttpd/bin/”ディレクトリの“configure”を実行させると環境設定と共に最初のイントラセルを設置するようになります。

セジオウェブデーモンの環境設定(shttpd.conf)

“shttpd.conf”ファイルは重要な環境変数を設定するのでウェブを通じた遠隔管理ツールがサポートされ

ません。したがってViエディタにより編集することができ、編集後には必ずセジオを再実行させなければなりません。

NAME	“セジオホームページ”
IPADDRESS	“192.168.1.1”
USER	“segio”
GROUP	“segio”
ADMIN	“summer@sm.kseek.com wind@sm.kseek.com”
HTTTPORT	“80”
FLAG_MAIL	“ON”

環境設定では次のような予約語が使用されます。

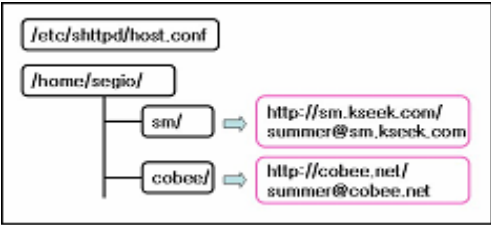
予約語	内容	説明例
NAME	システム名	セジオネット
IPADDRESS	IPアドレス	168.1.1.24
MAILHOST	メールホスト(IP address)	127.0.0.1
USER	システムユーザーアカウント	segio
GROUP	システムユーザーグループアカウント	segio
HTTTPORT	ウェブサーバ公式使用Port	80
ADMIN	セジオ管理者指定	summer@sm.kseek.com
FLAG_MAIL	ウェブメールをサポートするオプション(パスワード配置)	ON/OFF

“ADMIN”は複数のユーザーの指定が可能であり、次のように解釈することができます。セジオ管理者はイントラセルの設置、環境設定、共有資源の管理など強力なパーミッションが与えられます。

ADMIN	“summer@sm.kseek.com wind@test.kseek.com”
⇒	sm.kseek.comドメインが指定されたイントラセルのsummerユーザーと
⇒	test.kseek.comドメインが指定されたイントラセルのwindユーザーがセジオ管理者になる

ホスト設定(hosts.conf)

ウェブサービスはホストのアドレスを含むURLアドレス形式で提供します。セジオのサービス単位であるイントラセル、バーチャルホームページなどの関係を設定します。次の図は一つのサーバに二つのイントラセルが設置されたことを表示する模式図です。



イントラセルは特定のディレクトリを基盤としてドメインアドレスに該当するセジオのすべてのウェブサービスを提供する基本単位です。一つのサーバには多数のイントラセルを設置することができ、また設置できるイントラセルは使用権ライセンスにより限定されます。各イントラセルには多数のユーザーが加入し共通のイントラネットとして運営されます。次はhosts.confの設定例です。

CELL 00	
Intranet	":sm.kseek.com" "/home/segio/sm/"
Diskquota	40960
MaxUser	200
MaxLogin	30
MaxMailUser	30
MaxGroup	15
MaxBoard	27
Owner	"sysop"
VirtHome	":sss.kseek.com" "sss/"
VirtHome	":ddd.kseek.com" "ddd/"
CELL 01	
Intranet	":test.kseek.com" "/home/segio/test/"
Diskquota	1096
MaxUser	5
MaxLogin	5
MaxGroup	5
MaxBoard	7
MaxMailUser	5
Owner	"colt357"
VirtHome	":home1.kseek.com" "home1"

次はイントラセルの指定に関連する予約語と指定項目についての要約内容です。

予約語	指定項目1	指定項目2	説明
CELL	イントラセルナンバー		0～999までの数を指定
Intranet	ホスト名	基礎ディレクトリ	“ホスト1”がE-mailアドレスの組み合わせに使用
DiskQuota	ディスク割当量		Mbyte単位の数字で入力
MaxUser	ユーザー登録制限		ユーザーとして登録可能な最大数
Maxlogin	同時接続制限		同時に接続することができる最大数
MaxGroup	コミュニティ開始制限		開設可能なコミュニティ数
MaxBoard	掲示板開始制限		開設可能な掲示板数(コミュニティ、個人含む)
MaxMailUser	電子メールユーザー制限		同時にメールを使用可能な最大数
Owner	指定管理者UID		所有者のユーザーID
VirtHome	ホスト名	相対ディレクトリ	追加的バーチャルホームページアドレスの登録

イントラセルは0番から使用権が確保されたイントラセル数以内の番号で指定されます。“Intranet”で指定する基礎ディレクトリはシステム上のディレクトリ経路を意味し、また“VirtHome”と指定する相対ディレクトリはイントラセルの“html/”下位経路でウェブサービスが提供されることを意味します。

上の環境設定はセジオ管理者に提供される管理ツールを利用すると簡単に設定することができます。ただし手動でセジオを設置する場合は最初のイントラセルを設置するため上のように直接エディタを利用し設定しなければなりません。

ハ、Procmailの設置

Procmailは電子メールをユーザーの受信箱に保存するプログラムとして配布バージョンに圧縮ファイルとして含まれています。これを設置するためにはrootアカウントでログインしなければならず、gccコンパイラが必要になります。

```
[root@sm t]# ls
procmail.tar
[root@sm t]# tar xf procmail.tar
[root@sm t]# cd procmail
[root@sm procmail]# make
```

コンパイルが終了したら次のような命令を実行し設置を完了させます。

```
make install-suid
```

イントラセルはユーザーにバーチャルメールアカウントの使用を可能にします。まず、バーチャルメールアカウントが使用できるようにセンドメールの環境設定 (/etc/mail/sendmail.cf) である次の設定部分を変更しなければなりません。

```
# operators that cannot be in local usernames (i.e., network indicators)
CO @ % !
```

次のようにオプションを無効化させます。

```
# operators that cannot be in local usernames (i.e., network indicators)
#CO @ % !
```

センドメールを再実行させるかもしくはシステムを再起動しなければなりません。

二、DataBaseの設置

セジオの一部実行ファイルはPostgreSQLと連携されているので、円滑な作動を行うためにはデータベースを必ず設置しなければなりません。またSegioと連動するPHPはPostgreSQLとMySQLをサポートするのでPHPと共にMySQLを使用するためにはMySQLを設置しなければなりません。

区分	詳細内容
Mysql	ーVersion : 4.1 以上 (4.1 以下未満の場合UTF-8をサポートしない) ーライブラリの位置 : /usr/lib ーO/S : RedHat 9.0 以上
Postgresql	ーVersion : 7.3 以上 ーライブラリの位置 : /usr/lib ーO/S : RedHat 9.0 以上

最近MySQLと連動される多数のS/Wが公開バージョンとして広く使用されているが、使用権政策が変更されたためにMySQLの使用権は別途として確保しなければなりません。また言及された2種のDateBaseはすべてUTF-8の文字セットをサポートしなければなりません。

PostgreSQL

システムに7.x 以上のバージョンが設置されていなければ7.x 以上のバージョンを設置しなければなりません。まず、次のような方法で設置されたPostgreSQLのバージョンを確認します。

```
[root@sm t]# psql --version
psql (PostgreSQL) 7.3.4
```

PostgreSQLの7.x バージョンが設置されていたら、PostgreSQL設置を省略します。もし7.x 以下のバー

ジョンが設置されていたら7.xバージョンを設置します。リナックスバージョンを参照し該当するRPMパッケージを次のアドレスでダウンロードします。

<http://www.postgresql.org/ftp/binary/>

次のようなRPMパッケージを設置します。

postgresql-server-7.3.4-1PGDG.i386.rpm	⇒ サーバパッケージ
postgresql-7.3.4-1PGDG.i386.rpm	⇒ Clientパッケージ
postgresql-devel-7.3.4-1PGDG.i386.rpm	⇒ DB連動開発ライブラリ
postgresql-docs-7.3.4-1PGDG.i386.rpm	⇒ ヘルプパッケージ
postgresql-libs-7.3.4-1PGDG.i386.rpm	⇒ PostgreSQLの実行ライブラリ

ダウンロードしたRPMパッケージを次の順序で設置します。

```
[root@sm t]# ls ↵
postgresql-7.3.4-1PGDG.i386.rpm          postgresql-devel-7.3.4-1PGDG.i386.rpm
postgresql-docs-7.3.4-1PGDG.i386.rpm     postgresql-libs-7.3.4-1PGDG.i386.rpm
postgresql-server-7.3.4-1PGDG.i386.rpm

[root@sm t]# rpm -ivh postgresql-7.3.4-1PGDG.i386.rpm ↵
[root@sm t]# rpm -ivh postgresql-devel-7.3.4-1PGDG.i386.rpm ↵
[root@sm t]# rpm -ivh postgresql-docs-7.3.4-1PGDG.i386.rpm ↵
[root@sm t]# rpm -ivh postgresql-libs-7.3.4-1PGDG.i386.rpm ↵
[root@sm t]# rpm -ivh postgresql-server-7.3.4-1PGDG.i386.rpm↵
```

次のような方法で設置の可否を確認することができます。

```
[root@sm t]# rpm -qa | grep postgres ↵
postgresql-jdbc-7.3.2-3
postgresql-contrib-7.3.2-3
postgresql-test-7.3.2-3
postgresql-python-7.3.2-3
gnucash-backend-postgres-1.8.1-3
postgresql-odbc-7.2.5-1
postgresql-server-7.3.2-3
postgresql-libs-7.3.2-3
postgresql-devel-7.3.2-3
postgresql72-libs-1-3
postgresql-tcl-7.3.2-3
postgresql-docs-7.3.2-3
postgresql-7.3.2-3
postgresql-pl-7.3.2-3
```

MySQL

MySQLは4.1以上のバージョンを設置しなければなりません。次のように設置されたバージョンを確認します。

<pre>[root@sm t]#mysql -version↵ mySQL Ver 14.7Distrib 4.1.7, for pc-linux(i686)</pre>	⇒ 設置されたバージョン確認のための命令 ⇒ 現在のバージョンを確認することができる。
--	---

ウェブブラウザを利用し次のアドレスからMySQL RPMパッケージをダウンロードします。

URL: http://dev.mysql.com/downloads/mysql/4.1.html
--

円滑な動作を行うために次のRPMパッケージを設置するようにします。

MySQL-server-4.1.7-0.i386.rpm	⇒ サーバプログラム
MySQL-client-4.1.7-0.i386.rpm	⇒ Clientプログラム
MySQL-devel-4.1.7-0.i386.rpm	⇒ MySQLライブラリ

ダウンロードしたRPMパッケージを次のような順序で設置します。(基準のMySQLは削除すること！)

<pre>[root@sm t]# ls ↵ MySQL-client-4.1.7-0.i386.rpm MySQL-server-4.1.7-0.i386.rpm MySQL-devel-4.1.7-0.i386.rpm MySQL-shared-4.1.7-0.i386.rpm [root@sm t]# [root@sm t]# rpm -ivh MySQL-server-4.1.7-0.i386.rpm ↵ [root@sm t]# rpm -ivh MySQL-client-4.1.7-0.i386.rpm↵ [root@sm t]# rpm -ivh MySQL-devel-4.1.7-0.i386.rpm↵</pre>

次のようにMySQLが正常的に設置されたかを確認します。

<pre>[root@sm t]# rpm -qa grep MySQL MySQL-devel-4.1.7-0 MySQL-python-0.9.1-6 qt-MySQL-3.1.1-6 MySQL-shared-4.1.7-0 MySQL-client-4.1.7-0 perl-DBD-MySQL-2.1021-3 MySQL-server-4.1.7-0</pre>

1.2 イントラセルの設置

イントラセルはイントラネット及びホームページサービスを提供する基本単位です。イントラセルの構造をよく知る管理者であれば直接設置することもできますが、これは大変複雑な作業を伴うので基準のイントラネット圧縮資料を利用し、手軽に設置して用途に合うように修正する方法をおすすめいたします。

“/etc/shttpd/bin/configure/”を実行すると環境設定と共にイントラセルの設置を手軽に進行することができます。初期のイントラセルが設置されるとウェブ管理ツールによるイントラセルの設置が可能になります。

イ、シェル命令による直接設置

configureスクリプトを実行するとイントラセルディレクトリが作成され、file.segio.comサイトで“/etc/shttpd/data/source/”に存在する“*.cob”形式のモデルファイルの中で選択し圧縮を解凍します。次はイントラセル0番に指定されたセルディレクトリ名を表示しています。

```
Intranet      ":sm.kseek.com:sm" "/home/segio/sm/"
```

次のような順序でディレクトリを作成してイントラセルモデルファイルの圧縮を解凍します。

```
[root@sm sm]# ls /etc/shttpd/data/source ↵
group          基礎モデル.cob    小学校.cob      中学校.cob      高等学校.cob    基本モデル.cob
日本語基礎.cob  日本語基本.cob    中国杆體基本.cob  中国杆體基礎.cob  basic.cob        community.cob
```

イントラセルの下位経路に含まれたすべてのディレクトリとファイルの所有権を変更します。

```
[root@sm sm]# chown -R segio:segio . * ↵
```

file.segio.comでは一部のシェル命令による直接設置を希望するユーザーのため“*.tar”形式のモデルファイルを提供します。関連ファイルをダウンロードし上のような方法で圧縮を解凍して使用権を変更させ使用することができます。

イントラセル管理者

初期イントラセルのモデルに管理者が加入しているならばモデルに設定された管理者のユーザーID及びパスワードを入力してログインすることができます。また、新規ユーザーで加入しイントラセル管理者として接続するためには次のような手順に従います。

1. /etc/shttpd/conf/hosts.confファイルのowner項目に希望のIDを記録する。
 2. 該当するイントラセルのユーザー新規登録手順に従って登録する。
 3. ユーザーIDとパスワードを入力してログインすると自動的に管理者の権限になります。

基本的に配布されるイントラセルには“sysop”というユーザーIDとパスワード(“segio”)を入力し、レベル9でログインすることができます。*セキュリティ上問題になる恐れがあるので管理者としてログイン後すぐにパスワードを変更するもしくはイントラセル管理者を他のユーザーに変更しなければなりません。また、新しいイントラセルを編集する場合には“sysop”でログインできるようにするか、あるいは編集可能である他のIDを作成しなければなりません。

ロ、イントラセルディレクトリ

“hosts.conf”で指定されたイントラセルは次のような一定した形式の構造を持っています。

/home/segio/sm/	etc/	⇒	イントラネットの環境設定及びその他ファイルが位置する
	home/	⇒	ユーザーディレクトリ
	group/	⇒	コミュニティディレクトリ
	tmp/	⇒	臨時スワッピングディレクトリ
	board/	⇒	掲示板ディレクトリ
	filter/	⇒	フィルタ位置
	data/	⇒	応用データが位置
	logs/	⇒	ログ分析データが位置
	html/	⇒	ホームページ運営のためのディレクトリ

掲示板(“board/”)、コミュニティ(“group/”)、ユーザー(“home/”)などのディレクトリには大量の資料が蓄積する可能性もあります。ハードディスクを効率的に使用するために別途のパーティションにソフトリンクを設置し使用することもできます。

設置に必要な基本パッケージ、イントラセルパッケージ及び各種マニュアルなどは次のURLで取得することができます。

```
http://file.segio.com/
```

ハ、ウェブデーモンの実行及び実行設定

ウェブデーモンはroot権限として次のような命令が実行されます。

```
[root@sm home]# /etc/shttpd/bin/shttpd ↵
```

ウェブデーモンが実行されたならば初めに設置されたイントラネットに接続しウェブサービスとして提供されるシステム管理ツールを使用することができます。

自動実行設定

手動設置をしたとしても“/etc/shttpd/configure”により設置が完了されたならばntsysv項目に自動実行設定が追加されて便利な方法でウェブデーモンを再始動することができます。その反面、configureによる設置に失敗した場合や手動設置する場合には次の内容を編集して“/etc/rc.d/rc.local”ファイルに追加しなければなりません。

```
if [ -f /etc/shttpd/bin/shttpd ] ; then
    /etc/shttpd/bin/shttpd
    echo “shttpd started”
fi
```

可能であればconfigureによりntsysv項目として登録することをお勧めします。

1.3 セジオの管理ツール

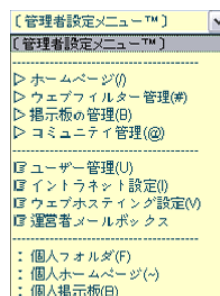
セジオ管理者はイントラセルを設置することができ、また共有資料ディレクトリを管理することができます。セジオ管理者は“/etc/shttpd/conf/shttpd.conf”ファイルで“Admin”予約語として次のように指定されます。

```
Admin "summer@sm.kseek.com wind@sm.kseek.com"
```

“sm.kseek.com”を基本ドメインとして使用しているイントラセルの“summer”というユーザーがセジオの管理者になります。summerは0番のイントラセル管理ツールを利用すればイントラセルを設置することができますが、最初のイントラセルは手動で設置しなければなりません。

イ、イントラセルのホスト管理

イントラセルの新規設置や複数のイントラセルで共通に使用する環境の管理を行うためにはセジオ管理者としてログインしなければなりません。セジオ管理者はイントラセル管理者として指定されなければならない、管理者として指定されると第4章1節で説明している次のような管理ツールを利用することができます。



次はログインしたイントラセル管理者に提供される管理ツールの画面です。“ウェブホスティング管理”を選択すると次のようなセジオの管理ツールが現れます。セジオの管理ツールはホスティング設定だけでなく単語、MimeType、アイコン、コミュニティモデル

などを設定することができるようにサポートされています。

ホスト設定	言語辞典	マイム設定	アイコン設定	モデル設定			システム情報		
Cell No.	HostNames		BasePath	Disk	User	Mail	Board	Group	Owner
Cell_00	jp.segio.com		home/segio/cell00/	40G	20	0	30	15	segio
Cell_01	b-jp.segio.com		home/segio/cell01/	40G	0	0	0	0	segio
Cell_02				0.0K	0	0	0	0	

Cell: 2/3 VHome: 0/25 User: 20/20 Home: 0/20 Email: 0/20 Board: 30/40 Group: 15/15 Msg: 0/20

図では00番のイントラセルが設置されていることを表示しています。下の部分には現在のバイナリ使用権情報を表します。01番は空いている領域として表されており、セルボタンをクリックし追加的なイントラセルを設置することができます。イントラセルを設置したとしても設置された基本パッケージのイントラセル使用権数を超過した番号のイントラセルは作動されません。

イントラセルの設定変更

イントラセルの番号ボタンをクリックするとイントラセルのホスティング情報を変更する管理ツールが現われます。次の図は“CELL_00”ボタンをクリックした時に現われるホスティング情報の管理ツールであり、これは新規イントラセルの登録画面と同様になります。

ホスト設定	言語辞典	マイム設定	アイコン設定	モデル設定	システム情報
Cell Configuration 00				Additional HomePages	
HostName	jp.segio.com			Host	
Directory	/home/segio/cell00/			Path	
Owner (UID)	segio				
DiskQuota	40960 MB				
MaxBoard	30				
MaxGroup	15				
MaxUser	20				
MaxLogin	20				
MaxMailUser	0				
Cell Status					
User				5/20	
Disk				14M/40G	
Loger				1/20	
Board				21/30	
Group				5/15	
Passwd time	Mon Oct 3 15:42:48 2005				

図の左側はイントラセルの主催事項を設定する部分です。右側の部分は追加的にバーチャルホームページを設定する部分でありイントラセル管理者の要請によりセジオ管理者が追加することができます。左側の下の部分は現在のイントラセル使用状態を分かりやすく表示しています。各設定項目別の意味と設定例は次のようになります。

設定項目	説明	設定例
ホスト名	ホームページURLとして使用されるホスト名	sm.kseek.com
Directory	イントラセルディレクトリ経路	/home/segio/sm/
Owner	イントラセルオーナー	sysop summer
DiskQuota	イントラセルで使用する最大容量(MByte単位)	4096
MaxUser	最大ユーザー数(登録できるユーザー)	2000
MaxBoard	開設可能である最大掲示板数	20
MaxMailUser	イントラセルで電子メールを使用できる最大ユーザー数	20
Maxlogin	イントラセルに同時にログインできる最大ユーザー数	20

2つのホスト名が入力されたがこれらはすべてのイントラセルのホームページアドレスとして使用され、最初のホスト名は電子メールアドレスに表示されます。イントラセルのオーナーはユーザーIDで入力し、空白で区分し複数指定することができます。

バーチャルホームページ

イントラセル別に平均5個ほどのバーチャルホームページを指定することができます。例えば、イントラセルで会社のホームページを運営するならばバーチャルホームページはイベントや商品の広報のための別途のホームページとして運営することができます。次はウェブサーバにアクセスするURLと対応する実際のディレクトリとの関係を表しています。

1. http://sm.kseek.com/	⇒ /home/segio/sm/html/
2. http://sm.kseek.com/ddd/	⇒ /home/segio/sm/html/ddd/
3. http://ddd.segio.com/	⇒ /home/segio/sm/html/ddd/

1番と2番のURLは同じHTML文書経路に位置するので同一に表示することができます。バーチャルホームページはイントラセル“html/”の相対的な位置で指定されるのでイントラセル管理者が管理することにな

ります。

イントラセルの環境設定

ホストリストでホスト名をクリックするとイントラセルの環境設定ツールが現れます。

イントラセル (segio@jp01.segio.com)									
ネーム	SEGIO Web Solution 3.0			掲示板アイコン	jp				
ログアウト制限時間	6000			EffectWidth	98%				
リストの長さ	20			掲示物の容量	0				
ページの長さ	10			掲示板容量	0				
言語	jp			WebMaster					
レベル設定 MB/BoardName	0 level	0	0	ゲスト	5 level	10	2	5レベル	
	1 level	10	2	1レベル	6 level	10	2	6レベル	
	2 level	10	2	2レベル	7 level	10	2	7レベル	
	3 level	10	2	3レベル	8 level	10	2	8レベル	
	4 level	10	2	4レベル	9 level	10	2	管理者	
選択事項	☒ realname ☒ webmail ☒ messenger ☒ chatting ☒ webdisk								
色相設定	BorderColor	#EEEEEE		BodyBGcolor	#FFFFFF		TextBGcolor	#FFFFFF	
	ListBGcolor	#FFFFFF		ListOVCcolor	#6F6F6		ListSWcolor	#EFEFEF	
	TextColor	#333333		AtextColor	#333333		BarrierColor	#D8D8D8	
	HeadBGcolor	#EFEFEF		ReverseColor	#666666		NameBGcolor	#EFEFEF	
掲示板上段	<TABLE WIDTH=100% BORDER=0 CELLSPACING=0> <TR height="50"> <TD width="50%"> <table width="100%" border="0" cellpadding="0" cellspacing="0"> <tr>								
掲示板下段									
MailSetup (segio@jp01.segio.com)									
メール文字セット	euc-jp			Webmail Headの高さ	152				
メールサイズ	0			WebMail Menuの広さ	210				
メール受信文字セット	euc-jp								
掲示板転換	ReceiptUIDs			TargetBoard					
	segio sysop webmaster			mastemail			brd		
	windboy			@marketmail			brd		
							brd		

保存

初期化

イントラセルの環境設定ではイントラセルの指定管理者や各セルのレベル9である管理者にパーミッションが与えられますが、セジオ管理者も上のような方法でイントラセル管理者の設定ミスなどを復旧することができます。またこの部分はイントラセルのウェブメール環境設定の内容も同時に含みます。

新規イントラセルの設置

次の図ではホストリストで空いているイントラセルをクリックすると新規イントラセルを登録することができます。まず新規イントラセルを登録するため次の画面に転換します。

ホスト設定	言語辞典	マイム設定	アイコン設定	モデル設定	システム情報
Cell Configuration 02			Additional HomePages		
HostName			Host		
Directory	==Select== ☐ Make		Path		
Owner (UID)					
DiskQuota	0	MB			
MaxBoard	0				
MaxGroup	0				
MaxUser	0				
MaxLogin	0				
MaxMailUser	0				
Cell Status					
User		0/0			
Disk		0.0K/0.0K			
Loger		0/0			
Board		0/0			
Group		0/0			
Passwd time					
			適用 初期化 取消		

新規イントラセルはホスト名とイントラセルディレクトリを入力し作成することができます。ディスク使用量や最大ユーザー数などを入力して“適用”ボタンをクリックするとホスト行に含まれるようになります。ディレクトリがまだ設置されていない場合、イントラセルモデルを選択して“Make”チェックボックスを選択した後、“適用”ボタンをクリックするとディレクトリが生成され、ディレクトリが構成形式に編成されます。イントラセルモデルはモデル管理ツールで管理することができます。初めて設置する場合、ディレクトリ名とホスト名を入力し、詳細設定項目を調節しホスト登録を先にしてからもう一度編集モードでディレクトリ作成及びモデル登録をすることができます。モデル作用は新規ディレクトリの作成時、一度だけ実行することができます。

ロ、ウェブサービスの環境設定

サーバすべてのイントラセルで共通的に活用されるウェブサービスの環境設定項目としてはファイルアイコン、MimeType、言語別辞典、コミュニティモデルなどがあります。これらはすべてのイントラセルで共通的に活用され、“/etc/shttpd/conf/”ディレクトリに位置しています。

言語別辞典設定

イントラセルごと使用言語を選択できるようにしていますがそのためセジオ管理者はサポートする言語別に辞典を設定しています。次は日本語辞典設定の管理画面を表示しています。

ホスト設定	言語辞典	マイム設定	アイコン設定	モデル設定	システム情報
en_jp_kr 適用 初期化 削除 New					
Overall					
Address	住所	err_CellDiskQuota	イントラセル割当量が超過しました。		
Available	使用可容量	err_DiskQuota	ディスク容量のエラー		
BoardHead	掲示板上段	err_FobiddenChar	禁止された文字が含まれています。		
BoardIcon	掲示板アイコン	err_InputData	入力した情報にエラーがあります。		
BoardQuota	掲示板容量	err_InvalidCommand	有効でない命令です。		
BoardTail	掲示板下段	err_InvalidLength	長さのエラー		
Cancel	取消	err_InvalidNumber	有効でないナンバーです。		
ColorSetup	色相設定	err_InvalidPasswd	パスワードが正しくありません。		
Context	コンテンツ	err_InvalidPath	有効でない経路です。		
Copy	コピー	err_InvalidUser	ユーザーが存在しません。		
Date	日付	err_LogOff	ログインしてください。		
DiskQuota	割当量	err_NoChecked	選択事項は存在しません。		
FaxNumber	ファックス番号	err_NoData	資料が存在しません。		
File	ファイル	err_NoFileName	ファイル名が存在しません。		
GroupAdmin	コミュニティ管理	err_NoNewID	新しいIDが存在しません。		
IdleTime	ログアウト制限時間	err_NoPassword	パスワードが存在しません。		
LevelSetup	レベル設定	err_NoSelected	選択した項目は存在しません。		
ListLength	リストの長さ	err_NoTitle	件名 [指定なし]		
MaxLogin	同時アクセス数	err_NoUserName	ユーザー名が存在しません。		
MaxUser	最大ユーザー	err_NotFound	見つかりませんでした。		
MyBoard	マイ掲示板	err_OverLoger	同時ユーザー超過		
MyFolder	マイフォルダ	err_OverPostCID	掲示板メディア添付の超過		

各イントラセルはセジオ管理者が設定された言語辞典の中から一つを選択し使します。またこれらは“Remove”ボタンをクリックすると削除されます。また新しい言語を追加する時は英文の2文字から成る言語名を入力し、“New”ボタンをクリックして保存すると生成されます。

ファイルアイコンの設定

ファイルアイコンとは掲示物に含まれた資料ファイルの表示やファイル管理者にファイルの種類を知らせるために表示されるアイコンのことを言います。セジオ管理者は次の図のような管理ツールを利用しファイルアイコンを設定することができます。



ファイルの種類を表すファイルアイコンのサイズは横16ピクセル、縦16ピクセルのgifファイルです。dir_list.gif、dir_last.gifはそれぞれディレクトリリストで中間に連結された線を含み横及び縦の大きさが多少超過されることを許可します。

ファイルアイコンを追加するならば規格に合うアイコンを作成し“検索”でファイルを選択し伝送します。伝送後、追加されたインプットウィンドウに関連ファイルの拡張子を入力します。

MimeTypeの設定

Mime (Multipurpose Internet Mail Extensions) Typeはウェブサーバがウェブブラウザにファイルを伝送するときファイルの拡張子からファイルの形式を前もってウェブブラウザで知らせるために設定します。ウェブブラウザはMimeTypeを基礎として資料を画面に表示するのか、あるいは他のアプリケーションが実行するのかを決定します。例えば、ウェブブラウザは“.html”もしくは“.htm”の拡張子を持つファイルのMimeTypeが“text/html”であることをウェブブラウザに通報し認識するようにします。次の図はMimeTypeの設定ツール画面です。

ホスト設定	言語辞典	マイム設定	アイコン設定	モデル設定	システム情報
	application/msword	doc			
	application/octet-stream	bin exe dms lha com class			
	application/postscript	ai eps ps			
	application/powerpoint	ppt			
	audio/mpeg	mpga mp2 mp3			
	audio/x-pn-realaudio	ram			
	audio/x-pn-realaudio-plugin	rmp			
	audio/x-realaudio	ra			
	audio/x-wav	wav			
	image/bmp	bmp			
	image/gif	gif			
	image/ief	ief			
	image/jpeg	gpe jpg jpeg			
	image/pds	png			
	image/tiff	tiff tif			
	text/html	html php4 php phtml htm dhtml css shell			
	text/plain	text txt java config c conf rc cpp for js			
		適用 初期化			

MimeType管理ツールはファイル拡張子の識別に役立つようにアイコンが共に表示されます。MimeType名に該当する拡張子を空白で区分し入力するようにしています。MimeType名と拡張子の種類の入力部分を消した後、“適用”をクリックすると削除されます。

デザインモデル

デザインモデルはホスト設定やイントラセル内部のコミュニティ管理ツールでコミュニティを生成する時コミュニティの基礎データとして設定されるように準備された圧縮ファイルです。圧縮ファイルの拡張子は“*.cob”でありコミュニティモデルの場合、イントラセルのコミュニティ管理ツールでダウンロードすることができます。イントラセルモデルは直接ダウンロードをする代わりにリナックスシェル命令で処理し得ることができます。次の図はデザインモデル管理画面を表示しています。

イントラセルモデルとコミュニティモデルの登録及び削除方法は同一します。“*.cob”形式の資料ファイルを選択して“適用”ボタンをクリックすると資料ファイルがアップロードされ登録されます。登録された資料ファイルの名前は直接修正“適用”ボタンをクリックすると名前が変更されます。また名前を消して“登録”ボタンをクリックすると該当するモデルが削除されます。

コミュニティモデルは言語辞典で指定した辞典の中で一つの言語名を指定したり指定しなかったりすることがあります。各イントラセルで新規コミュニティを開設する時、使用する言語辞典が同じように指定された

り使用言語が指定されなかったりする場合のコミュニティモデルの中から選択し新規コミュニティを開設することができます。

システム情報

セジオは初めの設置過程を除いてほとんどすべての作業をウェブサービス上で処理できるように構成されています。セジオ使用中、累積データの増加速度はシステム管理で大変重要な要素になります。したがって、セジオ管理者にシステムの要約情報を確認することができるように次のような画面を表示します。

ホスト設定	言語辞典	マイム設定	アイコン設定	モデル設定	システム情報
Filesystem	1K-blocks	Used	Available	Use%	Mounted on
/dev/hda2	8870804	4054068	4366116	49%	/
/dev/hda1	101086	13269	82598	14%	/boot
none	192684	0	192684	0%	/dev/shm
--- licence Information---					
Intracell	3	VirtHome	25		
MaxUser	20	MaxHome	20		
MaxEmail	20	MaxBoard	40		
MaxGroup	15	Messenger	20		

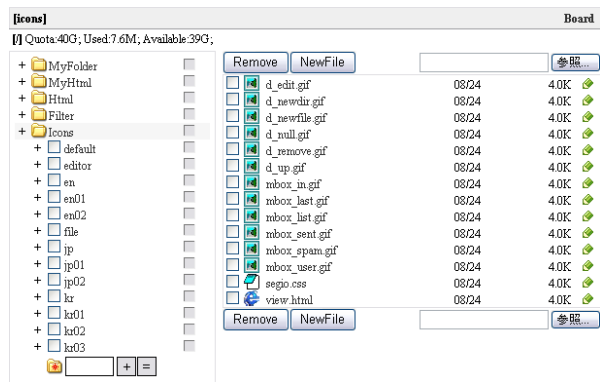
ハ、共有ウェブ資源(データ)

イントラセルの一般的なウェブ資料はイントラセルの“html/”ディレクトリやコミュニティ、ユーザースペースのウェブスペースに位置するようになります。これに反し共有ウェブ資源はサーバすべてのイントラセルで共通に使用することができる資源として各種アイコン、DHTMLエディタなどが位置しています。共有ウェブ資料はイントラセルの資源がない場合のみ選択的に作動します。次は共有ウェブ資源の資料の返信手順です。

- 例. <http://sm.kseek.com/icons/file/dir.gif> ⇒ イントラセルのhtml/icons/file/dir.gifを呼び出す
- * 1. イントラセルのhtml/icons/file/dir.gifファイルがある場合、伝送
 - * 2. 1番に失敗した場合、/etc/shttpd/icons/file/dir.gifを伝送
 - * 3. 2番に失敗した場合、“404 not found”にエラーメッセージが伝送

ウェブデーモンはイントラセルの“html/icons/”下位のすべてのファイルについて存在しない時、共有ウ

ウェブ資源のファイルをウェブブラウザに伝送します。次の図は共有資源のディレクトリ構造を表示します。



次の表は上で表示されているディレクトリ別の活用用途を要約説明しています。

ディレクトリ名	説明	備考
default	基本の掲示板アイコンディレクトリ	掲示板、ウェブメール関連
editor	DHTMLウィジウィグエディタディレクトリ	
en, en01, en02	英文の掲示板アイコンディレクトリ	掲示板、ウェブメール関連
file	ファイルの種類のアイコン	
jp, jp01, jp02	日本語の掲示板アイコンディレクトリ	掲示板、ウェブメール関連
kr, kr01, kr02, kr03	ハングルの掲示板アイコンディレクトリ 掲示板	掲示板、ウェブメール関連

共有資源を活用したくないイントラセルは“html/icons/”ディレクトリを作成し別途の資料ファイルを存在させ使用することができます。また、共有資源の一部だけを選択的に使用することができます。

ディレクトリとして分類されないアイコンの中で“d_*.gif”はディレクトリ管理ツールで使用されるアイコンであり、“mailbox_*.gif”はウェブメール関連のアイコンです。

掲示板アイコン (/etc/shttpd/icons/default/)

掲示板アイコンはウェブメール、メッセージ、掲示板などで共通的に使用されます。掲示板やウェブメールなどは環境設定で掲示板アイコンを指定することができます。基本アイコン (default) 以外に英文、日本語、ハングルなどについて多数のアイコンが提供されています。またパッケージによっては更に多くの掲示板

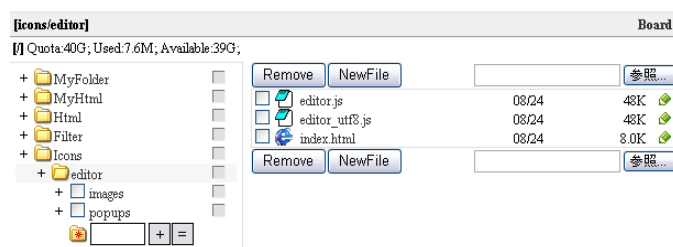
アイコンが含まれていることもあります。なお、掲示板アイコンについての詳細説明は第4章をご覧ください。

ファイルアイコン(/etc/shttpd/icons/file/)

共有アイコン名のうち“file/”ディレクトリとはすべてのファイルアイコンを収めているスペースのことです。ウェブサービスの環境設定でファイルアイコンの種類及び拡張子と関係を持ったファイルアイコンはすべてここに存在します。

DHTMLエディタ(/etc/shttpd/icons/editor/)

DHTMLウィジウィグエディタは掲示板に載せる掲示物や電子メールを編集するとき使用されます。掲示板に掲示物を載せたり、基準掲示物の内容を修正したりするために編集フィルタが提供されますが、編集フィルタはDHTMLを採択するためのスクリプトを含まなければなりません。活用例は編集フィルタの説明部分を参照して下さい。



図はウェブディレクトリの管理ツールによる“icons/editor/”共有ディレクトリの内部情報です。“image/”、“popups/”などの下位ディレクトリと“editor.js”ファイルが存在しています。“popups/”ディレクトリにはいろいろな目的のポップアップウィンドウとして動作するHTML文書が存在しています。

掲示板の環境設定に必要である種々の色彩を選ぶ部分を“popups”ディレクトリにあるポップアップ用のHTML文書を利用するように構成することができます。ネットエスケープやモジラなどのウェブブラウザはウィジウィグエディタをサポートいたしません。

第2章 HTMLウェブサービス

ウェブデーモンとしてセジオはHTML文書に基盤を置いたウェブサービスの提供をいたしております。またイントラネット、掲示板、ウェブメールなどのアプリケーションを基本的に搭載しております。追加されたアプリケーションをHTML文書に動的に含ませ構成することができるようウェブフィルタリングというスクリプトを導入いたしました。

2.1 ホームページ & イン트라ネット

セジオはイントラセルを基盤にウェブサービスを提供いたします。イントラセルは一つの代表ホストアドレスに対応しセジオの機能全体を活用できるように分割された単位であり、ホームページ及びイントラネットを具体的に作成することができます。次はセジオイントラネットの基本モデル中の一つです。



イ、ホームページ

イントラセルの“html/”ディレクトリにホームページ構成のためのHTML文書が存在し、ディレクトリの“index.html”文書や“index.htm”文書がそのスタートポイントになります。ホームページはホスト名とプロトコル (http://) で組み合わせられたURL (Uniform Resource Location) で認識されるアドレスシステムとして最も一般的に使用され、表示方法は次のようになります。

http://sm.kseek.com/	⇒ html/
http://sm.kseek.com/icons/	⇒ html/icons/
http://sm.kseek.com/icons/top_intra.gif	⇒ html/icons/ top_intra.gif

HTML文書と図及び各種のマルチメディアの資料ファイルを下位ディレクトに位置させてリンクしながらホームページを完成することができます。

ユーザーホームページ

ユーザーホームページはイントラネットのユーザーが所有するホームページとしてサーバアドレスとユーザーIDを組み合わせで表示されるURLで認識できます。次はユーザーホームページの例です。

http://sm.kseek.com/sysop	⇒ html/sysop/
http://sm.kseek.com/~sysop	⇒ home/sysop/html/

ユーザーホームページを表示する識別字 (“~”) はユーザーIDを参照し他のディレクトリのHTML文書を伝送します。“html/~sysop/”形式のディレクトリは存在しません。

コミュニティホームページ

イントラネットでは登録ユーザー間にまた新たな認証システムを取り揃えてサービスすることができるようにコミュニティ機能を提供いたします。次はコミュニティホームページの例です。

http://sm.kseek.com/@game/	⇒ group/game/html/
----------------------------	--------------------

ロ、イントラネット

イントラセルは独立的なユーザー登録システムを維持し、ユーザーはレベルにより制限的にサービスを

利用することができます。

ユーザーの認証

ユーザーはレベルが十個（レベル0～レベル9）に分類されますがレベル0はユーザーとして登録されないゲストを表し、レベル1からレベル8までは一般ユーザーレベルとして分類されます。レベル9はイントラセル管理者としてユーザー管理システムを管理することができ、HTML文書、掲示板、コミュニティなどを管理することができます。この他イントラセル環境設定ではレベルに関係なくウェブマスターを指定することができますが、ウェブマスターはイントラセルの運営ヘルプとしてHTML文書と関連するディレクトリを生成または編集することのできる権限があります。ウェブマスターはコミュニティやユーザースペースのHTML文書については管理権限がありません。

コミュニティの会員認証

コミュニティはイントラセルに登録されたユーザーが会員として加入して使用します。会員レベルはレベル0からレベル9までの10等級制で運営され、レベル9はコミュニティ管理者になります。レベル0はコミュニティに加入していないユーザーであり、レベル1～8は一般ユーザーです。コミュニティ環境設定でウェブマスターの設定が可能で、ウェブマスターは運営ヘルプとしてコミュニティのHTML文書とディレクトリを生成し、また編集できます。コミュニティ管理者はコミュニティの掲示板、ウェブ文書管理はもちろん、環境設定とコミュニティ会員のレベル決定権限を持ちます。

ユーザースペースの会員認証

ユーザースペースはコミュニティと似た形式で会員管理システムを応用し、小規模のコミュニティとして活用することができます。10等級の会員等級体系（エントリーレベルシステム）を持ち、ユーザー自身が管理者となり別途のレベル9を指定し管理を委任することができます。

2. 2 ウェブフィルタリングスクリプト

セジオは一般的なHTML文書でイントラネットサービスを具体的に作成しております。イントラネットをHTMLに基盤を置いて構成するための方法としてウェブフィルタリングと呼ばれるスクリプトを導入いたしました。ウェブフィルタリングスクリプトはウェブデーモンに含まれたイントラネット、掲示板、コミュニティなどのサービスをウェブデザインについての柔軟性を強化するための方法論です。

イ、ウェブフィルタリング表記法

ウェブフィルタリングはHTML文書で特定構文を切断し、変換した後の結果をウェブブラウザに伝送する方式で進行します。フィルタコードは“#!…;”形式の構文として“#!”はフィルタコードの始まりを表し“;”は終わりを意味します。次はフィルタコードの表示方法です。

* コンマ(,)は次のようにフィルタ予約語の後ろに来るオプションなどを区分する文字として使用される	
形式) #![フィルタ予約語],[選択事項1],[選択事項2]、……;	
例) #!u.name;	⇒ アクセス者名
* フィルタ予約語はピリオド(.)により主予約語と下位予約語の包含関係として表示される	
例) #!p.m_del, 削除;	⇒ 掲示板での削除ボタン
* #!if、#!else;、#!fiは一定区間を包含し表示する	
例) #!if lv<1; クライアン(ゲスト) #!else.#!u.name;さん #!fi; ようこそ！	

ウェブフィルタコードの主予約語

次はウェブフィルタコードで使用するこのできる主予約語の種類です。

主予約語	機能の説明	主予約語	詩囊の説明
if、else、fi	フィルタの条件文を表示	i	IntraNet集団予約語
brief	掲示板要約リスト	popup	特定目的ポップアップウィンドウ生成
load	サーバ側のインプットモデル(html、cgi)	b	掲示板集団予約語
return	フィルタリングを終了する	u	ユーザー集団予約語
href	直接リンクするためのURL表示	p	掲示物集団予約語
shell	シェル指定	<#>	#文字予約語
style	ウェブ構成要素の表示(カラー……)	icon	ファイル拡張子アイコン予約語
l	アクセス位置(ロケーション)情報	error	エラー表示集団予約語

*“#!...;”、“#!addr;”などの予約語はウェブメールと関連した予約語として第5章2節で述べられています。

次はウェブフィルタリングの使用例です。

#!u.name;(#!u.id;)さん、ようこそ! ⇒ 真夏(summer)さん、ようこそ
⇒ ログインした時だけ正常に作動。

次は少々複雑になったウェブフィルタリングを編集する画面を表示しています。



HTML文書で“#!...;”形式で記録された構文を切断した後、次のようなゲスト（左側）とユーザー（右側）に相違した結果データをウェブブラウザで伝送します。

"SEGIO Web Solution 3.0"へようこそ!
segio(segio)さん!は しべル!です。
電子メールアドレス : segio@japan.segio.com
現在アクセスホスト : japan.segio.com

"SEGIO Web Solution 3.0"へようこそ!
ユーザーとしてログインされておられません。
登録されていないゲストの方は登録後にご利用ください。

上の右側の図で“#!i.httpphot;”で表示された現在の接続ホストにはユーザーがブラウザに入力したホストのアドレスが“http://192.168.1.101/”であることを知らせています。

ロ、一般予約語

ウェブフィルタリングでアクセスしたユーザーの状態(ユーザーレベル)を条件として分岐し、他の情報を表示します。分岐及び情報表示に関する予約語は一般的なHTML文書で大変有用に使用することができます。

ます。

#!i;

#!i;とはイントラセルの基本情報を表現するフィルタリング予約語です。イントラセルについての基本設定

内容と現在使用量などの情報を次のような予約語で表示することができます。

#!i.id;	⇒ 基本ホスト名 (E-mailアドレスに活用される)
#!i.httphost;	⇒ ウェブブラウザが要請したホスト名 (ポートナンバーを含む)
#!i.name;	⇒ イントラセル環境設定で指定したサービスネーム
#!i.boardicon;	⇒ イントラセル環境設定で指定した掲示板アイコン
#!i.owner;	⇒ ホスト設定で指定したイントラセル所有者

第1章で述べたようにイントラセルは一つの登録された運営スペースとして掲示板、ディスク使用量、接続者数、ウェブメールユーザーなどの資源についての制限的なサービスを提供することができます。次はイントラセルの現在使用現状を表示するための予約語です。

#!i.diskquota;	⇒ イントラセルのディスク使用の許容量
#!i.usage;	⇒ イントラセルのディスク使用の比率 (百分率の数だけ表示)
#!i.data;	⇒ イントラセルのディスク使用量
#!i.userdata;	⇒ イントラセルのユーザー使用量
#!i.groupdata;	⇒ イントラセルのコミュニティ使用量
#!i.htmldata;	⇒ イントラセルのHtmlの容量
#!i.maxuser;	⇒ イントラセルの最大ユーザー制限
#!i.maxlogger;	⇒ イントラセルの最大同時使用制限
#!i.maxmail;	⇒ イントラセルの最大電子メールの使用制限

次はイントラセルのウェブサービスにActiveX、JVMなどを利用し活用性を高める部分でありチャットとウェブディスクの呼び出しに関連する予約語です。

#!i.chat;	⇒ ActiveXチャットモジュールをローディングするHTML構文表示
#!i.javachat;	⇒ JavaVirtualMachineによるチャットモジュールのローディング
#!i.webdisk;	⇒ ActiveXウェブディスクコントローラーをローディングするHTML構文表示
#!u.wakeup;	⇒ と関連して使用される。

ウェブディスクの呼び出し方法は第4章1節をご覧ください。また、チャットの呼び出し方法についての詳細は第5章1節をご覧ください。

#!if…;～#!else…;～#!fi;

フィルタリングでは条件文による分岐を許容します。アクセスレベルを比較する文章ではアクセスレベルの識別予約語が左側に位置し右側に比較するアクセスレベルの数字が存在する形式でなければなりません。

#!if u.lv > 3 && u.lv < 8;	⇒ アクセスレベルが3より大きく8より小さいならば
#!if u.lv gt 3 && u.lv lt 8;	⇒ 上の場合と同様の意味
#!if l.lv gt 3;	⇒ ロケーションのレベルが3より大きいならば
#!if l.owner;	⇒ ロケーションの管理権限者であれば(レベル9であれば)
#!if l.webmaster;	⇒ ウェブマスターで指定されたユーザーであれば(レベル9含む)
#!if l.board;	⇒ ロケーションの掲示板スペースがあるならば
#!if l.html;	⇒ ロケーションにホームページスペースがあるならば
#!if l.folder;	⇒ ロケーション(ユーザースペース)にウェブフィルタスペースがあるならば
#!if l.mbox;	⇒ ロケーションにメールスペースがあるならば

条件文を表示する時、タグ記号(‘>’、‘<’)を含ませるようにしてウェブページの編集ソフトウェアを使用することが不便であるという場合、次のような方法で比較構文を表現することができます。

#!if u.lv .gt. 3;	⇒ アクセスレベル3より大きいなら
#!if u.lv .lt. 3;	⇒ アクセスレベル3より小さいなら
#!if u.lv .ge. 3;	⇒ アクセスレベル3より大きいか、同じなら
#!if u.lv .le. 3;	⇒ アクセスレベル3より小さいか、同じなら
#!if u.lv .eq. 3;	⇒ アクセスレベル3なら
#!if u.board;	⇒ アクセス者の掲示板スペースが存在するならば
#!if u.html;	⇒ アクセス者のホームページスペースが存在するならば
#!if u.folder;	⇒ アクセス者のウェブフィルタスペースが存在するならば
#!if u.mbox;	⇒ アクセス者のメールスペースが存在するならば

次はイントラセルの環境設定値を分岐条件として行う例です。

#!if i.webmail;	⇒ イントラネットにウェブメールがサポートされるならば
#!if i.messenger;	⇒ イントラネットメッセンジャーをサポートするならば
#!if i.javatalk;	⇒ イントラネットにジャバ1:1対話をサポートするならば
#!if i.realname;	⇒ イントラネットに実名を使用するように指定されたならば

セジオはウェブデーモンに掲示板機能を基本的に含んでおり、掲示板の環境設定や掲示物の入力情報を基盤として基本条件を設定することができます。掲示板と関連した分岐条件文は掲示板と関連したフィルタ予約語部分に別途として説明されます。

#!!...:(location)

ユーザーのアクセス位置(location)と関連した情報を表示します。ロケーションはウェブブラウザがサーバに要請したHTML文書の位置を意味します。イントラネット、コミュニティ、ユーザーなどの領域を区別し、領域の管理者(owner)や領域で指定された会員レベルを表示するのに使用されます。

#!!.id;	⇒ Location ID(ゲーム:コミュニティ@game:Sysop's HOME:~ssysop;)
#!!.name;	⇒ Location 環境設定で指定されたサービス名
#!!.owner;	⇒ 指定管理者(コミュニティでは指定管理者、ユーザーの領域ではID)
#!!.base;	⇒ 現在ロケーションのディレクトリまでのURI → リンク時に有効
#!!;	⇒ 現在ロケーションの基本経路を表す
#!!.uri;	⇒ 現在呼び出されたURIを表示
#!!.referer;	⇒ 呼び出されたウェブページの前段階参照ページ
#!!.data;	⇒ 占有データの総サイズ(オールサイズ)(KB)

次の図はレベル9の“sysop”が“summer”のホームページにアクセスしたときの情報を表示します。(アクセスしたときに表示されるウェブ画面です。)

管理者(sysop)さんのアクセス画面		管理者(sysop)さんのアクセス画面	
#!!.id;	~summer	#!!.id;	~summer
#!!.uri;	!~summer/index.html	#!!.uri;	!~summer/!dd/index.html
#!!.base;	!~summer/	#!!.base;	!~summer/!dd/
#!!.lv;	9	#!!.lv;	9
#!!.hr;	9	#!!.hr;	9
#!!.owner;	summer	#!!.owner;	summer
#!!;	!~summer/	#!!;	!~summer/

次の図はレベル2である“summer”が自分のホームページにアクセスした時の情報を表示します。(アクセスしたときに表示されるウェブ画面です。)

真夏(summer)さんのアクセス画面	
!!id;	~summer
!!uri;	~/summer/index.html
!!base;	~/summer/
!!hr;	0
!!uhr;	2
!!owner;	summer
!!;	~/summer/

真夏(summer)さんのアクセス画面	
!!id;	~summer
!!uri;	~/summer/ddd/index.html
!!base;	~/summer/ddd/
!!hr;	0
!!uhr;	2
!!owner;	summer
!!;	~/summer/

上の二つの図はそれぞれ二つのテーブルで成り立っています。これら二つのテーブルはすべてお互いのウェブ文書として保存されており、“#!load;”により一つのウェブ文書として組み合わせられ伝送されます。テーブルの二つ目には保存された文書のURIが表示されています。“summer”はレベル2として指定されたユーザーであるが自分のホームページでのアクセスレベルであるロケーションレベルはレベル9で指定されます。ロケーションの予約語は上のような基礎情報以外にもロケーションのサービス利用統計を表示することができます。次はサービス使用統計と関連した下位予約語です。

#!.diskquota;	⇒ ディスクスペースの割当量。(ロケーションがコミュニティである場合にだけ表示)
#!.htmldata;	⇒ ホームページQuota(占有スペース)の大きさ
#!.boarddata;	⇒ 掲示板Quotaの大きさ
#!.boards;	⇒ 掲示板数
#!.posts;	⇒ 掲示物数
#!.mails;	⇒ メール数
#!.mbox;	⇒ メールボックス数
#!.etcdata;	⇒ その他Quota(占有スペース)の大きさ
#!.mboxdata;	⇒ メールボックスのQuotaの大きさ(ロケーションがユーザー領域である場合)
#!.bname[数字];	⇒ [数字]番目の掲示板名の出力、数は0から始まる
#!.bid[数字];	⇒ [数字]番目の掲示板のID出力
#!.buri[数字];	⇒ [数字]番目の掲示板のURI(構文の構文として使用)
#!.game[数字];	⇒ [数字]番目のコミュニティ名出力
#!.gid[数字];	⇒ [数字]番目のコミュニティID出力
#!.guri[数字];	⇒ [数字]番目のコミュニティURI(構文の構文として使用)
#!.newpost;	⇒ 新しい掲示物(近日登録された掲示物の数)
#!.newmail;	⇒ 新規メール(受信メールボックスの未読メール、ユーザー領域でだけ作動)
#!.newmemo;	⇒ 新規メッセージ(未読メッセージ、ユーザー領域でだけ作動)

“#!!game[];”、“#!!gid[];”、“#!!guri[];”形式の表現はイントラセルに設置されたコミュニティを自動的にリンクさせるのに有用です。個人ホームページ、コミュニティホームページのロケーションでは作動しません。これと類型した“#!!bname[];”、“#!!bid[];”、“#!!guri[];”形式の表現はロケーションに設置された掲示板を自動的にリンクさせるのに有用です。また次のようにジャバスクリプトを利用し掲示板を自動的にリンクさせるのに有用です。

```
<script>
function board_link(buri,bid,bname){
  if(bid.length<1)return;
  if(bname.length<1)bname=bid;
  document.wirte("<a href='"+buri+"'>"brd">" +bname+"</a><br>");
}
</script>
<script>
  board_link("#!buri[0];","#!bid[0];","#!bname[0];");
  board_link("#!buri[1];","#!bid[1];","#!bname[1];");
  board_link("#!buri[2];","#!bid[2];","#!bname[2];");
  ...
}
</script>
```

ユーザー及びコミュニティ領域で掲示板を三つ以下で作成したときは全体の掲示板が自動的にリンクされるようになっています。修正を通して数字を増やしたりデザイン的な構成を変更したりすることができません。

ロケーションの使用統計を表示するための下位予約語は#!u;でも同一にサポートされ、接続者の使用統計を表示するのに使用されます。#!u;の下位予約語はどの位置のHTML文書で使用されようと関係なく接続者の使用統計を表示します。

*“#!if l.board;”はロケーションのディレクトリに掲示板を設置する下位ディレクトリが存在する場合、真実を表します。“#! l.boards;”はロケーションに設置された掲示板の数を表示します。

#!load...;

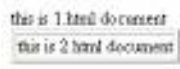
他のHTML文書を包含させる役割をします。SSI(Server Side Include)と類似する機能としてHTML文書だけでなく、CGIを実行させた結果を含ませる時にも使用されます。

<code>#!load,/cgi-bin/test?act=on;</code>	⇒ CGI実行結果を含ませる
<code>#!load,/top_menu.html;</code>	⇒ /top_menu.htmlファイルの内容を含ませる
<code>#!load,/advert.php;</code>	⇒ /advert.phpの実行結果を含ませる
<code>#!load,!menu.html;</code>	⇒ !文字として始まる場合、URL文書のディレクトリの相対URIとして計算する

#!load;により他のロケーションの補助HTML文書が組み合わせられフィルタリングされる時、ロケーション(#!;)は組み合わせられる補助HTML文書の位置を基準に作動します。

1.html	2.html
<code><html> <title> 1. html</title> <body> this is 1.html document
 #!load 2.html; </body></html></code>	<code><table border=2> <tr><td> this is 2.html document </td></tr> </table></code>

上のような二つの文書は“1.html”文書がウェブブラウザとしてローディングされると一つのウェブ文書として組み合わせられ次の図のように表示されるようになります。



セジオはアパッチのウェブ文書の調合技法であるSSIに対応し“#!load;”と共に“#!shell;”などの予約構文として拡張された概念の文書調合の方法を提示します。

#!popup...;

ポップアップウィンドウを開くためのジャバスクリプトに置き換えます。メール作成、掲示板書き込み、ウェブメールなどのサービスはポップアップウィンドウを生成し利用するように構成することができます。 * URIを取得し直接ジャバスクリプトとして構成しても作動されるので随時アップグレードによる変更内容などをエ

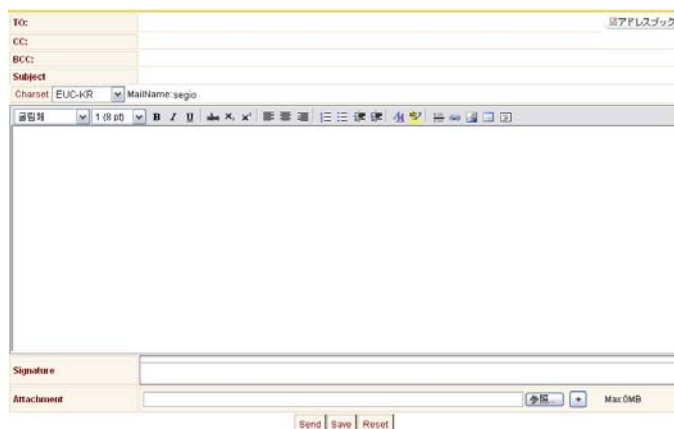
ラーなしに作用するためにはマニュアルに提示している標準的な方法を使用することをお勧めします。

電子メールサービス	⇒ ウェブメールリンク。
<a href=# onclick="#!popup.mail,to='夏<smmer@sm.kseek.com>';">夏のメール	⇒ メールリンク
管理者に	⇒ /master.brd書き込みウィンドウ
お知らせ掲示板	⇒ お知らせ掲示板オープン
	⇒ URLを直接オープン

次のように一度にまとめて複数の人にメールを送ることができます。

<a href=# onclick="#!popup.mail,to='夏<smmer@sm.kseek.com >, コルト<colt@sm.seek.com>',cc='風<wind@sm.seek.com>', bcc='” + “<sik@sm.seek.com>',width=700px, height=700px;">メール

上の例のように受信、CC、BCC(Blind Carbon Copy:一つのメールを複数の人に送るとき他の人にも送ったということが分からないようにするための項目)を指定しウェブブラウザはウェブメールを編集送信することのできるポップアップウィンドウをリンクします。この時、次の図のようなポップアップウィンドウが現れます。



次は“#!popup;”構文の下位予約語の種類と機能についての説明です。

下位予約語	内容説明	備考
lboard	ロケーションの掲示板リスト表示ウィンドウ (shell=none)	
lpost	ロケーションの掲示板書き込みウィンドウ	
board	掲示板リスト表示ウィンドウ	
post	掲示板書き込みウィンドウ	
login	ログインウィンドウ	
webmail	ウェブメールサービスウィンドウ	
mail	メール作成サービスウィンドウ	

詳しい設定項目は次の予約語で設定することができます。

変数名	説明	備考
width	オープンされるウィンドウの横の大きさを指定 (横幅を指定)	
height	オープンされるウィンドウの縦の大きさを指定 (縦の高さを指定)	
shell	オープンされるウィンドウのshell効果を設定	none
resizable	オープンされるウィンドウの特性(大きさの調節機能)	on/off
to	電子メール作成の受信者(To:)	
cc	電子メール作成の写しを特定の第三者に送付。 受取人は、メールが写しであることを通知される。	
bcc	電子メール作成の写しを特定の第三者に送付。 受取人は、メールが写しであることは分らない。	

次は#!popup;フィルタで新しく生成されるウィンドウの特性のうち、横と縦のサイズ調節の許容などを決定する例です。

#!popup.webmail,width=780px,height=600px,resizable=1;	⇒ 縦、横のサイズを指定
---	--------------

“#!popup;”予約語は“event.returnValue=false;window.open(…);”形態のジャバスクリプトとして転換されるので“event.returnValue=false;”を別途に指定しないようにします。

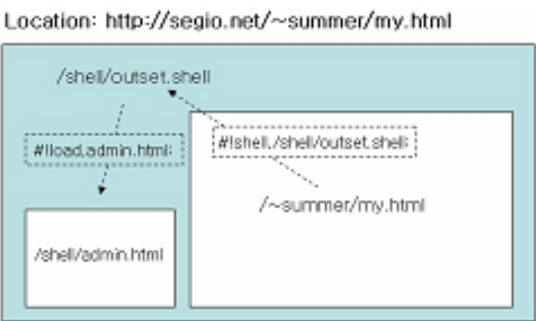
ログインウィンドウの場合、ログインウィンドウの横サイズを300より小さく設定するとログイン後、popupウィンドウが閉じて現在のウェブページが自動的に更新されます。

#!shell,[shellname];

HTML文書の外郭を表示するシェル文書を指定する機能です。シェル文書は拡張子が“shell”(例、index ⇒ index.shell)形式としてイントラセルのHTML文書のディレクトリに位置します。

指定形式: #!shell,[shellname];	⇒ ※シェルネームには.shellを付けない。
指定事例: #!shell,/main/;	⇒ 絶対経路の/mail/index.shell文書が動作。
#!shell,/@game/main.shell;	⇒ gameコミュニティmain.shell文書が動作。
#!shell;	⇒ 相続シェルや基本シェルが動作。
#!shell,=/mail.shell;	⇒ /mail.shellが動作、相続フィルタの指定

“#!shell;”予約語はHTMLシェルを作成するために使用しますが、このことにつきましては第2章3節で詳しく説明しておりますのでそちらをご参照ください。次は#!shell;と#!load;により組み合わされたHTML文書のモードです。



1段階のフィルタリング過程で“#!shell...;”により“/shell/outset.shell”がローディングされフィルタリングされます。2段階のフィルタリング過程では“#!load...;”により“shell/admin.html”文書がローディングされ、3段階のフィルタリングが進行されるようになります。“#!load;”及び“#!shell;”構文によりHTML文書を読み込みフィルタリングが進行するとき、ロケーションの基準点を新しく更新します。

第2章3節ではウェブブラウザのフレームによる画面の分割とSSIなどと共に“#!shell;”、“#!load;”構文による文書の調律方式について集中的に説明します。“#!shell;”の活用方法は第2章3節の説明を参照してください。

#!style…;

“#!style;”は画面構成に必要ないろいろな色相、フォントの大きさなどの要素を変数として指定し必要な場合、HTML文書で使用するようになっています。イントラネット、コミュニティ、掲示板、ウェブメールで指定された環境設定はそれぞれ他の優先権を持ちながらスタイルを構成することができます。

#!style.bordercolor;	⇒ テーブルの境界線の色相
#!style.barriercolor;	⇒ 掲示物リストなどでヘッドラインとリストの境界区分の色相
#!style.bgcolor;	⇒ 背景色相
#!style.headbgcolor;	⇒ タイトル行(ヘッドライン)背景色相
#!style.namebgcolor;	⇒ ネームボックス背景色相
#!style.textbgcolor;	⇒ 一般文字フォント色相
#!style.reversecolor;	⇒ 反転文字フォント色相
#!style.atextcolor;	⇒ アンカーされた文字のフォント色相
#!style.listbgcolor;	⇒ 掲示物リストなどで背景色相
#!style.listovcolor;	⇒ 掲示物リストなどでマウスをあてると変わる色相
#!style.listswcolor;	⇒ 掲示物リストなどで交互に繰り返される色相
#!style.bodybgcolor;	⇒ HTMLボディの背景色相
#!style.fontsize;	⇒ 一般文字のフォントの大きさ
#!style.effectwidth;	⇒ 有効スペース

イントラセル、コミュニティ、ユーザースペース、ウェブメール、掲示板などの環境設定では“#!style;”と関連した変数を指定するようになっています。また環境設定値を指定しなかった場合やHTML文書で“#!style;”構文を使用しなかった場合には作動しません。

#!u…;

#!u…;とはアクセスしたユーザーの情報を表現するためのフィルタ予約語です。これは次のような下位予約語を持っています。アクセスしたユーザーの立場から見るとマイユーザーID、マイユーザー名、マイアクセスレベルなどのように“マイ”という意味で解釈することができる情報を表示します。

#!u.id;	⇒ アクセス者のUID
#!u.name;	⇒ アクセス者のユーザー名
#!u.lv;	⇒ アクセス者のアクセスレベル

ユーザーはユーザーレベル(#!u.lv;)とロケーションレベル(#!l.lv;)を共に持っています。ユーザーレベルはイントラネットの全域で有効し、またこれはイントラセル管理者が指定したアクセスレベルに相当します。

ロケーションレベルはコミュニティ、ユーザースペースで会員として指定を受けたアクセスレベルです。一般イントラセルでのロケーションレベルはユーザーレベルと共に表示されます。“#!u;”では“マイスペースのユーザー統計”という意味のユーザー統計を表示する下位予約語を次のように使用することができ、これはロケーションと似た構成を持っています。

#!u.diskquota;	⇒	使用することができる指定ディスクスペース割当量。
#!u.htmldata;	⇒	ホームページのQuota
#!u.boarddata;	⇒	掲示板のQuota
#!u.boards;	⇒	掲示板数
#!u.etcdata;	⇒	その他のQuota
#!u.mboxdata;	⇒	メールボックスのQuota(ユーザーの領域に限る)
#!u.bname[数字];	⇒	[数字]番目の掲示板名の数字は0から始まる
#!u.bid[数字];	⇒	[数字]番目の掲示板ID出力
#!u.newpost;	⇒	新しい掲示物の数字。(近日、載せた文を基準とする)
#!u.newmail;	⇒	新しいメールの数字(メールボックスの未読の受信メール)
#!u.newmemo;	⇒	新しいメッセージの数字(未読のメッセージ)

前に説明した#!;予約語ではコミュニティや個人スペースで掲示板が作成されると掲示板のURLとNameを利用し自動的にメニューに表示されるようにするジャバスクリプトについて触れました。そのジャバスクリプトと同一にある接続者の掲示板を自動的にリンクさせるジャバスクリプトを活用することができます。

```
<script> 前に紹介された関数と同一する
function board_link(bid,bname){
    if(bid.length<1)return;
    if(bname.length<1)bname=bid;
    document.wirte("<a href='/'"+bid+"".brd">" +bname+"</a><br>");
}
</script>
<script>
    board_link("#!bid[0];","#!bname[0];");
    board_link("#!bid[1];","#!bname[1];");
    board_link("#!bid[2];","#!bname[2];");
    ...
}
</script>
```

*“#!if u.board;”は接続者のホームディレクトリに掲示板を設置する下位ディレクトリがある場合、trueを表

します。反対に“#!u.boards;”は接続者のホームディレクトリに設置した掲示板の数を表示します。

#!error;

サーバのエラーを表示します。“_err_*.htm”で設定されたエラーフィルタによりサーバ上のエラーを表示する時に使用されます。ロケーションレベル9のユーザーはウェブマスターのエラーメッセージを確認することができます。

```
#!shell;
エラーが発生しました。<br>
#!error;<br>
```

#!href…;

#!href…;は特定機能のURI及びURLを表示する予約語として次のように使用されます。

マイホームページ管理	⇒ 登録ユーザーに限る
ウェブメール	⇒ ウェブメールサービス転換リンク

次は#!href;構文の多様な下位予約語と機能を要約した内容です。

#!href.admin.myhtml;	⇒ マイホームページ管理
#!href.admin.html;	⇒ ホームページ管理
#!href.admin.myboard;	⇒ マイ掲示板管理
#!href.admin.mymbox;	⇒ マイメールボックス管理 → ウェブメールで使用
#!href.admin.board;	⇒ 掲示板管理
#!href.admin.filter;	⇒ 専用フィルタ管理
#!href.admin.host;	⇒ ホスティング管理
#!href.admin.lcell;	⇒ Location Cell → コミュニティ、個人スペースの環境設定ツールのリンク
#!href.admin.mycell;	⇒ 接続者スペースの環境設定ツールリンク(ウェブメール関連設定含む)
#!href.admin.cell;	⇒ イントラセル環境設定
#!href.admin.group;	⇒ コミュニティ管理(生成、削除、設定など)
#!href.webmail;	⇒ ウェブメールサービス(3段フレームとして構成)
#!href.admin.lboard;	⇒ コミュニティやユーザー掲示板での掲示板管理ツール
#!href.admin.lhtml;	⇒ コミュニティやユーザーホームページでのウェブディレクトリ管理ツール
#!href.admin.luser;	⇒ コミュニティやユーザー領域での会員管理ツール
#!href.admin.user;	⇒ イントラセルのユーザー管理ツール
#!href.login;	⇒ ログインの<form action=' #!href.login;' >形式として使用。
#!href.webmail;	⇒ ウェブメールURLリンク: #!popup.webmail;と比較してみてください。
#!href.logout.[URL];	⇒ ログアウトURLを表示、[URL]はログイン後の移動位置

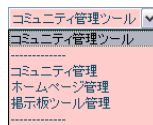
次はコミュニティ(あるいはユーザー)スペースのHTML文書の管理ツール及び掲示板の管理ツールをリンクします。

```
#!fi !lv>8;
<a href="#!href.admin.lboard;"> 掲示板管理</a><br>
<a href="#!href.admin.lhtml;"> HTML文書管理</a>
<a href="#!href.admin.luser;"> 会員管理</a>
#!fi;
```

次は管理ツールのメニューを構成するため採用されたジャバスクリプトとHTMLの原本です。

```
#!if lv==9;
<script>
  function admin_page_change(Select) {
    aurl=Select.options[Select.selectedIndex].value;
    if(aurl.length>0)document.location.replace(aurl);//value値(バリュー)が指定された場合にだけ実行。
    Select.selectedIndex = 0; //実行後、元通りに復元させる。
  }
</script>
<select name=admin_menu onChange="admin_page_change(this);">
<option value="">管理メニュー</option>
<option value="#!href.admin.lboard;">掲示板管理</option>
<option value="#!href.admin.lhtml;"> HTML文書管理</option>
<option value="#!href.admin.luser;">会員管理</option>
</select> #!fi;
```

ロケーションでのアクセスレベルが9であれば次の図のような管理ツールを利用することができるようになります。



“#!load…;”や“#!shell…;”などにより組み合わされたHTML文書に上のような構文が含まれるならばHTML文書のロケーションの掲示板及びHTML文書の管理ツールがリンクされます。

例1) ログアウト	⇒ ログアウト後“/'”に移動
例2) ログアウト	⇒ ログアウト後location Homeに移動

ログアウトを表す“#!href.logout.[変数];”に変数を宣言しなければログアウト後ロケーションホームに移

動します。ロケーションホームとはHTML文書に対し基本となるURLです。ログアウトを呼び出したURLとログアウト後移動するようになるURLは次のような関係を持っています。

http://sm.kseek.com/news.html	⇒ http://sm.kseek.com/
http://sm.kseek.com/@game/news/news.html	⇒ http://sm.kseek.com/@game/
http://sm.kseek.com/~summer/news.html	⇒ http://sm.kseek.com/~summer/

ハ、掲示板関連の予約語

セジオはウェブデーモンにウェブ掲示板の機能を基本的に搭載しております。一般的なHTML文書にウェブ掲示板のデザイン要素を便利に管理できるようにウェブフィルタリングスクリプトをサポートします。

#!brief…;掲示板の要約リスト

HTML文書に最近の掲示板リストの一部を表示するようにします。掲示物の中で返信掲示文を除いたリストの要約本を別途に保存してから呼び出すとき、HTML文書に挿入します。次はnotice掲示板に最近載せられた掲示物である6つの項目を挿入する例です。

形式) #!brief….[掲示板ID],option1,option2,…;
例) #!brief…,notice,style=Title//80/50:Date//35, l=6, lh=20;
⇒ notice掲示板の最近の文六つをラインの高さ:20pxに合わせて表示

下位オプションはリストスタイル、掲示物の数字、リストセルの高さなどを調節するのに使用されます。

下位オプション予約語	機能説明	設定例	備考
style	リストの形式を指定	style=title//80/50:date//35	
l	リストに表示する行数	l=5;	
lh	リストした行の高さ	lh=20	
bg	リストの背景色相	bg=#FFFFFF	
sw	リストスイッチの色相	sw=#FFFF00	
ov	リストマウスオーバーの色相	ov=#00FFFF	
clen	本文の要約本の長さ	clen=256	shortcut

リストの背景色相として使用される色相項目を指定しない場合透明色で処理されます。

次は要約リストに“<td>～</td>”に適用されるcssスタイルの例です。

クラス名	説明	備考
brieflist	最後のリストを除外して全体のセルに適用される。	
brieflast	最後のリストを構成するセルに適用される。	

次はスタイルを設定する例を表示しています。

```
<style>
.brieflist{padding:1;border-top-style:solid; border-top-width:4px;border-color:#0000ff; }
.brieflast{border-top-style:solid;border-width:4px;border-color:#0000ff; border-bottom-style:
solid; border-bottom-width:4px; }
</style>
```

下の二つの図はスタイルに効果を与えなかった時と効果を与えた時の違いを表示しています。



* 注意 : “#!brief;”構文による掲示物の要約リストをHTMLシェルに採用しないようにします。要約リストを含んだHTMLシェルが同一である掲示板のリストを表示するようにすると上のような動作をすることができます。原則的に一つのURLとして表示されるウェブ文書で同一する掲示板の要約リストが一緒に表現されないように注意しなければなりません。

“#!brief;”構文で掲示物に含まれたイメージファイルを表示する技法としてimagecut、shortcutなどの特性を使用またはthumb項目を選択する場合には“_thumbnail_view”というジャバスクリプトを必ず追加しなければなりません。“_thumbnail_view”は第3章2節の掲示板リストフィルタ作成法で紹介されます。（*_reize関数と常に一緒に使用しなければならない。）

#!b…;

掲示板のリスト、編集(エディタ)、表示(view)などのウェブフィルタで主に使用されます。“m_*”形式の下位予約語はアイコンのイメージと共に特定の機能を表示します。

#!b.m_seek;	⇒ 検索メニュー
#!b.m_post;	⇒ 書き込みメニュー
#!b.m_remove;	⇒ 削除メニュー
#!b.m_merge;	⇒ 文を統合するメニュー(予約)
#!b.m_copy;	⇒ 選択された掲示物をコピー(他の掲示板にコピーするため)
#!b.m_paste;	⇒ コピーした掲示物を掲示板にコピー
#!b.m_move;	⇒ 文の移動メニュー(予約)
#!b.m_undel;	⇒ 文の復旧メニュー
#!b.m_list;	⇒ 全体掲示板リストメニュー
#!b.m_setup;	⇒ 掲示板の環境設定メニュー
#!b.m_refat;	⇒ ファット(FAT)の復旧メニュー

それ以外のものは掲示板情報やウェブブラウザのHTML構成に関連します。

#!b.id;	⇒ 掲示板のID(ディレクトリ名と同様)
#!b.name;	⇒ 掲示板名(環境設定値)
#!b.uri;	⇒ 掲示板の接近URL
#!b.tail;	⇒ 掲示板の下位部分
#!b.head;	⇒ 掲示板の冒頭部分
#!b.tail;	⇒ 掲示板の下位部分
#!b.pquota;	⇒ 掲示物1個当たりのアップロード許容量(Mbyte)
#!b.bquota;	⇒ 掲示板使用許容量(Mbyte)
#!b.pages;	⇒ 全体ページ数
#!b.posts;	⇒ リストで管理する全体掲示物数
#!b.pageno;	⇒ 現在のページ
#!b.pagelist;	⇒ ページ選択メニュー
#!b.queryfield;	⇒ 検索フィールド選択の表示
#!b.querybox;	⇒ 検索クエリーボックスの表示
#!b.postlist;	⇒ 掲示物のリスト
#!b.postno;	⇒ 掲示物の番号
#!b.totalposts;	⇒ 掲示物の全体個数

掲示物のIDは掲示板が設置されるディレクトリ名と同様です。nameは掲示板環境設定で名前で設定された値が表現されておりURIはサーバの公式的な掲示板アドレスを表現します。掲示板のURIはロケーション

と掲示板のIDでも表現することができます。したがって“#!b.uri;”は“#!b.id;brd”と同様です。

掲示物の追加変数名は“#!b.var[数字];”形式で宣言され、数字では0から25までの数字を使用することができます。

#!b.var[0];	⇒ 0番目の追加変数名
#!b.var[1];	⇒ 1番目の追加変数名
#!b.var[2];	⇒ 2番目の追加変数名
.....	
#!b.var[25];	⇒ 25番目の追加変数名

#!p....;

掲示板ではリスト、編集、表示(または読み込み)などの用途から3つのウェブフィルタを運営しています。“#!p...;”構文は編集フィルタと表示フィルタ(または読み込みフィルタ)で主に使用します。“m_*”形式の下位予約語は掲示板アイコンと関係された特殊機能を連結します。

#!p.m_list;	⇒ リストへ移動
#!p.m_up;	⇒ リストから前の文を表示
#!p.m_move;	⇒ 移動
#!p.m_reply;	⇒ 返信書き込み
#!p.m_del;	⇒ 削除
#!p.m_back;	⇒ 戻る
#!p.m_edit;	⇒ 編集
#!p.m_down;	⇒ 次の文の表示
#!p.m_print;	⇒ 印刷

次は掲示板のフォーム自体の情報を表示する下位予約語です。

<code>#!p.id;</code>	⇒ 掲示物のID表示(実際の指定位置と関連する物理番号)
<code>#!p.no;</code>	⇒ 掲示物の番号(掲示板のビュー(view)での呼出し番号)
<code>#!p.pid;</code>	⇒ ペアレント掲示物のID表示(実際の指定位置と関連される物理番号)
<code>#!p.read;</code>	⇒ 読み込み回数
<code>#!p.uid;</code>	⇒ choshaID
<code>#!p.username;</code>	⇒ ユーザー名
<code>#!p.date;</code>	⇒ 掲示物の登録 年月日→ 2004/08/31
<code>#!p.time;</code>	⇒ 掲示物の登録 時刻 → 09:32:12
<code>#!p.art_up;</code>	⇒ 前の文のリンク
<code>#!p.art_dn;</code>	⇒ 次の文のリンク
<code>#!p.words;</code>	⇒ 掲示物のコメント表示
<code>#!p.rname;</code>	⇒ 説明が存在する場合実名を表示
<code>#!p.title;</code>	⇒ 掲示物の題目(件名)
<code>#!p.ctype;</code>	⇒ 掲示物のコンテンツタイプ(text, html or etc)
<code>#!p.email;</code>	⇒ keizi物に含まれたウェブメール
<code>#!p.writer;</code>	⇒ 掲示物の制作者:名前、名前(uid)、ウェブメールリンクなど多様な方式で表示
<code>#!p.url;</code>	⇒ 掲示物の制作者:名前、名前(uid)、ウェブメールリンクなど多様な方式で表示
<code>#!p.context;</code>	⇒ 掲示物の本文としてウイジウイグ編集時にアンダースコア(_)を表示しない。

掲示物の本文と資料ファイルは一つのファイルとして管理されます。資料ファイルは掲示物の本文に含まれるインライン(inline)ファイルと掲示物の本文に含まれない添付(attached)ファイルとに区分されます。

<code>#!p.file;</code>	⇒ 添付ファイルリストをリンク表示
<code>#!p.fname;</code>	⇒ 添付ファイル名を検索
<code>#!p.furi;</code>	⇒ 検索された添付ファイルの接近URI検索、 <code></code> 形態で活用される
<code>#!p.cfname;</code>	⇒ インラインファイル名を検索
<code>#!p.cfuri;</code>	⇒ 検索されインラインファイルの接近URI検索
<code>#!p.filecheck;</code>	⇒ 編集フィルタでファイル選択を表示(添付ファイルを含むか否かを選択するようにする)

掲示物を作成する時、エディタで挿入した図は本文の内容を飾っているためインラインファイルであり、ファイル名と共にCID(Content-ID)とする価値(value)を持っています。これと違ってファイル選択ウィンドウでファイルを選択しアップローディングしたファイルは添付ファイルでありCIDを持っていません。“`#!p.cfname;`”、“`#!p.cfuri;`”、“`#!p.furi;`”などは拡張子としてファイル名やURLアドレスを表示します。

```

<script>
    var furi="#!p.furi[0].jpg gif bmp';";
    if(furi.length>4)
        document.write('<a href="'+furi+'"></a><br>');
    // jpg, gif, bmp などの拡張子を持つファイル中、0番目のファイル名がある場合リンクさせる。
</script>

```

上のように検索方法を利用すると掲示物の添付ファイルを実行させるように具現できます。音楽ファイルや動画ファイルを掲示物表示(読み込み)で観賞することができ、ActiveXコントロールを挿入する方法で多様な機能を実現することができます。

掲示板ごと掲示物に26個まで追加的な変数を持つようにしますが“#!p.var[数字];”形式で使用され、数字では0から25までの数字を使用することができます。

#!p.var[0]	⇒ 0番の追加変数
#!p.var[1]	⇒ 1番目の追加変数
#!p.var[2]	⇒ 2番目の追加変数
.....	
#!p.var[25]	⇒ 25番目の追加変数

追加変数は“#!b.var[];”と密接に関連し、“#!if...;”などと組み合わせて次のように選択的な資料入力のために使用することができます。

```

#!if b.var[0];
<tr>
    <td>#!b.var[0];</td>
    <td><input name='var[0]' value='#!p.var[0];' class=input></td>
</tr>
#!fi;

```

上のHTML原本を掲示板の編集フィルタに含ませる場合、編集フィルタは環境設定で0番目から拡張変数を指定した場合に限り拡張変数のデータを入力します。

#!if…;～#!else…;～#!fi;

ウェブフィルタリングの分岐構文は掲示板の環境や掲示物の入力情報を基礎として使用することができます。掲示板の重要機能であるリスト表示、内容読み込み、掲示物の編集に関連するウェブ画面はそれぞれ異なる専用フィルタファイルにより構成されていますが、この文書から掲示板の分岐を頻繁に使用できるようになります。

#!if b;	⇒ 掲示板が開いた状態であれば
#!if b.post;	⇒ 掲示板の文が既読状態であれば
#!if b.bquota;	⇒ 掲示板のクォータが説明されたら
#!if b.pquota;	⇒ 掲示物に資料同封ができるならば
#!if b.owner	⇒ 所有者であるならば(拡大解釈:管理権限があれば、レベル9を含む)
#!if b.viewlock;	⇒ 所有者であるならば(拡大解釈:管理権限があれば)、書き込み権限のあるレベル8ならば
#!if b.file;	⇒ 掲示物にファイルを添付することができるように指定したならば
#!if b.remail;	⇒ 掲示板が掲示物に設置することができるように指定したならば
#!if b.var[0];	⇒ 掲示板が自動返信をサポートするならば
#!if b.var[0];	⇒ 掲示板 0番目の追加変数名が宣言されていたら
#!if p.owner;	⇒ 掲示物のオーナーであれば(管理権限があれば)
#!if p;	⇒ 掲示板の文が既読状態であれば
#!if p.file;	⇒ 掲示物に添付されたファイルがあれば
#!if p.viewlock;	⇒ 掲示物に非公開が設置されたならば
#!if p.remail;	⇒ 掲示物に自動返信機能が設定されたならば
#!if p.notice;	⇒ 掲示物が公示文として指定されたならば
#!if p.var[0];	⇒ 掲示物の0番目の追加変数に価値(value)が入力されたならば
#!if p.var[n];	⇒ 掲示物のn番目の追加変数価値(value)入力されたならば;nは0=25の間の数字

分岐の目的として使用される“#!if;”構文の条件は簡単な水準の複数の条件を比較します。

```
#!if u.lv<1 || b.viewlock;
    <td> パスワード</td>
<td><input name=passwd type=password size=8 class=input style="background:F4F9FF">
&nbsp;</td>
#!fi;
```

上のHTML原本は掲示板編集フィルタの一部を例として掲示板に非公開機能が設置するか、またはゲストである場合には掲示物のパスワードを設定するようにしています。

2.3 HTML SHELL

ウェブコンテンツの種類と量が増加することによりウェブサービスの構成は複雑になります。ウェブブラウザは効率的にウェブサービスの構成が可能であるようにFrameSet(フレームセット)、Frame(フレーム)、iFrame(アイフレーム)などをサポートしております。ウェブサーバはやはりSSI(Server Side Include)など、HTML文書の組み合わせ技法をサポートして効果的にウェブサービスを構成するようにしておりますが、セジオはSSIの文法をサポートしない代わりにウェブフィルタリングとしてHTML文書の組み合わせ技法をサポートし、新しい概念の“HTML SHELL”を導入いたしました。

イ、フレーム構成

フレームはウェブブラウザの画面を論理的に分離して、分離された画面にお互い他のURLのHTML文書を表示する効果を与えます。複雑なホームページではトップメニュー、下位メニューなどのように複数のウェブサービスで継続的に呼び出しする部分があります。このような領域を別途のファイルに分けて管理すると管理費用を節減することができます。

多段フレームの構成

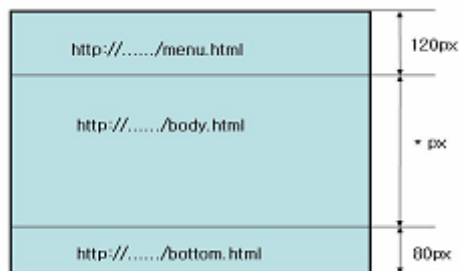
機能別に分けられたHTML文書を維持するようにフレームをいくつかに分けて構成することができます。トップメニュー、下位メニュー、コンテンツ部分についてHTML文書をいくつかに分け、これに対応するフレームを作成し、各フレームに他のURLのHTML文書を表示するようにする方法です。次は多段フレームで構成された例です。

```

<HTML>
<HEAD>
<TITLE>セジオホームページによこそ!!</TITLE>
<frameset rows="120,*80" border="0">
  <frame name="MENU" scrolling="no" src="menu.html">
  <frame name="BODY" scrolling="no" src="body.html">
  <frame name="BOTT" scrolling="auto" src="bottom.html">
</frameset>
<noframe>
フレームセットをサポートしないウェブブラウザを使用されています。
</noframe>
</HTML>

```

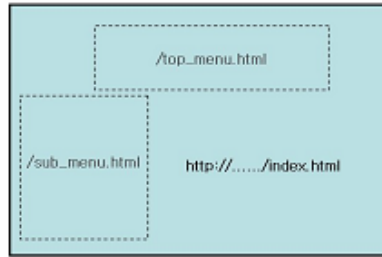
ウェブブラウザが上のHTML文書をローディングすると次のように画面を分割します。(実際のウェブブラウザでは分割された画面に境界線が現れません。)



各フレームはそれぞれ異なったURLからHTML文書を伝送されて全体の画面を構成します。一つの文書であるかのように表示していますが、個別的にスクロールバーが出現して構成が崩れる恐れがあるという短所があります。

単一フレームとSSI

サーバのSSI機能を利用しウェブブラウザのフレームを論理的に分離せずに崩れないウェブサービスを構成することができます。SSIとはいくつかの文書をHTML文書で組み合わせて伝送する技法です。次の図はSSIを利用した単一のフレーム構造を表示します。



ウェブサーバは“top_menu.html”、“sub_menu.html”などのHTML文書を一つに統合し伝送します。

iFrame 導入

CGIなどで作成されたウェブアプリケーションのようにHTML文書の変更に困った場合、iFrameを使用することができます。次はiFrameの使用例です。

```
<iframe name=brd width=500 height=450 src="http://sm.kseek.com/cgi-bin/board.cgi"></iframe>
```

iFrameは一般的なフレームとは違いHTML文書で一定する大きさのボックス形態として画面を分割し、別途であるURLのHTML文書が伝送されて画面に表示されます。



必要な場合、iFrameではスクロールバーや境界線が見えないように調整し完全たる一つの文書であるかのように表示することができます。

HTML SHELL

HTMLシェルはウェブフィルタリングによりHTML文書を組み合わせる方法でSSIに比べ、簡素された特性

を持っています。次の図はHTMLシェルの構成する例を表わしています。



SSI方式とは違いHTMLシェルはURLの元HTML文書を補助HTML文書の間に挿入する方式で文書を組み合わせます。HTML文書を“コンテンツ文書”、“補助HTML文書を“シェル文書”と呼びます。次の図はHTML文書でシェル文書を組み合わせてシェル文書に上位メニューを組み合わせる関係を表示しています。数字はHTML文書の組み合わせ順です。



上の図では1番の文書のみがURLを与えられます。1段階のフィルタリング過程で2番の文書がシェルとして作動しており、2番のシェル文書がフィルタリングされる過程で3番の文書を含ませます。

□、HTML Shell

HTMLシェルはイントラセルのHTML文書領域に“*.shell”形式名で指定されます。HTML文書のように作動してテキストの編集ツールで編集することができるようセジオ管理ツールで“shell”拡張子を持つファイルのMime設定を“text/html”として指定します。次はコンテンツ文書(左側)とHTMLシェル(右側)が独立的に

ウェブブラウザに表示される画面です。



左側の画面はディレクトリの管理サービスとしてサーバでサポートされるCGIの実行結果です。2つの文書は“#!shell…”構文により次のように表示されるHTML文書として組み合わせられます。



HTMLシェルは一般的にHTML文書だけではなくCGIスクリプトの実行結果の外郭を整えることができます。シェル文書は必ず次のような文書の分岐点を表示しなければなりません。

#[:] ⇒ シェル文書はこの表示を前後に分岐しコンテンツ文書を含ませる。

表示された位置にコンテンツ文書を挿入する時に表示がない場合、文書の最後にコンテンツ文書を挿入します。

基本シェル

コンテンツ文書が存在するディレクトリの“Index.shell”を基本シェルといいます。“shell…”構文に変数を指定しないと基本シェルが自動的に作動されます。掲示板、CGIなどでは異なった形で適用されます。次はコンテンツ文書による基本シェルを要約する内容です。

種類	URI 例	基本シェル	備考
一般 HTML文書	/index.html	/index.shell	
	/sub_cont/main.html	/sub_cont/index.shell	
	/^toto/in/ddd.html	/^toto/in/index.shell	
PHP スクリプト	/index.php	/index.shell	HTML文書同様
	/sub_cont/main.php	/sub_cont/index.shell	
掲示板	/notice.brd	/index.shell	
	/^summerb/note.brd	/^summerb/index.shell	
	/@game/fr.brd	/@game/index.shell	
CGI バイナリ	/cgi-bin/time/schedul	/index.shell	
	/cgi-bin/messenger/memo	/index.shell	

指定シェル

指定シェルとは最も一般的に使用されるシェルのことをいいます。そして次のような方法によりコンテンツ文書に“#!shell…”構文の変数として指定し使用されます。

例	1) #!shell,main.shell;	
	2) #!shell,main;	⇒ “main.shell” or “main/index.shell”
	3) #!shell,.. /main/;	⇒ “../main/index.shell”
	4) #!shell,/;	⇒ “/index.shell”

ディレクトリ名を指定するとディレクトリの基本シェルを指定シェルとして認識します。次はCGIでシェルを指定する例です。

形式) printf(“Content-type: text/html¥n¥n”);以後、本文で“#!shell;”構文を活用。		
1) printf(“Content-type: text/html¥n¥n#!shell;”);	⇒	相続ジャケットを作動。
2) printf(“Content-type: text/html¥n¥n#!shell,/cgi;”);	⇒	…ジャケット(shell)を作動

次は相対URLを指定する方法を説明する表です。

URL: http://sm.kseek.com/intra/comunity/board.html	
<code>#!shell,ddd;</code>	⇒ html/intra/comunity/ddd.shell
<code>#!shell,.../ddd;</code>	⇒ html/intra/ddd.shell
<code>#!shell,...../ddd;</code>	⇒ html/ddd.shell
<code>#!shell,~sysop/</code>	⇒ html/~sysop/index.shell
<code>#!shell,@game/</code>	⇒ html/@game/index.shell

呼び出しシェル

呼び出しシェルはURLで呼び出すシェルとして指定シェルと基本シェルに比べ優先順位を持っています。

```
<a href=/home/dodo.html?shell=/main.shell>
```

次はCGIスクリプトと掲示板で呼び出しシェルを使用する例です。

http://sm.kseek.com/cgi-bin/test.cgi?shell=/cgi	⇒ CGIでのシェル指定
http://sm.kseek.com/notice.brd?shell=/main	⇒ 掲示板でのシェル指定

呼び出しシェルは次のような方法によりコンテンツ文書で指定されたシェルを無力化させます。

http://sm.kseek.com/cgi-bin/t.cgi?no=1&shell=none	⇒ CGIでのシェル指定取消
http://sm.kseek.com/notice.brd?shell=none	⇒ 掲示板でのシェル指定取消

相続シェル

代表性のあるHTML文書で特定HTMLシェルについて相続を決定すると以後のHTML文書で指定シェルを使わない一つの相続シェルが作動されます。相続シェルは指定シェル及び呼び出しシェルを設定する時、次のような方法でシェル名の前にイコール(=)を表示する方法で設定します。

<code>#!shell,=/main.shell;</code>	⇒ フィルタリングの過程で相続シェルを設定
1) <code></code>	⇒ URL呼び出し時、相続シェルの設定
2) <code></code>	⇒ URL呼び出し時、相続シェルの設定

相続シェルは同一集団のブラウザについて作動します。イントラネットの画面構造でコミュニティを別途のウィンドウで表すように構成した場合、コミュニティの画面構造で相続シェルを変更するようになるとイントラネットの画面構造の相続シェルと共に変更されます。相続シェルを使用しウェブページを構成するのな

らばコミュニティや個人ホームページが一つのブラウザで移動可能に構成しなければなりません。

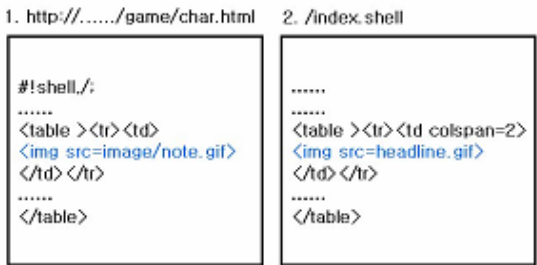
HTMLシェルは次の順序により優先順位を持っています。

- 1) 呼び出しシェル 2) 指定シェル 3) 相続シェル 4) 基本シェル 5) メインURLの基本シェル

掲示板のリスト、読み込み、編集フィルタでは#!shell;構文が使用できるが必ず位置表示で作動されます。呼び出しシェルが使用される場合、指定シェルの#!shell;構文もまたシェル効果が発生する位置を表示します。

ハ、シェルテンプレートロケーション

次の図は“#!shell;”構文により調律される二つの文書の内容を表示しています。1番の図はURLに該当する文書として2番の文書をシェルに呼び出しています。



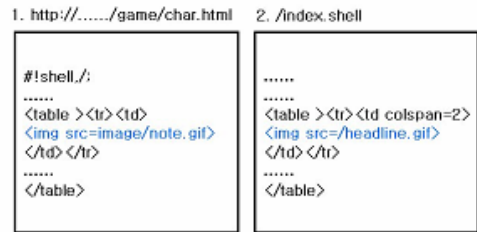
1番と2番のHTML文書は一つに組み合わせられウェブブラウザとして伝送されます。ウェブブラウザは1番のURLを基礎としてHTML文書に含まれた異なる各コンテンツのURLで資料ファイルをローディングします。上の二つの文書に表記されたイメージリンクは次の表に要約したようなURLでイメージを要請するようにします。

- | | |
|-------------------|--|
| 1) image/note.gif | ☞ http://sm.kseek.com/game/image/note.gif |
| 2) headline.gif | ☞ http://sm.kseek.com/game/headline.gif |
| | * BASE URL: "http://sm.kseek.com/game/char.html" |

もしも1番のコンテンツ文書のURLが“http://sm.kseek.com/note.html”ならば2番のシェル文書のイメージリンクは次のURLとして要請されます。

- | | |
|--------------|---|
| headline.gif | ☞ http://sm.kseek.com/headline.gif |
| | * BASE URL: "http://sm.kseek.com/note.html" |

2番のシェル文書のイメージは相対URIとして連結されるために前で述べたようにシェル文書を呼び出すコンテンツ文書のURLとして翻訳される場合もあります。したがってウェブブラウザは相違するURLのイメージをロードするためにウェブサーバに要請されるようになり、またウェブサーバはいくつかの要請に対し正常なイメージを伝送することが不可能になります。このような不便さを少しでも無くするためにはイメージや資料ファイルを絶対URL及びURIに連結しなければなりません。



右側の図と同じようにイメージを絶対URIとして指定すればどの文書と組み合わせるとしても一つのイメージを表示できるようになります。イメージやURLの連結方式に絶対URIを適用すると良好なウェブデザイン構成をテンプレート化し、コミュニティ、個人スペースなどにコピーされ再活用する過程で直さなければならない部分が増えるようになります。このような問題を解決するためには“#!...;”構文を使用します。

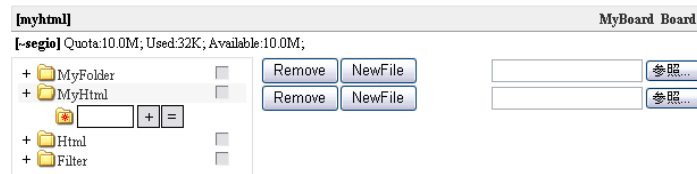
1) #!;	⇒ 現在フィルタリングされているHTML文書のロケーションホームを表示する。 例)
2) #!.base;	⇒ 現在フィルタリングされているHTML文書の同じディレクトリを表示する。 例)

ウェブデーモンは文書を組み合わせる度に文書のロケーションと関連したユーザーの権限を点検します。“#!...;”構文を活用しシェル文書をデザインするならばコミュニティ、個人ホームページなどにコピーしそのまま使用することができます。またこれと同じ方法でテンプレートを開発することができます。

二、HTMLシェルの作動例

ウェブサービスを構成するウェブ文書はウェブ管理ツールにより管理されます。ウェブ管理ツールを利用するとディレクトリの生成、資料ファイルのアップローディング、新規HTML文書を作成することができます。

複数のHTML文書を制作してこれらの文書をシェルやロード技法を利用しウェブサービスを提供するようになります。



次は上の管理ツールに表示された“index.html”の原文です。

```
<title>Html testing</title>
<body>
#!shell,=index;
This is index.html Document
<table width=300 border=1 bgcolor=white>
<tr>
  <td> this is test table</td>
</tr>
</table>
</body>
```

次は管理ツールに表示された“index.shell”の原文です。

```
<style>
td, th, textarea, body, div { font-size:11pt }
a { text-decoration:no }
</style>
<table border=3 cellspacing=0 cellpadding=0 bgcolor=#A0C0FF width=600>
<tr>
  <td colspan=2 valign=top height=40> this is index.shell </td>
</tr>
<tr>
  <td bgcolor=#A0FFC0 valign=top height=120>#!load,menu.html;</td>
  <td bgcolor=yellow valign=top>#![ ];</td>
</tr>
</table>
```

次は管理ツールに表示された“menu.html”の原文です。

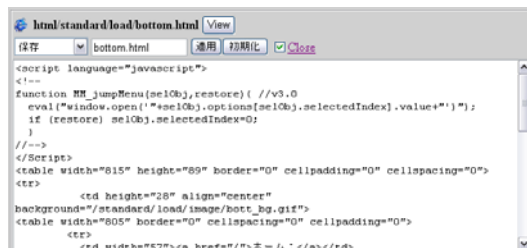
```
<div>
this is menu.html
</div>
```

上の3つの文書は一つの文書として組み合わせられ次のように表わされます。



直接編集機能(Edit on View)

“#!shell;”、“#!load;”などの構文は一つの画面を表示するのにいくつかのHTMLファイルが利用されます。組み合わせに使用されたHTML文書をウェブ管理ツールで一つ一つ探して管理するという不便さをなくし、サービス利用中に編集が可能である文書は直接修正することができるよう直接編集機能(edit-on-view)を導入しました。また上の図の左側下段から3つの編集アイコンが透明色で表示されていることが確認できます。これはユーザーが編集可能である3つのウェブ文書が組み合わせられていることを意味し、アイコンをクリックすると次のようなHTMLのウィンドウが生成されます。



編集後、適用 (Submit) をクリックすると資料がサーバに伝送されて、編集ツールは閉じ伝送された新しい編集結果が更新されます。また、closeのボックスの選択を解除した後、適用 (submit) をクリックすると編集ウィンドウは閉じることなく、新たに修正された内容に更新することができます。

ユーザースペースで編集されたHTML文書にイントラセル領域のシェル文書を採択した場合と同様にユーザーが部分的なHTML文書についての編集権限を持つ場合、ウェブサーバは編集権限のあるHTML文書についてのみ直接編集ツールを提供します。上の画面で表示している編集ウィンドウは別途のポップアップウィンドウで現れ、シェル文書をローディングしません。CSS適用のため次のタグが挿入されています。

```
<link href="/segio/editor.css" rel="stylesheet" type="text/css" >
```

Html/segio/editor.cssファイルを編集しCSS Styleを変化させることができます。

2. 4 CGI/PHP拡張

CGIはすべてのイントラセルで共通に使用できるようにサポートされます。反対にPHPはイントラセルごと独立的に使用されることがあります。CGIはセジオ管理者がイントラセルでできるように設置しなければなりません。PHPIはイントラセル管理者が設置し使用することができます。

イ. CGI バイナリ

CGIは“/etc/shhttpd/cgi-bin/”ディレクトリに存在し、すべてのイントラセルで使用することができます。CGIは独立的なプロセッサ形態で実行され、サーバの全領域にアクセスすることができます。そのため全体のイントラセルで共通的に使用できるので、イントラセルごとに別途のCGIの搭載はサポートしていません。次はCGIの呼び出しによるウェブサーバの反応について説明しています。

```
URL) http://sm.kseek.com/cgi-bin/test.cgi
```

⇒ /etc/shhttpd/cgi-bin/test.cgiの実行結果をウェブブラウザに伝送する。

URL呼び出しによる実行

URL呼び出しによる実行は最も一般的なCGIの実行方法です。CGIは前に述べたように特定であるURLのアドレスを持ち、またウェブブラウザがURLを要請するとウェブサーバが実行した結果を伝送するようになります。次はC言語で簡単に表わされたCGIの原本です。

```
#include <stdio.h>
#include <stdlib.h>
extern char **environ;
int main(int argc, char *argv[])
{
    int i,re;
    char **s;
    printf("Content-type: text/html; charset=UTF-8¥n¥n");
    printf("#!SHELL;"); //シェルを呼び出す。
    printf("<b>test CGI<hr><pre>¥n=====Argument Variables=====¥n");
    for(i=0;i<argc;i++)printf("argv[%d] :[%s]¥n",i,argv[i]);
    printf("¥n=====Environment Variables=====¥n");
    for(s=environ;*s;s++)printf("%s¥n",*s); //環境変数をすべて出力する。
    return 0;
}
```

ウェブデーモンはCGIバイナリを呼び出しながら複数の情報を環境変数形式で伝達します。CGIは次のような多様な情報を伝達するようになります。

上のHTML原文はフィルタリングのプロセスを経て次の図のようなウェブ画面を構成するようになります。

```
test CUI

-----Argument Variables-----
argv[0] | /App-bins/test

-----Environment Variables-----
QUERY_STRING=call-out-variable
REQUEST_METHOD=GET
SCRIPT_FILENAME=/etc/apache2/cgi-bin/test
USER=/www/bsm/bsm/bsm/
DOCUMENT_ROOT=/html/
REMOTE_USER=argp
REMOTE_HOST=192.168.1.102
REMOTE_ADDR=192.168.1.102
REMOTE_LOCALTIME
REMOTE_USERLEVEL=9
REMOTE_LOCALTIMELEVEL=9
DIN0 QUOTA=44946
USERMODE=0074=0
USERMODE_HK=4
REMOTE_USERMODE=71213
REMOTE_FILENAME=71213
```

HTMLインライン呼び出しによりCGIが実行される場合、“QUERY_STRING”で指定される環境変数は“#!
load,...”構文で指定された値を持っています。

四、PHP

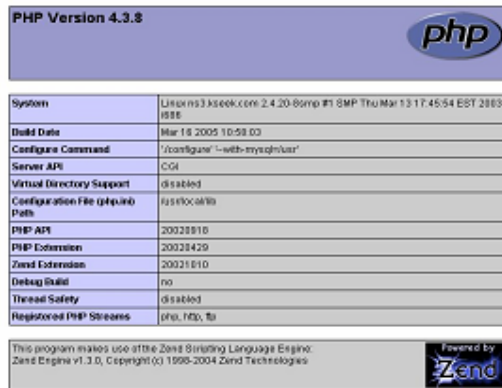
セジオはUTF-8を基本の文字セットとして使用するためDatabaseもUTF-8をサポートしなければなりません。セジオウェブデーモンは“*.php”、“*.php4”形式のHTML文書にPHPを作動させた結果についてウェブフィルタリングを進行します。PHP文書が位置したディレクトリの上位領域はアクセスできないように設定されています。

PHP 情報表示

アップッチの時と同じように次のような方法でPHP設定値を確認することができます。

```
<? phpinfo(); ?>
```

上のような内容を含んだPHP文書は次のように表示されます。



上の構文を含んだPHPスクリプトをウェブディレクトリに位置させるとセキュリティ上の問題が生じる恐れがあります。

変数名	伝達資料
REQUEST_METHOD	サーバ要請方法(ex) GET or POST)
HOME	イントラセルのホームディレクトリ
DOCUMENT_ROOT	HTML文書のホームディレクトリ
REMOTE_USER	ユーザーID
REMOTE_HOST	要請したユーザーのホスト名
REMOTE_ADDR	要請したユーザーのIP
REMOTE_USERLEVEL	ユーザーのアクセスレベル (ex) 0 ~ 9)
REMOTE_LOCATIONLEVEL	ロケーションでのレベル(コミュニティ、ユーザースペース)
DISK_QUOTA	ユーザー別に使用可能な容量
USERHOME_QUOTA	ユーザーのホームディレクトリ容量
USERBOARD_MAX	ユーザーが所有可能な掲示板数
REMOTE_USERNAME	ユーザー別名(あだ名、ニックネーム)
REMOTE_REALNAME	ユーザー実名(本名)
SERVER_NAME	サーバ名
HTTP_HOST	該当するイントラセルのドメイン名
INTRACELL	イントラセルの番号

上の各環境変数の価値は下のコードで確認することができます。

```
<? system("env"); ?>
```

認証 (Authorization) 共有

ログインしていないユーザーの場合はアクセスレベルが0に相当し、ログインしたユーザーはアクセスレベルが1以上を所持することができるのでアクセスレベルを利用して手軽に認証の可否を処理することができます。次は“REMOTE_USERLEVEL”を利用し認証の可否を処理する簡単な例です。

```
<? if($REMOTE_USERLEVEL > 0)
{
    echo "ログインされました。<br>";
    echo $REMOTE_USERNAME . "さん、ようこそ！";
} else {
    echo "ログイン後にご利用ください。";
}
?>
```

REMOTE_USERLEVEL以外にもREMOTE_USER(ユーザーID)、REMOTE_USERSME(ユーザーニックネーム)、REMOTE_REALNAME(ユーザー実名)などの環境変数値値を利用し別途の認証プロセスなしに更に手軽な処理が可能です。

シェルテンプレート適用

単一フレームとしてHTML文書を構成する時、PHPで作成されたアプリケーションに次のコードを入力するとPHPコードにHTMLを挿入するという作業なしにテンプレートを効果的に適用することができます。

1. echo "#SHELL,=";	⇒ 相続シェルを適用する場合
2. echo "#SHELL,/";	⇒ 基本シェルを適用する場合
3. echo "#SHELL,/main.shell";	⇒ 指定シェルを適用する場合

下の図はPHPコードにシェルを適用した例を表示しています。

```
<?
echo "#!shell,=";

/*****
 * 共通ファイル include
 *****/

include "_head.php";

/*****
 * 掲示板設定チェック
 *****/
```

下の図はPHPとして適用されたゼロボードにシェルを適用した例です。一般的な公開PHPプログラムは“UTF-8”文字セットでない場合がありますが、この場合HTMLシェル文書と組み合わせる過程で問題が発生する恐れがあります。したがって、必要に応じてはUTF-8文字セットに転換するようにならなければなりません。



DateBase 連動

MySQL4.1以上のバージョンの場合、すべての保存データをユニコード(UTF-8)で保存します。したがって下位バージョン(MySQL4.1以下)で使したWeb Application 及びDatebaseデータをユニコードに変更する別途の作業が必要です。次はPHPを利用しDBにアクセスする例です。

```
<?
$conn=mysql_pconnect("localhost","segio","segio");
if(!$conn){ echo "Mysql Connect Fail"; }
else      { echo "Mysql Connect OK"; }
?>
```

セジオは基本の文字セット(キャラクターセット)としてUTF-8を採択します。互換するために次のような方法でMySQLの文字セットを“UTF-8”で指定します。

```
ex) mysql_query("SET NAMES UTF8" , $conn);
```

上位ディレクトリのアクセス制限

一つのサーバで多数のイントラセルを運営する場合、イントラセル間の干渉を避けるためにPHPで上位ディレクトリの接近ができないように制限しています。

```
<?
include("lib/lib.php");    // 作動
include("../inc/inc.php"); // 上位ディレクトリの接近(アクセス)によりエラー発生
echo "PHP Testing.....";
?>
```

2番目の関数の実行では“Failed opening '../inc.php' for inclusion”というエラーメッセージが現れます。

その他

基準のサーバにApacheとPHPがSourceをコンパイルの一つの形式として設置された場合、セジオのPHPが作動されないようにすることができます。設定ファイルとライブラリの違いに起因したものとして除去後もう一度設置しなければなりません。

第3章 掲示板

掲示板はマルチメディアを簡単に応用することができるように開放型のウェブフィルタリングをサポートしております。掲示物のリスト表示、掲示物の編集、掲示物のお問い合わせ(照合)などの重要機能についてウェブフィルタリングを応用し自由にウェブ画面を構成して一般HTML文書とも便利に組み合わせることができます。

3.1 掲示板の管理

一般掲示板、コミュニティ掲示板、ユーザー掲示板はそれぞれURIにより特徴別に分類され、同一の形式で生成管理されます。したがってユーザー掲示板やホームページを巧みに扱うユーザーはコミュニティやイントラネットを十分に管理することができます。

一般掲示板

一般掲示板はバーチャルファイルのURL形式で呼び出され、イントラセルの特定ディレクトリと関係します。

`http://sm.kseek.com/notice.brd`

☞ `board/notice/` (noticeはディレクトリ名だ。)

コミュニティ掲示板

コミュニティ掲示板はコミュニティ領域で別途に使用することができる掲示板です。コミュニティのIDと掲示物のIDを組み合わせ次のような形式のURLで表示します。

`http://sm.kseek.com/@game/note.brd`

☞ `group/game/board/note/`

コミュニティはイントラセルで指定した個数以内の掲示板を運用することができます。

ユーザー掲示板

ユーザー掲示板はユーザー領域に設置することができる掲示板です。イントラネット管理者はイントラセル環境設定でユーザーのアクセスレベルにより所有することができる最大掲示板数を指定することが可能です。またユーザーはアクセスレベルにより許容された個数まで掲示板を作成して使用することができません。

<http://sm.kseek.com/~sysop/friend.brd> home/s/sysop/board/friend/

イ. 掲示板の管理ツール

セジオはウェブデーモンに掲示板の機能を基本搭載しており、掲示板の設定、削除、環境設定の作業をするための管理ツールをサポートします。次の図は管理ツールの例です。

掲示板管理 [1]							
[NewBoard] Total 21							
NO.	ID	ネーム	読み込み 権限	書き込み 権限	シェル	ユーザ	posts Data
01	board1	Talk Talk	-U 0	-U 0			000 0.0K
02	board2	ユーモア	-U 0	-U 0			000 -
03	board3	(ばかりばか(笑)	-U 0	-U 0			000 0.0K
04	board4	今日の新聞	-U 0	-U 0			000 0.0K
05	coman1	コミュニティ	-U 0	-U 0	/usr/sbin/ssh		000 0.0K
06	coman2	コミュニティ	-U 0	-U 0			000 0.0K
07	coman3	コミュニティ	-U 0	-U 0			000 0.0K
08	coman4	コミュニティ	-U 0	-U 0			000 0.0K
09	data1	ゲーム	-U 0	-U 0			000 0.0K
10	data2	インターネット	-U 0	-U 0			000 0.0K
11	data3	動画	-U 0	-U 0			000 -
12	data4	マルチメディア	-U 0	-U 0			000 0.0K
13	help	ヘルプ	-U 0	-U 0			000 0.0K
14	issue	掲示板環境設	-U 0	-U 0			000 -
15	master	運営者受信箱	-U 9	-U 0			000 -
16	news	News Today	-U 0	-U 0			000 0.0K
17	notice	お知らせ	-U 0	-U 0			000 0.0K
18	photo1	写真ニュース	-U 0	-U 0			000 -
19	photo2	絵日記	-U 0	-U 0			000 -
20	photo3	デジタルカメラ	-U 0	-U 0			000 -

掲示板の管理ツールはイントラセル管理者、コミュニティ管理者、ユーザーホームページのあるユーザーにも提供されます。図からも分かるように掲示板の番号、ID、名前、読み込み権限、書き込み権限、HTMLシェル、ユーザー、掲示物数、資料容量などの項目についての情報を表しています。タイトルをクリックすると各表示項目について整列することができ、管理する掲示板が増えた場合には備え付けのページを

サポートいたします。次のような方法でHTML文書に掲示板管理ツールをリンクすることができます。

```
#if u.lv=9;  
<a href="#href.admin.board;"> 掲示板管理</a>  
#fin;
```

コミュニティ及びユーザー掲示板の管理ツールのリンク方法はそれぞれ第4章2節と第4章3節で説明しておりますのでそちらをご参照ください。

新規掲示板の生成

図で“新しい掲示板”というメニューをクリックすると新しい掲示板を生成するための環境設定ウィンドウが現れます。環境設定ウィンドウは基本的な環境設定の指定項目と共に新しい掲示板のIDを入力するように準備されています(第3章3節“board_rc.html”専用フィルタを参照)。そしてポップアップウィンドウに新しく生成する掲示板のIDと共に環境設定を指定します。この時、掲示板のIDは既存のものと重複しないようにし、英文字、数字、アンダースコア(_)、マイナス(-)などを使用した16字未満で入力します。

掲示板の削除

図で掲示板リストの左側にあるチェックボックスを選択した後、下段の削除(Remove)ボタンをクリックすると確認手続きを経て削除されます。掲示板が削除されると削除された掲示板を復旧することはできません。

ロ、掲示板の環境設定

掲示板の環境設定は掲示板のリストや掲示板の管理メニューで呼び出しされます。環境設定で特定する値で指定されず削除された項目はイントラネット設定の掲示板に関連する設定値として適用されます。環境設定で変更できないならば基準の設定値を継続維持します。次の図は掲示板環境設定のためのウェブページです。

掲示板環境設定(boardsrvd)						
掲示板名	Talk Talk		管理者			
代表アイコン	jp2		フィルタ			
読み込み権限	D ☐ U ☒ 0		掲示板総容量 500 MB			
書き込み権限	D ☐ U ☒ 0		添付ファイル容量 30 MB			
検索フィールド	シェル文書					
リスト並び	no/番号/file/ファイル/20 title/件名/200/45-writer/作成者/date/日付/Rea					
詳細設定	リストフィルタ 読み込みフィルタ 編集フィルタ リスト並び リスト数値 追加実数					
色相設定	ヘッドカラー	#E0E0E0	リストカラー			
	境界線	#E0E0E0	リスト転換	#FFFFFF	区分カラー	#000000
	本文背景カラー	#FFFFFF	リスト反転	#666666	文字カラー	
選択事項	☒ 境界線	☒ エディタ	☒ アイコン	☒ コメント		
	☐ 非公開	☐ 無名作成	☐ 自動返信	☒ URLリンク		
	☐ タイトル行削除	☐ 確認指示	☐ 実名使用	☐ 自由削除		
上段部分						
下段部分						
Submit Reset Cancel						

権限設定

掲示板の各種権限はアクセスレベルを基準に設定します。権限のアクセスレベルは1から9までの数字を連続して入力することができます。Dは'Dedicate'の略字として指定されたアクセスレベルに限り権限が与えられることを意味します。選択されていなかった場合、最初に指定されたアクセスレベル以上のユーザーに権限が与えられます。'U'は選択されるとイントラネットのユーザーレベルを基準に権限を設定し、選択されないとロケーションの会員アクセスレベルを基準に権限を設定します。イントラネットの一般領域ではユーザーレベルとロケーションの会員レベルが同じになります。

設定レベル	権限設定内容	備考
DU 237	ユーザーレベルが2, 3, 7である場合のみ許可	
-U 3	ユーザーレベルが3, 4, 5, 6, 7, 8, 9である場合のみ許可(最初のレベル以上)	
D- 458	会員レベルが4, 5, 8である場合のみ許可	
- 623	会員レベルが6, 7, 8, 9である場合のみ許可(最初のレベル以上)	

リストスタイル

リストスタイルは掲示板のリストでどのような項目のものを表示するのかを決定します。次はリストスタイルを指定する方法を説明します。

1. 各<td>～</td>の価値はコロン(“:”)で区分する。
2. 各 td セルの特性値は次の順序によりスラッシュ(/)で区分し整理する。 整列項目/ヘッドライン名/横幅(ピクセル)/文字の長さ制限。 *存在しない項目については連続でスラッシュ(/)を入力する。
3. 例)“NO/文の番号:WRITER/作成者:TITLE/掲示物題目:DATE/作成日時:READ/ヒット数: 基本:“NO/NO:WRITER/Writer:TITLE/Title:DATE/Date:READ•Read”

リストスタイルはHTML文書に掲示板の一部のリストを挿入させる機能をする“#!brief;”構文でも同じ方法で次のようなフィールド記号を使用します。残りとして表示された値は基本価値です。

フィールド記号	広さ加重値	制限文字列	整列方式	説明	備考
no	15		center	番号	
title	100	30		題目	
uid	40		center	ユーザーID	
uname	30		center	ユーザー名	
writer	50		center	著者	名前(ID)
read	15		center	ヒット数	
url	50	30		ホームページアドレス	
date	30		center	作成日時	
mail	50	30		電子メールアドレス	
file	15		center	添付ファイル(ファイルアイコン)	
fname	50	14	center	添付ファイル名	
thumb	40		center	イメージファイルのサムネイル(画像)	
shortcut	＊ イメージ + タイトル + 本文の一部としてリストを構成する				
imagecut	＊ イメージと付加情報を利用し、イメージの主としてのリストを構成する				

掲示板リストに表示されるフィールドの情報は“<td>～</td>”タグの構文により表示されます。各“<td>”セルはすべて選択されたフィールドの加重値総合に比例する広さとして指定されます。実際に入力される広さの加重値は128を越えることができず、タイトルの加重値を100に固定して残りのフィールドの広さを相対的に推定し入力するようにします。

“shortcut”と“imagecut”をスタイル構成の最初に位置させると掲示板リストはイメージを伴う形態リストとして構成されます。次は“shortcut”の使用例です。

#b:brief,notice,style=shortcut//100, ⇒ Notice掲示板の要約リストをイメージサイズ(100×100)
“shortcut”、“imagecut”は次のような形式で“style”項目を指定します。
変数形式: shortcut/[type]/[img width]/[title length]/[context length]/[alignment]; 例) #b:brief,notice,style=shortcut//80/50/250/right; ⇒ Notice掲示板の要約リストをイメージサイズ(80×80) ⇒ 本文の長さが250字、タイトル行の長さ50字で構成

検索フィールド設定

掲示板リストでは検索サービスを提供します。“#b.queryfield;”構文は掲示物検索のためのフィールド選択を表示します。検索フィールドの種類は掲示板環境設定を通じて変更することができます。前で説明した掲示物のフィールド記号うち検索が可能なフィールド(no,thumbなどは除外)のフィールド記号を活用して次のように指定します。

形式) フィールド記号1/フィールド名1:フィールド記号2/フィールド名2: ...
例1) all/全体:title/タイトル:file/ファイル名 ⇒ 指定した名前を直接使用。
例2) title:all:file:uname ⇒ 言語辞典で定義された名前を使用

入力しない時、基本価値は“all:title:context:file:writer”として設定されます。

掲示板基礎情報

次は掲示板と基礎情報についての説明を要約した内容です。

基礎項目	説明	備考
掲示板名	掲示板の名前を入力	
管理者	掲示板の所有者IDを入力(空白で区分し複数の指定が可能)	master summer
代表アイコン	掲示板の代表アイコンを指定、ない場合イントラネット及びロケーション相続	
フィルタセット	読み込みフィルタ、編集フィルタ、リストフィルタの代表名を指定	
掲示板容量	掲示板全体の許容容量としてMbyte単位で指定	
掲示物容量	掲示物一つの最大容量としてMbyte単位で指定	
シェル文書	固定的なシェル文書を指定	
上段部分	掲示物の上段部分に表示するHTML文書	#b.head;
下段部分	掲示物の下段部分に表示するHTML文書	#b.tail;

代表アイコンは共有のウェブ資源である“/etc/shhttpd/icons/”の下段ディレクトリ名の中の一つを入力しますが指定しない場合、イントラセルやコミュニティの環境設定、ユーザー環境設定で指定された価値が相続されます。ディレクトリ名は`/`文字を除外して入力しなければならず、存在しない場合には“default”として作動します。

フィルタセットは掲示板で使用するリストフィルタ、読み込みフィルタ、編集フィルタの代表名を入力するようにしています。イントラセルの“filter/”ディレクトリの下位では“list”、“view”、“edit”のディレクトリがあり、代表名が入力された場合それぞれのディレクトリから指定フィルタが存在するのかを確認して作動します。指定フィルタが存在しない場合基本フィルタが作動されます。

指定フィルタはイントラセルの管理者のみが作成することができ、イントラセルのすべての掲示板で使用されます。イントラセル管理者以外の多くのユーザーたちが掲示板を管理する場合、イントラセルの管理者は指定フィルタの種類を分かりやすく伝えなければなりません。上段部分と下段部分はHTML文書で入力され、指定されない場合イントラセル、ロケーション領域の環境設定価値が相続されます。

掲示板選択事項

掲示板は次のような選択事項についてon/off形式で環境設定をしております。次は選択項目に“on”が設定された場合の説明です。

選択項目	説明	備考
境界線	リスト表示でリストの横の行の境界線(border)を表示	border
エディタ	DHTMLエディタを使用(Edit filterと関係)	editor
タイトルアイコン	タイトル行に基本のタイトルアイコンを表示	ticon
コメント	掲示物のコメントを許可	words
非公開	掲示物の表示非公開設置をサポート	viewlock
無名氏	掲示物を投稿する時ユーザーIDと名前を記録しない	nobody
自動返信	掲示物に返事を書き込む時、E-mailとして自動返信を伝送	remail
URLリンク	掲示物にURLが入力された場合、リスト表示のタイトル行にアイコンリンクする	go2url
タイトル行の隠し	掲示板のリスト表示でタイトル行を表現しない	noheadline
確認掲示	掲示板に文章を書き込むと削除状態として書き込まれる(管理者が復旧可能)	silent
実名使用	掲示板にユーザー名を実名として掲載する	realname
自由削除	誰でも読み込み権限のある人が削除することが可能	rmfree

リストフィルタ、読み込みフィルタ、編集フィルタ

前に説明したフィルタセットはイントラセルの管理者が作成した指定フィルタが存在する場合にだけ作動が可能です。コミュニティやユーザー掲示板を効率的に使用するために各フィルタの内容を直接掲示板環境で指定することができます。掲示板環境でフィルタの内容を指定する場合、一番前を“！”で入力すると作動が猶予されます。環境設定で指定したフィルタは直接編集機能が提供されておりません。

リスト環境

掲示物リスで表示リストのテーブルに関連する次のような環境設定項目があります。

次はリスト環境の各設定項目についての説明です。

リスト数値: 掲示板リストテーブルの詳細属性を決定します。

タイトル行の高さ	0	リスト行の高さ	0	1ページあたりのリスト数	0
ページメニュー数	0	シェル上段余白	0	シェル左右余白	0
区分線の太さ	0				

次はリスト環境の各設定項目についての説明です。

設定項目	内容	設定例	備考
タイトルの高さ	掲示物リスト<tr>の高さ	25	#b.headsize;
リスト行の高さ	一般掲示物リスト<tr>の高さ	22	#b.listsize;
1ページ当りのリスト	一個のリストで表示する掲示物の数	15	#b.listlen;
ページメニュー数	掲示物リストのページメニュー数	10	#b.pagelen;
セル上段の余白	リストの“<td>～</td>”でpadding-topの価値	1	#b.toppad;
セル左右の余白	リストの“<td>～</td>”でpadding-left、rightの価値	4	#b.sidepad;
区分線の太さ	タイトル行とリスト行の区分線の太さbarriercolorの表示	1	#b.barrier;

各項目の設定値を0で指定する場合システムの基本価値として作動します。

ハ、掲示板をリンクする

新しく生成された掲示板は掲示板管理ツールで自動的にリンクされ使用することができますが管理権限がない他の人は使用することができませんので公開されたHTML文書にリンクしなければなりません。掲示

板は“*.brd”と同じバーチャルファイル形式のURIとしてHTML文書にリンクすることができます。

絶対経路に連結する

すべての掲示板は次のように簡単なURI形式でウェブページにリンクすることができます。

種類	掲示板ID	Link形式	備考
一般	/notice	告知事項	
コミュニティ	/@game/notice	告知	
ユーザー	/~summer/note	お知らせ	

絶対経路に掲示板を連結することは最も完璧な方法ではありますが、コミュニティ、ユーザースペースでの似たようなデザインの構成を必要とするテンプレートなどの機能を採用しようとする場合、毎回絶対経路の位置を変更しなければなりません。

相対経路で連結

相対経路とは呼び出しされたウェブ文書のURLから相対的な位置のURIとして掲示された経路のことをいいます。次は相対経路方式のURIで掲示板をリンクする方法です。

文書のロケーション	リンク方法	連結されたURI	備考
http://.../note.html	告知	/notice.brd	
http://.../~sum/note.html	告知	/~sum/notice.brd	
http://.../@game/note.html	告知	/@game/notice.brd	
http://.../my/note.html	告知	/my/notice.brd	エラー

同一する掲示板のリンク方法であってもリンクされるロケーションにより異なるURIの掲示板がリンクされます。最後の例では掲示板は全く作動しません。

ロケーションホームの使用法

掲示板をHTML文書に絶対経路としてのみリンクすると多くの不便さが伴います。コミュニティテンプレートを作成する場合、各コミュニティに合うように修正しなければなりません。そこでこのような短所を克服するためロケーションホームの概念が導入されました。

文書のロケーション	ロケーションホーム	備考
http://.../note/index.html	/	イントラセルホームページ
http://.../~sum/note/index.html	/~sum/	ユーザーホーム
http://.../~sum/note/sub/index.html	/~sum/	ユーザーホーム
http://.../@game/index.html	/@game/	コミュニティホーム

ロケーションホームは“#|:”構文によりHTML文書に表示されます。ロケーションホームによる連結方式はイメージやその他資料ファイルの連結にも作動されます。

※ HTML文書でのリンク方法 お知らせ	
※ HTML 文書により異なる URI でリンクされる。	
1. /intranet/menu.html	☞ 告知事項
2. /intranet/home/view.html	☞ 告知事項
3. /@game/intra/menu/g.html	☞ 告知事項
4. /~sysop/menu.html	☞ 告知事項

上のようにロケーションホームの概念を活用すると掲示板をリンクしている文書ごとに正確な位置の掲示板をリンクすることができます。

3. 2 掲示板フィルタ

掲示板は掲示物の編集、掲示物の読み込み、掲示物リスト表示などの重要機能についてそれぞれ編集フィルタ(editfilter)、表示フィルタ(viewfilter)、リストフィルタ(listfilter)がウェブ画面を構成します。すべての掲示板で共用して使用することができる基本フィルタの種類は次のようになります。

フィルタ機能	基本フィルタ	備考
編集フィルタ	filter/post_edit.html	
表示フィルタ	filter/post_view.html	
リストフィルタ	filter/post_list.html	

掲示板によっては環境設定で専用フィルタを指定することができます。専用フィルタを指定すると掲示板は“filter/”以下の“view/”、“list/”ディレクトリから指定された名前のフィルタファイルが存在するか検索します。専用フィルタファイルが存在すると作動していない場合、基本フィルタが自動的に作動します。

例) filter指定: test

- ⇒ filter/edit/test.html文書がある場合、編集フィルタで動作
- ⇒ filter/list/test.html文書がある場合、リストフィルタで動作
- ⇒ filter/view/test.html文書がある場合、表示フィルタで動作

—各フィルタがない場合、基本フィルタが作動する。

—掲示板の環境設定でフィルタの内容を直接編集し入力することができる。

イ. 編集ファイルの作成

編集フィルタは掲示板の重要機能の中の一つである掲示物の編集と関連されたウェブインターフェイスを構成します。編集フィルタは新しい掲示物についての編集だけでなく基準掲示物の内容を修正する時にも使用します。したがって入力項目を表示する“<input>”、“<textarea>〜</textarea>”領域では基準の入力データとして初期化する区間が含まれなければなりません。

環境設定の条件を判断しDHTMLエディタの使用を可能にします。“#!if b.editor;”構文は掲示板の環境設定で“エディタ”の項目が選択されたかどうかを判断します。基本的なウィジウィグ(WYSIWYG)エディタは共有資源のURIである“/icons/editor/”に位置しています。各セルで異なるエディタを設置し使用することができます。イントラセル“filter/post_edit.html”ファイルは基本編集フィルタであり、次は編集フィルタの重要部分を要約する内容です。(※ 実際のファイルは“<table>”、“<tr>”、“<td>”などの多様なテーブルタグとイメージなどを伴います。)

```

<head>
<title>#b.name揭示物の読み込み</title>
</head>
<body>
#b.head;
<iframe src="about:blank" height=0 width=0 frameborder=0 name="action_target"></iframe>
<form method=post enctype=multipart/form-data name=editform target=action_target>
#If l.lv<2;
  著者* <input name=uname value="#p.name;">
  電子メール: <input name=email value="#p.email;">
  ホームページ: <input name=url value="#p.url;">
#fi;
  文書タイトル: <input name=title value="#p.title;">
#If p.file; ファイル選択: #p.filecheck; #fi;
#If b.pquota;
  <!--### OnServer ファイルブラウジング区間 ----->
  添付ファイル: <input type=file name=file class=input >容量制限: #b.pquota; MB
#fi;
#If b.vlock || l.lv<2; パスワード<input name=passwd type=password size=8 class=input> #fi;
<input type=hidden name=ctype value="">
#If b.vlock; 非公開<input type=checkbox name=VIEWLOCK value=on #p.vlock;> #fi;
#If b.remail; 返信メール <input type=checkbox name=REMAIL value=on > #fi;
<textarea name=context >#p.context;</textarea>
<input type=submit name=done value=登録>
<input type=reset name=cancel value=リセット >
#b.tail;
<!--ここにDHTML編集を呼び出すJavaScriptを表示-->

```

編集フィルタを作成したり変更したりする場合に注意しなければならない事項は次のようになります。

- <form>フィルタの構成を正確にすること。
- #if...形式の条件構文に対し明確に理解して記述すること。
- DHTMLEditorをローディングするスクリプトを挿入すること。
- <iframe>を設置すること。
- 各入力部分の名前は大小文字を区別し使用すること。⇒ JavaScriptと連係される。

“<form...>”タグは編集された資料をウェブサーバに伝送するために作成し、“action”を指定いたします。 “name”に“editform”と指定しましたが、これはJavaScriptと連係されています。“<iframe>”はホスティングを誘導する<form>文の目的フレームとして作動します。

DHTMLエディタの呼び出し

次はJavaScriptでエディタのURI(“/icons/editor/”)を起点としてDHTMLエディタを呼び込むように設計されています。DHTMLエディタは異なるブラウザでのサポートはされません。

```
#if b.editor;
<script language="Javascript1.2">
<!-- // load htmlarea
_editor_url = "/icons/editor/"; // URL to htmlarea files
var win_ie_ver = parseFloat(navigator.appVersion.split("MSIE")[1]);
if (navigator.userAgent.indexOf('Mac') >= 0) { win_ie_ver = 0; }
if (navigator.userAgent.indexOf('Windows CE') >= 0) { win_ie_ver = 0; }
if (navigator.userAgent.indexOf('Opera') >= 0) { win_ie_ver = 0; }
if (win_ie_ver >= 5.5) {
    document.write('<scr' + 'ipt src="' + _editor_url + 'editor.js">');
    document.write(' language="Javascript1.2"></scr' + 'ipt>');
} else {
    if(document.editform.context.value=="")
        document.editform.ctype.value='text/plain';
    document.write('<scr'+ 'ipt>function editor_generate() { return false; }</scr'+ 'ipt>');
}
// --></script>
<script language="javascript1.2">
editor_generate('context');
</script>
#else;
<script>
if(document.editform.context.value=="")
    document.editform.ctype.value='text/plain';
</script>
#endif;
```

JavaScriptは<form>タグにnameの変数として“editform”で設定されており、<input>タグによって“ctype”項目が指定され“context”の項目に本文が編集されるよう作成されています。万が一、この構成要素が変更されるとJavaScriptは作動しなくなります。

ファイルアップロード区間

セジオ掲示板は最大40個までの資料ファイルを含めるように設計いたしました。掲示物の資料ファイルはファイルを選択しアップロードする添付ファイルと本文編集の過程で含まれるインラインファイルとして区

分されます。ファイルのアップロード区間は添付ファイルとしてファイルを選択し載せるようにします。“<input>”タグの属性と名前をすべて“file”で指定すると複数のファイルをアップロードすることができます。

```
#!/f b.file;
<input type=file name=file style=width:99%;" class=input >
<input type=file name=file style=width:99%;" class=input >
<input type=file name=file style=width:99%;" class=input >
#!/f;
```

上の場合はどのような掲示板であろうと3つまでのファイルを選択し掲示物に添付することを可能にします。まず、一つのファイルを選択するようにし、必要に応じて選択するできるファイルの数を増やすよう次のように構成することができます。“#!/f b.file;～#!/f;”構文は掲示板環境設定で掲示物にファイルを添付できるようにした場合のみファイル選択のウィンドウが表示されるようにします。

```
#!/f b.file;
<table width=100% cellpadding=0><tr>
<td id=filefield width=80%>
<input type=file name=file style=width:99%;" class=input ></td>
<td><input type=button value='+' OnClick="plus_filefield(this.form)" ></td>
<td>容量:#b.pquota;MB</td></tr></table>
#!/f;
```

“#!/f b.file;～#!/f;”構文は掲示板にファイル添付のオプションが指定された場合のみ表示するようにします。ファイルアップロードは一定限度以内で希望する数の添付ファイルを載せるためユーザーが指定するように次のようなJavaScriptの使用を可能にしました。

```
<script>
function plus_filefield(form)
{
    count=form.count.value;
    if(count>5)return false; //五つまでだけファイルの選択ウィンドウを追加することができる。
    count++;
    form.count.value=count;
    str = '<br><input type=file name=file style=width:99%>';
    document.all.filefield.innerHTML+=str;
    return false;
}
</script>
```

ファイル選択区間

編集フィルタは新しい掲示物を作成する時はもちろん、基準の掲示物を編集する時にも使用されます。基準の掲示物を編集する場合、掲示物の添付ファイルの添削するか否か選択するよう次のようなファイルの選択区間を置くことができます。

```
#!f p.file;
<tr height=25px>
<td width=15% bgcolor="#d0d0ff" class=cell4name>ファイル選択</td>
<td colspan=3 width=85% class=cell4input>#!@#p.filecheck;
</td></tr>
#!f;
```

“#!f p.file;”～“#!f;”区間は掲示物に添付ファイルがある場合作動されます。したがって、新しい掲示物を編集したり添付ファイルがない基準の掲示物の編集画面などでは作動いたしません。

View Lock(非公開機能)

View Lockとはパスワードを入力し掲示物の認証を経て読み込むようにする機能です。リストまでは表現されるが認証を経ていない場合、掲示物を読むことができません。

“#!fb.viewlock;～#!f;”構文を利用すると掲示板がView Lockを許容する場合、ユーザーがView Lockを選択的に設置することができます。

```
#!f b.viewlock; 非公開:
<input type=checkbox name=viewlock value=on #!f p.viewlock; checked #!f;>#!f;
```

#!b;、#!p;の共通下位予約語である“View Lock”は次のような意味の違いを持っています。

#!f b.viewlock;	⇒ 掲示板の掲示物にView Lockを設置できるように設定されたならば...
#!f p.viewlock;	⇒ 掲示物にView Lockを設置できるように設定されたならば...

掲示板にView Lock(非公開機能)をサポートするように環境設定で設定する場合、編集フィルタでは掲示物を編集する時、View Lockを設定できるように構成しなければなりません。掲示板でView Lockを解除するとしても基準の掲示物に設置されたView Lockは解除されません。

パスワード(暗証番号)の入力部分

掲示物を作成したユーザーはユーザーIDを検討し編集及び削除の権限を持つようになります。登録ユ

ユーザーでないゲストの場合、編集、削除、ビューロック(非公開機能)認証のためにパスワードを入力しなければなりません。

```
#if b.viewlock || u.lv<1;
    <input type=password name=passwd value=#p.passwd; style=width:30>#fi;
#if b.viewlock;
    <input type=checkbox name=VIEWLOCK value=on #if p.viewlock;checked#fi;>
    &nbsp;</td>#fi;
```

フィルタの条件文はOR演算子(オペレータ)で掲示板にビューロック(非公開機能)が設置されるなどユーザーレベルがゲストレベルである条件を達した時にパスワードの入力を受けようにします。

名前の入力

掲示板にNOBODYで設定されたならば誰が文を載せたのか著者の名前やユーザーIDが記録されることはありません。ゲストが文を書き込んだり、Nobodyオプションが設定されたりした掲示板では次のように名前を入力することができるようにします。

```
#if b.nobody || u.lv<1; <input name=uname value=#p.name; style=width:30>#fi;
```

掲示板の管理者が名前を入力すると掲示物の名前として指定されたユーザーIDは指定されないという機能があります。

```
#if b.owner; <input name=uname value=#p.name; style=width:30>#fi;
```

ユーザーの名義でない特定部署の名義として掲示物を登録するときには有用です。イントラネット、コミュニティ、ユーザー領域では指定されたウェブマスターは掲示板の管理権限がありません。

電子メールアドレス及びホームページ

掲示板物にURLが登録されていた場合、リストでURLをリンクするようにgo2urlを選択したりゲストである場合など、電子メールアドレスとホームページを入力するよう次のように構成できます。

```
#if b.go2url || u.lv<1;
    電子メール: <input name=email value="##@##P.email;"><br>
    ホームページ: <input name=url value="##@##P.url;"><br>
#fi;
```

自動返信メール

次は自動返信メールについてのオプションです。自動返信メールは電子メールアドレスが記録された掲示物に返事を書き込む場合、返事を電子メール住所に発信する機能を言います。

```
#!if b.remail; 自動返信メール:
<input type=checkbox name=remail value=on #!if p.remail; checked #!fi>#!fi;
```

自動返信メールについての選択事項も掲示板と掲示物でそれぞれ指定することができ、これらは意味において次のような違いがあります。

```
#!if b.remail;    ⇒ 掲示板の掲示物に自動返信メール装置を設置することができるように設定されたならば
#!if p.remail;    ⇒ 掲示物に自動返信メール装置が設置されたならば
```

告知掲示物

次は掲示板の管理権限者に限り告知機能を指定することを可能にする部分です。

```
#!if b.owner; Notice
<input type=checkbox #!if p.notice;checked#!fi; name=notice value=on> #!fi;
```

“#!if b.owner;”は掲示板の管理権限を持ったユーザーであるのかを判断します。掲示板管理者は掲示物の告知オプションを選択することができます。2番目の分岐文である“#!if p.notice;”掲示物の告知オプションの可否を判断し基準掲示物を編集する時の選択価値が変更されないようにします。

告知機能は掲示物のリストで常に上位にリンクされるようにする機能です。告知機能をサポートするためには環境設定で告知機能の項目を選択して掲示物自体にも告知文であることを表示すれば作動されます。告知機能は最近の掲示物を優先的に最大5個まで適用できます。



告知掲示物は一般リストで2個現れます。新しい掲示物を載せると一つは下に下がりながらツリー構造で整列されますが、他の一つはずっとリストの上位部分に残るようになります。

ServerFileブラウジング

ユーザーのマイフォルダ、HTMLディレクトリに指定されたファイルを選択し載せるような構文を設置します。

```
<input type=hidden name=onfile value="">
<tr><td><a href=# onclick="#!popup,onfile;" >ServerFile</a></td><td></td></tr>
```

ユーザーのマイフォルダ及びウェブフォルダは個人のウェブメールとして届いた資料ファイルを別途として管理するために使用します。ServerFileは掲示物やウェブメールの添付ファイルを選択するときに有用です。ServerFileブラウジングのために“<form>”タグの名前は必ず“editform”で設定しなければなりません。

ロ、表示フィルタ作成

表示フィルタ(View filter)は掲示物を読み込めるように画面を構成します。掲示物の読み込みの中で掲示物にコメントを追加する部分があり、<form>～</form>形式の構文を含みます。次は表示フィルタの要約例です。

```

<head>
<title>#!b.name; 掲示物の読み込み</title>
</head>
<body>
#!shell;
<iframe name='action_target' width=0 height=0 frameborder=0></iframe>
#!b.head;
<table>
<tr><td>タイトル</td><td colspan=3>#!p.title; </td></tr>
<tr><td>著者</td><td>#!p.uname;(<td>#!p.uid;</td> <td>ヒット数</td><td>#!p.read;</td></tr>
<tr><td>作成日</td><td>#!p.date; <td>#!p.time; </td>
    <td>番号</td><td>#!b.postno; /#!b.posts;</td></tr>
</table>
<table>
<tr><td width=70% align=left>#!p.art_up,[▲次];</td></tr>
<tr><td width=70% align=left>#!p.art_dn,[▼前];</td></tr>
</table>
<!-- #####表示フィルタメニュー部分 ### -->
<table width="100%">
    #!if p.email; <tr><td>&nbsp;[ 電子メール];</td><td width=80% >#!p.email;</td></tr> #!fi;
    #!if p.url;    <tr><td>&nbsp;[ ホームページ];</td><td>#!p.url;</td></tr> #!fi;
    #!if p.file; <tr><td>&nbsp;[ 添付ファイル];</td><td>#!p.file;</td></tr> #!fi;
</table>
    <!-- ###添付ファイルのプラグインチェック ### -->
<table width="100%" cellpadding="20"><tr><td>#!p.context;</td></tr></table>
    <!-- #####表示フィルタページメニュー部分 ### -->
    <!-- ##### コメント表示 及び入力部分 ### -->
#!b.tail;

```

掲示物の基礎情報である題目(タイトル)、著者、ヒット数、作成日、番号などが表示されます。次の文、前の文などがリンクされており、追加的な情報である電子メールやホームページ、添付ファイルについての表示部分は“#!ifp.*; ~#!fi”構文を利用し該当する情報がある場合のみ表示するようにします。

編集フィルタでDHTML編集機を使用する場合、エンターキーを押すと“<p>…</p>”構文で一行の文章を構成します。この時、行の間が大きく離れたりすることを防ぐためにスタイル指定構文や文書に次のような指定をするようにします。

```
P {margin-top:0px;margin-bottom:0px; }
```

コメント表示及び入力

コメントは掲示物を読んだ人が掲示物について簡略な自分の考えを表現することができる機能のことで

す。掲示物を読んでコメント入力することができるように<form>～</form>構文と<iframe>構文を設置しなければなりません。コメントは入力したユーザーやパスワードを認識し削除することができます。

```
<table width=100% cellpadding=0 cellspacing=0 border=0>
<tr><td>#p.words;</td></tr>
</table>
#f;
<table border=0 cellpadding=2 cellspacing=0 width=100% >
<form method=post Name="gtext" target=action_target>
  <tr>
    <td> <b>コメントを加える</b>
    #if u.lv<1; 名前<input name=UNAME style=border-style:inset;border-width:1px; value="">
    パスワード <input name=passwd type=password style=border-style:inset;border-width:1px;><br>
    #f;
    <textarea name=WORDS style="width:100%; height:50pt;" class="comment"></textarea></td>
    <td><input type=submit name=ok value="登録" class=button></td>
  </tr>
</form></table>
#f;
```

表示フィルタメニュー部分

表示フィルタは掲示物の内容を読み込めるようにウェブページの構成を担当しています。ユーザーは文の内容を印刷したり、返信したりしたい時もあり、また文を削除したり修正したい時もあります。こういった場合の選択事項は“#!p.m_*;”形式の予約語を利用し表示されます。掲示板アイコンディレクトリの“v_*.gif”形態のアイコンと共に作動します。次は読み込みフィルタメニュー部分の例です。

```
<table width=100%>
<tr>
  <td>#p.m_print, 印刷; #p.m_reply, 返信; #p.m_move, 転送; #p.m_del, 削除; #p.m_edit, 修正;</td>
  <td align="right"> #p.m_down; #p.m_list; #p.m_up;</td>
</tr>
</table>
```

資料ファイルのプラグイン

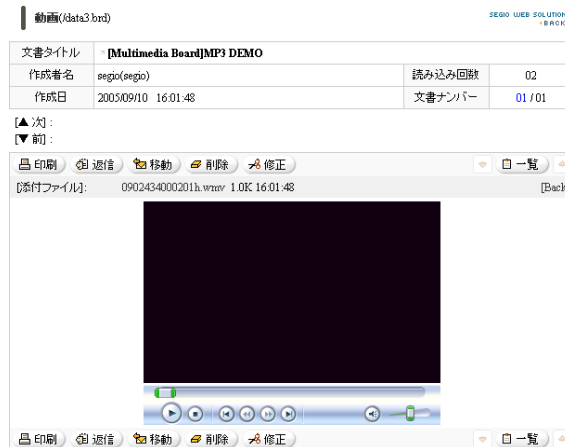
資料ファイルがある場合、添付ファイルのファイル名を検索し得ることができます。添付ファイルのプラグインを活用するためにはジャバスクリプトを並行し使用しなければなりません。次はフラッシュファイルや動画ファイルを検索して文を読んでいる間フラッシュするように作り出す例です。

```

#!if,p.file;
<table width=100%>
<tr><td align="center">
<script>
    furi="#!p.furi[0],'wmv asf mov avi mpeg mp3';";
    if(furi.length>4){
        document.write('<embed src="'+furi+'" type="application/x-mplayer2"></embed><br>');
    }
    furi="#!p.furi[0],'swf';";
    if(furi.length>4){
        document.write('<embed src="'+furi+'" type="application/x-mplayer2"></embed><br>');
    }
</script>
</td></tr></table>
#!fi;

```

“#!p.furi[0]、'wmv asf mov avi';”構文は*.wmv、*.asf、*.mov、*.aviなどの拡張子を持つ添付ファイルの中で0番目のファイルのURIアドレスとして置き換えられます。万が一、添付ファイルが存在しなかったり拡張子が含まれる添付ファイルが存在しなかったりすると値は“(スクリプトでの長さが0)になります。スクリプトではファイル名の長さが4より大きい場合(拡張子が含まれる)にHTML文書の伝送を受けたウェブブラウザで実行するように構成します。次の図は揭示物に添付されたMP3ファイルを自動的に実行させる様子を表しています。



添付ファイルのイメージ表示

多少のイメージファイルが掲示物に添付されている場合、これらをウェブページですべて表現したいならば、次のようなジャバスクリプトを利用します。

```
<script>
function image_resize(img,w,h){ //イメージサイズが規格より大きい場合にだけ調節する
    alt = "Size: " + img.width + " X " + img.height;
    if(img.width>w){img.alt=alt; img.width =w; img.height=(img.height*w)/img.width; }
    if(img.height>h){img.alt=alt; img.height=h; img.width =(img.width*h)/img.height; }
} //調節したイメージは原本の大きさを表示させる
function image_view(img){
    if(img.length<5)return; //拡張子を含む4字はファイル名として無効
    str = "";
    document.write(str + "<br><br>"); // ローディングされるとイメージサイズが調節される
}
</script>
```

紹介された関数はイメージファイル名が有効である場合、画面に図を表示させる機能とイメージのサイズが大きい場合、自動的に比率を調節する機能を遂行し、次のように呼び出します。

```
<script>
image_view("#p.furi[0].gif.jpg.png;");
image_view("#p.furi[1].gif.jpg.png;");
image_view("#p.furi[2].gif.jpg.png;");
image_view("#p.furi[3].gif.jpg.png;");
image_view("#p.furi[4].gif.jpg.png;");
image_view("#p.furi[5].gif.jpg.png;"); // 6個の図まで存在する場合だけ表示される。
</script>
```

ハ、リストフィルタの作成

リストフィルタでは掲示物のリスト画面を構成します。 掲示物を選択し削除したり、新しい掲示板に移動させたりするなどの機能を遂行するため“<form>～</form>”構文を含み、“<iframe>”を設置します。

```

<!-- ##### ジャバスクリプト ##### -->
#b.head;
<table width="100%">
<form method=post enctype=multipart/form-data name=listform target=action_target>
  <tr><td>#b.m_refat, FAT整理;#b.m_setup, 環境設定; </td>
    <td align=right>登録された文:<font color=red><b>#b.posts;</b></font>個&nbsp;
      現在:#b.pageno;/#b.pages; ページ &nbsp; #b.owner;</td></tr>
    <tr><td colspan=2 bgcolor=#666666 height=2></td></tr>
  </table>
#b.list; <!--実際リストが表示される部分-->
<table width=100% border=0>
<tr><td align="center" width=100% bgcolor="#e5e5e5">#b.pagemenu;</td></tr>
<tr><td align="center">
  <table width=100%>
    <tr> <td width="8">
      </td>
      <td width="100%"> #b.m_remove, 完全削除;#b.m_undel, 削除取消;</td>
      <td width="100%">#b.m_list, 全体表示;#b.m_post, 書き込み;</td>
      <td width="8">
    </td></tr>
  </table>
</td></tr>
</table>
<table width=100% border=0 cellpadding=0 cellspacing=0>
<tr><td align="center" height="35" width=100%>&nbsp; #b.queryfield;#b.querybox,100px;#b.m_seek;
</td></tr>
</table>
#b.tail;
</form>
</center>
<iframe name=action_target width=0 height=0 frameborder=0></iframe>

```

掲示板の管理権限がある場合、掲示物リストの左側にチェックボックスが表示されます。この一番上のチェックボックスを選択すると現在の選択事項とは反対に転換され、もう一度クリックするとすべて解約されます。この部分は次のジャバスクリプトにより作成されます。

```

<script language="JavaScript">
  function reverse_check(tform) {
    var ij;
    var checked=tform.reverse_ck.checked;
    for(i=1,j=tform.elements.length;i<j;i++){
      var ele=tform.elements[i];
      if(ele.name=="normal_ck")  ele.checked = checked?!ele.checked:checked;
    }
    return;
  }
  function _resize(img,width,height)
  {
    if(img.width>width){
      img.height=(img.height*width) / img.width;
      img.width=width;
    }
    if(img.height>height){
      img.width =(img.width * height) / img.height;
      img.height=height;
    }
    return;
  }
  function _thumbnail_view( iurl, width, height,align)
  {
    str ="<img src='"+iurl+"?thumbnail' width='"+width+"','";
    if(align.length>0) str +=(" align='"+align+"','");
    str+=(" border=0 onLoad=¥'_resize(this,'" +width+"','"+height+"');¥">");
    document.write(str);
    return ;
  }
}
</script>

```

“reverse_ck”は掲示物リストのヘッダラインの一番前に自動的に表示されます。“normal_ck”は各掲示物の左側のほうに自動的に生成されます。したがって“noHeadLine”オプションが選択された掲示板では次のようなチェックボックスを別途に入力しなければなりません。

```

<input type=checkbox class=checkbox name=reverse_ck
      onClick=javascript:reverse_check(this.form);>

```

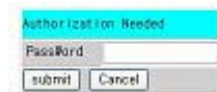
二、認証ファイルの作成

次は認証フィルタ(“auth_check.html”)の要約内容です。

```
<script>
function return_path(tform)
{
    ele=tform.referer;
    if(ele)document.location.replace(ele.value);
    else alert("No return_path");
}
</script>

<iframe frameborder=0 height=0 width=0 name="action_target0"></iframe>
<form target=action_target0 method=post enctype='multipart/form-data' name=auth_form>
Authorization Needed<br>
PassWord <input name=passwd value="" size=8><br>
<input type=hidden name=referer value="#!referer;">
<input type=submit value="#!word,submit;" name=send>
<input type=button value=Cancel onclick="return_path(this.form);">
```

認証フィルタはView Lookになっている掲示物を読み込んだり、ゲストが載せたパスワードのある文を削除する時などパスワードを入力し掲示物についての認証を確認するためのウェブ画面を構成します。次の図は認証のための画面を表示しています。



掲示物についての認証を一度パスすれば以後掲示物に添付されたファイルの移動や編集の際、パスワードを再び問う事はありません。

3. 3 掲示板のスタイル

掲示板は読み込み、書き込み、リストなどの重要ウェブ画面を構成するためにそれぞれ3種類の専用フィルタをサポートします。これ以外にも掲示板に使用されているアイコンや環境設定を通して多様なスタイル

ルを具体的に表すことができます。

イ、掲示板のアイコン

掲示板のアイコンはウェブメール、掲示板などで使用され次のようにイメージファイルが伝送されます。

`http://sm.kseek.com/icons/kr/l_post.gif`

- ⇒ イントラセルのHTML/icons/kr/l_post.gifファイルがある場合伝送
- ⇒ 共有ウェブ資源“/etc/shttpd/icons/kr/l_post.gifファイル”がある場合伝送

共有資源である“/etc/shttpd/icons/”には次のような形式の掲示板アイコンが存在します。

/etc/shttpd/icons/	default/	⇒ 最も基本になる掲示板アイコン
	jp/	⇒ 日本語の掲示板アイコン(基礎)
	jp01/	⇒ 日本語で表現された掲示板のアイコン1セット
		⇒ 番号をふって沢山のアイコンディレクトリを存在させる
	en/	⇒ 英文の掲示板アイコン(基礎)
	en01/	⇒ 英文の掲示板アイコン
		⇒ 番号をつけて沢山のアイコンディレクトリを存在させる
	kr/	⇒ ハングルの掲示板アイコン(基礎)
	kr01/	⇒ ハングルの掲示板アイコン
		⇒ 番号をつけて沢山のアイコンディレクトリを存在させる

* 実際配布バージョンによっては実際のアイコンセットディレクトリが異なることもある

* 下位ディレクトリの中で“file/”、“editor/”などは掲示板のアイコンではない

掲示板アイコンはイントラセル環境設定、コミュニティ及びユーザーの環境設定、掲示板の環境設定で指定することができます。掲示板のアイコンは次のような種類のイメージで構成されます。

<code>l_*.gif</code>	⇒ リストアイコンとして掲示板のリストで主に使用される。
<code>t_*.gif</code>	⇒ タイトルアイコンとしてリスト、掲示物読み込みなどの題目と共に使用される。
<code>v_*.gif</code>	⇒ ビューアイコンとして掲示物の掲示物読み込み、掲示物の編集時に使用される。
<code>m_*.gif</code>	⇒ ウェブメールのリスト、読み込み、編集書き込み、などの画面で使用されるアイコン

リストアイコン

リストアイコンは“`l_*.gif`”形式の名前を持つアイコンとして次のような種類があります。縮約語はアイコンを制作する時に含ませるように推薦する単語です。

ファイル名	縮約語	機能説明	備考
l.first.gif	目録 組み合わせ 移動	最初のリストとして	
l.last.gif		最後のリストとして	
l.list.gif		全体のリストとして	
l.merge.gif		掲示物の組み合わせ	
l.move.gif	書き込み	掲示物の移動	
l.next.gif		次のリストページ	
l.next.gif		次のリストページ(非活性)	
l.null.gif		1×1の大きさの半透明アイコン	
l.post.gif	点検	掲示物を載せる	
l.pre.gif		前のリストページ	
l.pre.gif		前のリストページ(非活用)	
l.refat.gif		リスト復旧機能	
l.remove.gif	削除	削除	
l.seek.gif		検索	
l.setup.gif	設定	環境設定	
l.undel.gif	復旧	復旧(削除、取消し)	
m.getaddr.gif	住所録	アドレスブック呼び出し	
m.go2top.gif	トップ	ウェブメールアドレスブックの一番上に	

題目アイコン(タイトルアイコン)

“t_*.gif”形式のアイコンは掲示物リストで題目の前後に表示されます。掲示板の環境設定と掲示物の特性により表示されるアイコンとタイトルの文頭により表示されるアイコンです。

アイコン名	縮約語	機能説明	位置
t.go2url.gif		ウェブアドレスへのショートカット	後ろ
t.icon.gif		タイトルアイコン(default)	前(環境設定)
t.new.gif		1日以内掲示物表示	後ろ
t.notice.gif		告知掲示物	前
t.reply.gif		返信表示アイコン	前
t.viewlock.gif		View Lookされた掲示物表示	後ろ

次はタイトルの文頭を条件として表示されるアイコンです。

アイコン名	交替する文頭	アイコン名	交替する文頭
t_00.gif	[0]	t_08.gif	[8]
t_01.gif	[1]	t_09.gif	[9]
t_02.gif	[2]	t_alt.gif	[@]
t_03.gif	[3]	t_minus.gif	[-]
t_04.gif	[4]	t_plus.gif	[+]
t_05.gif	[5]	t_sharp.gif	[#]
t_06.gif	[6]	t_space.gif	[]
t_07.gif	[7]	t_star.gif	[*]

タイトルアイコンはタイトルと共に表示されるので一定の規格以内の大きさを制作しなければなりません。
勧告される大きさでは横40ピクセル以下、縦16ピクセル以下です。

表示アイコン

掲示物の表示フィルタと書き込みフィルタで表示されるアイコンとして次のような種類があります。アンダースコアを書き加えたアイコンは非活性であることを意味します。消しアイコンを表示する時、権限があるならば活性アイコン(v_del.gif)が表示されて、権限がないならば白色の非活性アイコンを表示します。

アイコン名	縮約語	機能説明	備考
v_back.gif	以前	以前のウェブページへ	
v_del.gif	削除	掲示物の削除	
v_del_gif	削除	掲示物の削除(非活性)	
v_down.gif		下の文	
v_down_gif		下の文(非活性)	
v_edit.gif	修正(or編集)	掲示物編集	
v_edit_gif	修正(or編集)	掲示物編集(非活性)	
v_forward.gif	伝達	掲示物をメールで送る	
v_list.gif	リスト	リストに戻る	
v_move.gif	移動	移動	
v_move_gif	移動	移動(非活性)	
v_print.gif	印刷	印刷	
v_reply.gif	返信	返信(掲示板、ウェブメール)	
v_reply_gif	返信	返信(非活性)	
v_rmpadd.gif		コメント削除	

次の二つの図はそれぞれ日本語とハングルを基準として作成された掲示板アイコンの見本です。

ロ、掲示板の環境設定フィルタ

掲示板環境設定(board1.hrd)			
掲示板名	Talk Talk	管理者	
代表アイコン	jp2	フィルタ	
読み込み制限	☐ U ☒ 0	掲示板総容量	500 MB
書き込み制限	☐ U ☒ 0	添付ファイル容量	30 MB
後常フィールド	シェル文書		
リスト整列	no/番号:title/ファイル/20:title/件名/200/45:writer/作成者/date/日付:Rea		
詳細設定	リストフィルタ 読み込みフィルタ 編集フィルタ リスト整列 リスト数値 追加実数		
色相設定	ヘッドカラー: #EFEFEF	リストカラー	ネームカラー
	境界線: #EEEEEE	リスト転送: #FFFFFF	区分カラー: #068D8D
	本文背景カラー: #FFFFFF	リスト転載: #6F6F6F	文字カラー
選択事項	☒ 境界線	☒ エディタ	☒ コメント
	☐ 非公開	☐ 無名作成	☒ 自動返信
	☐ タイトル行削除	☐ 確認提示	☐ URLリンク
上絵部分			
下絵部分			

図は理解しやすいようにするための一例であり、実際は“board_rc.html”ファイルを変形することができるので他の様式で表すことができます。

環境設定のヘッドライン

次は環境設定フィルタのヘッドライン部分です。分量関係で必要な部分のみを要約しました。

```
<title>掲示板環境設定</title>
### スタイル及びスクリプト ###
<body onload="self.focus();" leftmargin=0 topmargin=0 marginwidth=0 marginheight=0>
<table border=0 cellspacing=1>
<form method=POST enctype=multipart/form-data target=action_target name=brcform>
  <tr bgcolor=#CCCCCC><th height=27 colspan=4 class=outset1>
#lfb.id; <b>掲示板環境設定(#b.uri)</b>
#lfb.id; 新しい掲示板id: <input name=new-board-id style=width:80;border-style:groove;> #lfb;
</td></tr>
```

環境設定は常にポップアップウィンドウの形態で表して環境設定が完了されると消えてなくなります。多数の掲示板を使用してみると環境設定のためのポップアップウィンドウが開いていることもありますので毎回更新されるごとに前に現れるように“<body>”タグに“onload='self.focus();'”という構文を設置します。

“#lfb.id;”構文は新規掲示板の開設に関連した環境設定である場合、掲示板IDの入力を受けるために使用されます。次は新規掲示板の開設時のヘッドラインを表します。

新しい掲示板 id:

新規掲示板を作る時は環境設定の変数と共に新規掲示板のIDを追加的に指定する方法で進行します。新規掲示板の環境設定は最後の掲示板環境設定を参照してください。

基礎の環境設定

次は基礎の環境設定部分を分離し要約した内容です。

```
<tr><td>掲示板名</td> <td><input name=name value="#b.name;"></td>
<td>管理者</td> <td><input name=owner value="#b.owner;"></td></tr>
<tr><td>代表アイコン</td> <td><input name=icon value="#b.icon;"></td>
<td>フィルタセット</td> <td><input name=filter value="#b.filter;"></td></tr>
<tr><td>レポートメール</td><td colspan=3><input name=report value="#b.report;"></td></tr>
<tr><td>読み込み権限</td> <td><!--####読み込み権限設定--></td>
<td>掲示板容量</td> <td><input name=bquota value="#b.bquota;">MB</td></tr>
<tr><td>書き込み権限</td> <td><!--####書き込み権限設定--></td>
<td>掲示物の容量</td> <td><input name=pquota value="#b.pquota;">MB</td>
</tr>
```

基礎の環境設定部分で読み込み権限と書き込み権限部分は多少複雑なので別途に説明します。

設定項目	Input Name	指定データ呼び出し	説明
掲示板名	name	#b.name;	掲示板の名前
管理者	owner	#b.owner;	掲示板の指定所有者
代表アイコン	icon	#b.icon;	掲示板アイコン
フィルタセット	filter	#b.filter;	掲示板指定フォルダ
レポートメール	report	#b.report;	掲示板レポートメールアドレス
掲示板の容量	bquota	#b.bquota;	掲示板資料の最大許容容量(MB)
掲示物の容量	pquota	#b.pquota;	掲示物の最大アップロード容量(MB)

レポートメールにE-mailアドレスを入力すると新しい掲示物が登録されるたびに掲示物がE-mailに伝送されます。レポートメールは空白で区分されたE-mailアドレスを複数で入力することができE-mailアドレスを入力しなかった場合などは一番前をビックリマーク(“!”)で処理するとレポート機能は作動しません。

読み込み権限の設定部分

掲示板の権限はアクセスレベルを基準に読み込み権限を指定するようにします。各レベル権限の設定部分は二つのスイッチと一つの入力部分で次のように構成されます。

```
<input name=flag_perm_rd value='OFF' type=hidden>
<input name=flag_perm_ru value='OFF' type=hidden>
 D <input name=flag_perm_rd value='ON' #if b.perm_rd:checked#fi; type=checkbox>
 U <input name=flag_perm_ru value='ON' #if b.perm_ru:checked#fi; type=checkbox>
 &nbsp;&nbsp;&nbsp;<input name=perm_r maxsize=8 value="#b.perm_r;">
```

ウェブブラウザでのチェックボックス方式を利用したスイッチ式設定は選択された項目の値のみ転送されます。また選択されなかったものは値として転送されないという特性があります。したがって基準の値を変えるた

めには隠れた属性の入力タグを設置し価値を“OFF”で設定します。次にcheckboxタイプのインプットタグでは“ON”として“#if;”構文フィルタを使用し“checked”を表示しなければなりません。次は読み込み権限の設定に使用される三つの入力項目を表しています。

Input name	内容	備考
flag_perm_rd	読み込み(r)レベルの指定レベル(d:Dedicate)適用可否	on/off
flag_perm_ru	読み込み(r)レベルのユーザーレベル(u:User)適用可否	on/off
Perm_r	読み込みレベルの文字列	0123456789

Dオプションは指定レベルとして処理することであることを選択するようにし選択されないと比較レベルとして処理されます。Uオプションはユーザーレベルを意味します。

書き込み権限の設定部分

書き込み権限の設定部分も読み込み権限の設定部分と大変類似します。次は書き込みレベルの設定部分を要約した内容です。

```
<input name=flag_perm_wd value='OFF' type=hidden>
<input name=flag_perm_wu value='OFF' type=hidden>
&nbsp;D <input name=flag_perm_wd value='ON' #if b.perm_wd:checked#fi; type=checkbox>
&nbsp;U <input name=flag_perm_wu value='ON' #if b.perm_wu:checked#fi; type=checkbox>
&nbsp;&nbsp;&nbsp;<input name=perm_w maxsize=8 value='#b.perm_w;'>
```

それぞれの入力タグは次のような意味を含んでいます。

Input name	内容	備考
flag_perm_wd	書き込み(w)レベルの指定レベル(d:Dedicate)適用可否	on/off
flag_perm_wu	書き込み(w)レベルのユーザーレベル(u:User)適用可否	on/off
perm_w	書き込み登録の文字列	0123456789

選択可否と入力値による作動方法は読み込みレベルでと類似します。

ウェブ環境構成の設定

次はウェブ環境構成に関する設定部分です。

```
<tr><td>検索フィールド</td>      <td><input name=field value="#b.field;"></td>
      <td> HTMLシェル</td>      <td><input name=shell value="#b.shell;"></td>
</tr>
<tr><td>リストスタイル</td><td colspan=3><input name=style value="#b.style;"></td>
</tr>
..... リスト変数、色相設定、on/offスイッチ、追加変数.....
<tr><td>掲示板上段</td>  <td colspan=3><textarea name=head>#b.head;</textarea></td></tr>
<tr><td>掲示板下段</td>  <td colspan=3><textarea name=tail>#b.tail;</textarea></td></tr>
<tr><td colspan=4 align=center>
<input type=submit name=save value=" Submit "><input type=reset name=init value=" Reset ">
<input type=button name=close value=" Cancel " onClick=JavaScript:window.close();>
</td></tr></form></table>
<iframe src="about:blank" frameborder=0 height=0 width=0 name=" action_target">
</iframe>
```

ウェブサーバに資料を伝送して安全に転換することができるよう最後の部分に“action_target”という名前の“iframe”を追加します。次は本文で省略されたスタイルの指定部分です。HTMLに慣れているならばこのようなスタイルの機能について早く理解することができるでしょう。

設定項目	Input Name	指定データ呼び出し	説明
検索フィールド	field	#b.field;	クエリーボックスに表示されるフィールド入力
HTMLシェル	shell	#b.shell;	HTML SHELL文書指定
リストスタイル	style	#b.style;	掲示物リストで表示する項目設定
掲示板上段	head	#b.head;	掲示板上段のウェブデザイン構成
掲示板下段	tail	#b.tail;	掲示板下段のウェブデザイン構成

指定データの呼び出し方式は環境設定ページの入力ウィンドウを基準データとして初期化しますが使用されるのと同時に掲示板関連の専用フィルタで指定データを活用するためにも使用されます。

Styleの定義部分

スタイルを指定し統一されたウェブページを構成することができるだけでなくHTMLの量もかなり減らすことができます。次はスタイルの指定部分の例です。

```

<style>
body, td, th { font-size:10pt; }
textarea, input, div { font-size:9pt; }
A {text-decoration:none;color:#000000;}
P {margin-top:0px;margin-bottom:0px; }
.headline{border-style:outset;border-width:1px;}
.inputtd{border-style:inset;border-width:1px;padding:'0 1 0 1';}
.input60{border-style:none;border-width:0px;width:50px;}
.input {border-style:none;border-width:0;width:100%;}
.inputlv{width:80;border-style:inset;border-width:1px; }
.input_d{border-style:none;width:20px;border-width:0px;}
.subname{border-style:outset;border-width:1px;padding:0,1,0,1;background-color:#F0F0F0;font-size:9pt;text-align:right}
.none{border-style:none;border-width:0;}
.checkbox { width:15px;height:15px; }
.cell4name { border-style:outset; border-width:1px; padding:1,7,1,7; background-color:#EEEEEE;}
.cell4input{ border-bottom-style:solid;border-bottom-width:1;padding:0px;}
.color_td { border-style:solid;border-width:1px;background-color:white;}
.color_input {style=border-style:none;border-width:0px;width:58;}
.color_box {width:10px;border-style:outset;border-width:1px; }
.color_int { width:2px;border-style:none; }
.subtable {border-style:outset;border-width:3px; background-color:white;border-color:black;}
</style>

```

上で紹介されるCSS styleの指定構文は掲示板環境設定のウェブ画面を構成することのみに有用です。掲示板環境設定は相当な量の環境設定項目を含みますのでStyleを適用すると随時、一貫性のあるウェブデザインを調整することができます。前で紹介したHTML原文では要約過程でスタイルの部分が削除されました。次は上で設定したスタイルの使用例です。

```

<tr>
  <td width='18%' class=cell4name >代表アイコン</td>
  <td width='32%' class=cell4input><input class=input name=icon value="#b.icon;"></td>
  <td width='18%' class=cell4name >フィルタセット</td>
  <td width='32%' class=cell4input><input class=input name=filter value="#b.filter;"></td>
</tr>

```

ジャバスクリプト

ジャバスクリプトを活用すると更に悠然たる環境設定のインターフェースを作成することができます。次の

ジャバスクリプトはマウスで色相を指定するように作成することができます。

```
<script>
function get_brdcolor(name)
{
    var newcolor, hin, vname, view,oldcolor;
    hin=document.all[name]; vname='v'+name; view=document.all[vname]; oldcolor=hin.value;
    url="/icons/editor/popups/select_color.html"; //共有資源のエディタの色相選択を活用する
    newcolor=showModalDialog(url, oldcolor, "resizable: no; help:no; status:no; scroll:no;");
    if(newcolor==null)return;
    newcolor='#'+newcolor;
    view.style.backgroundColor=newcolor;
    hin.value=newcolor;
    return false;
}
function set_brdcolor(col,vname){
    view=document.all[vname];
    if(view)view.style.backgroundColor=col.value;
}
function switch_visible(obj)
{
    {
        if(vis==obj){ obj.visibility='hidden'; vis=null; return;}
        if(obj.visibility!='visible'){
            if(vis!=null)vis.visibility='hidden';
            obj.visibility='visible';
            vis=obj;
        }
    }
}
</script>
```

“get_brdcolor()”関数はカラーテーブルを盛り込んでいるHTML文書をダイアログとして作成し色相を選択できるようにします。“set_brdcolor()”関数は入力ウィンドウに色相値が入力されたり、または修正された場合、自動的に色相を表現する役割を果たします。

“switch_visible();”関数は“<div>～</div>”領域が見えないように設定します。掲示板環境設定でめったに使われない部分を分離し“<div>～</div>”構文として見えないように設定した後、ジャバスクリプトにより必要な場合のみ設定するよう作成することができます。

リスト変数の設定

リスト変数は掲示物のリスト表示でタイトル行の高さ、リストの高さ、タイトル行とリスト行の区分線の太さなどのような詳細設定値を調節設定する区間です。次はリスト変数の調整画面です。

リスト数値: 掲示板リストテーブルの詳細属性を決定します。

タイトル行の高さ

0

リスト行の高さ

0

1ページあたりのリスト数

0

ページメニュー数

0

シェル上段余白

0

シェル左右余白

0

区分線の太さ

0

次は上の図を構成するHTMLの要約部分です。

```
style> .input20 { border-style:none;width:20px;border-width:0px; } </style>
<table border=0 cellpadding=0 cellspacing=0><tr>
<td>タイトル行の高さ</td> <td><input name=headsize value="#b.headsize;"></td>
<td>リストの高さ</td> <td><input name=listsize value="#b.listsize;"></td>
<td>1ページ当りのリスト</td> <td><input name=listlen value="#b.listlen;"></td>
<td>イメージカット</td> <td><input name=imagelen value="#b.imagelen;"></td>
<td>ページメニュー数</td> <td><input name=pagelen value="#b.pagelen;"></td>
<td>上段の余白</td> <td><input name=toppad value="#b.toppad;"></td>
<td>左右の余白</td> <td><input name=sidepad value="#b.sidepad;"></td>
<td>境界線</td> <td><input name=barrier value="#b.barrier;"></td>
</tr></table>
```

各<input>タグで使用する入力変数名は次の表のような特性を設定します。

入力変数	説明	備考
HeadSize	掲示板リストタイトル行の高さ <tr height=...>	#b.headsize;
ListSize	掲示板リストで掲示物行のリストの高さ <tr height=...>	#b.listsize;
ListLen	掲示板リストで1ページあたりを表示するリスト数	#b.listlen;
PageLen	1ページあたりを表示するページメニュー数	#b.pagelen;
TopPad	掲示板リストセルでの上の余白	#b.toppad;
SidePad	掲示板リストセルで両側の余白	#b.sidepad;
imagelen	掲示板のイメージカットリストで横のイメージ数(基本の値)	#b.imagelen;
Barrier	掲示板のリストタイトル行とリストとの区分線の太さ	#b.barrier;

上の値はすべての掲示板のリスト表示で自動的に適用されます。

色相の設定部分

色相の設定はキーボードで直接入力すると色相コードに合う色相を右側で確認するようにしています。この機能は“set_brdcolor()”により遂行されます。色相表示セルをマウスでクリックすると色相が選べるようにウィンドウが現れ色相を選択すると色相が自動的に入力されます。この機能は“get_brdcolor()”により遂行されます。

色相設定	ヘッドカラー	#CFEFEF	リストカラー	#FFFFFF	ネームカラー	#CFEFEF
	境界線	#EEEEEE	リスト転換	#EFEFEF	区分カラー	#D8D8D8
	本文背景カラー	#FFFFFF	リスト反転	#F6F6F6	文字カラー	#333333

次は図で表示された色相名、色相IDの内容を要約しています。

色相名	色相ID	説明	色相表記ID	自動適用
文頭背景	HEADBGCOLOR	ヘッドラインに使用される背景色相	vHEADBGCOLOR	X
境界線	BORDERCOLOR	テーブルの境界に使用される色相	vBORDERCOLOR	O
本文背景	TEXTBGCOLOR	本文背景として使用される色相	vTEXTBGCOLOR	X
リスト背景	LISTBGCOLOR	掲示板リストでの背景色相	vLISTBGCOLOR	O
リスト転換	LISTSWCOLOR	リスト背景とかわるがわる使用される色相	vLISTSWCOLOR	O
リスト反転	LISTOVCOLOR	リストにマウスをあてた時の反転背景	vLISTOVCOLOR	O
名前背景	NAMEBGCOLOR	環境設定で使用される名前の背景色相	vNAMEBGCOLOR	X
区分色相	BARRIERCOLOR	掲示板のheadlineとリストの間を区分する色	vBARRIERCOLOR	O
文字色相	TEXTCOLOR	一般文字の色相(body,tdなど)	vTEXTCOLOR	

色相表記IDは色相を表示するためのセルのIDとして設定され次のような形式で設定画面を構成します。

色相表記セルのIDは色相IDの前に'v'字が付けられています。

```

<table cellspacing=1 border=0 cellpadding=0>
<tr><td>文頭背景</td><td>
<input name=HEADBGCOLOR value="#!style.headbgcolor;" onChange="set_brdcolor(this,'vHEADBGCOLOR');">
</td>
<td id=vHEADBGCOLOR bgColor="#!style.headbgcolor;" onClick="get_brdcolor('HEADBGCOLOR');">
&nbsp;  </td>
<td>リスト背景</td><td>
<input name=LISTBGCOLOR value="#!style.listbgcolor;" onChange="set_brdcolor(this,'vLISTBGCOLOR');">
</td>
<td id=vLISTBGCOLOR bgColor="#!style.listbgcolor;" onClick="get_brdcolor('LISTBGCOLOR');">
&nbsp;  </td>
</tr>
<!--...中間省略... 似たような方法で異なった色相の指定方式が連続される。――!>
</table>

```

色相指定部分は“set_brdcolor()”、“get_brdcolor()”JavaScriptを応用しユーザーが便利に選択できるよう作成されました。次は色相表記セルをクリックした時、色相を選ぶように生成されるダイアログウインドウの図です。



上のウインドウはDHTMLエディタで提供されるものとして他のHTML文書に変更されることもあります。

ON / OFF スイッチ

次は掲示板の環境設定の中でスイッチ方式の項目を表示しています。“ON”、“OFF”のうち一つのみを指定することができ、基本的に“OFF”が指定されています。

```

<input type=hidden name=FLAG_listborder value=OFF>
<input type=hidden name=FLAG_editor value=OFF>
<input type=hidden name=FLAG_ticon value=OFF>
<input type=hidden name=FLAG_words value=OFF>
<input type=hidden name=FLAG_nobody value=OFF>
<input type=hidden name=FLAG_remail value=OFF>
<input type=hidden name=FLAG_go2url value=OFF>
<input type=hidden name=FLAG_viewlock value=OFF>
<input type=hidden name=FLAG_noheadline value=OFF>
<input type=hidden name=FLAG_silent value=OFF>
<input type=hidden name=FLAG_realname value=OFF>
<input type=hidden name=FLAG_rmfree value=OFF>
<input type=hidden name=FLAG_listfree value=OFF>
<input type=hidden name=FLAG_file value=OFF>
<table width=100% cellspacing=0 cellpadding=0><tr>
<td><input type=checkbox name=FLAG_listborder #if b.listborder;checked##fi; value=ON>境界線
</td>
<td><input type=checkbox name=FLAG_editor #if b.editor;checked##fi; value=ON>エディタ</td>
<td><input type=checkbox name=FLAG_ticon #if b.ticon;checked##fi; value=ON>アイコン</td>
<td><input type=checkbox name=FLAG_words #if b.words;checked##fi; value=ON>コメント</td>
</tr><tr>
<td><input type=checkbox name=FLAG_viewlock #if b.viewlock;checked##fi; value=ON>非公開機能</td>
<td><input type=checkbox name=FLAG_nobody #if b.nobody;checked##fi; value=ON>無名氏</td>
<td><input type=checkbox name=FLAG_remail #if b.remail;checked##fi; value=ON>自動返信</td>
<td><input type=checkbox name=FLAG_go2url #if b.go2url;checked##fi; value=ON> URLリンク</td>
</tr><tr>
<td><input type=checkbox name=FLAG_noheadline #if b.noheadline;checked##fi; value=ON>タイトル行を無くす</td>
<td><input type=checkbox name=FLAG_silent #if b.silent;checked##fi; value=ON>確認揭示</td>
<td><input type=checkbox name=FLAG_realname #if b.realname;checked##fi; value=ON>実名使用</td>
<td><input type=checkbox name=FLAG_rmfree #if b.rmfree;checked##fi; value=ON>自由削除</td>
</tr><tr>
<td><input type=checkbox name=FLAG_listfree #if b.listfree;checked##fi; value=ON>リスト開放</td>
<td><input type=checkbox name=FLAG_file #if b.file;checked##fi; value=ON>ファイル添付</td>
</tr></table>

```

Checkbox形式でプラグ値を指定するためには隠れた属性の<input>タグでプラグの値を“OFF”で初期化しなければなりません。<input>のcheckboxタイプは選択された場合のみ“ON”の値を伝送し、選択されなかった場合は隠れた属性として初期化した“OFF”で設定されます。上に表記された各設定値が意味する内容は次の表に整理したようになります。

プラグ名称	意味	備考
fag_listborder	掲示物のリスト表示で横の区分線を表示する。	
fag_editor	掲示物の編集フィルタでHTMLエディタを使用するようにする。	
fag_ticon	掲示物のリストで掲示物ごとアイコンを表示させる。	
fag_words	掲示物にコメントを書き込むようにする。	
fag_viewlock	掲示物に非公開設置を設置することができるようにする。	
fag_nobody	掲示物作成時、ユーザー名が残らないようにする。	
fag_remail	E-mailが登録された掲示物に返信が自動的にメールに伝送されるようにする。	
fag_go2url	URLアドレスが入力されたならばリストでリンクさせるようにする。	
fag_noheadline	掲示物リストのフィールド名部分が表示されないようにする。	
fag_silent	掲示物を載せると管理者のみ読み込み可能で管理者が確認し掲示するようにする。	
fag_realname	本名を使用するようにする。	
fag_rmfree	誰でも削除することが出来るようにする。(読み込み権限がふかさせる場合のみ)	
fag_file	ファイルをアップロードすることができるようにします。	
fag_listfree	誰でもリストを見ることが可能。	

追加変数の設定

次は追加変数名を設定することができるように作成されたHTML原文の要約内容です。追加変数は0から25番までの26個がサポートされます。

```
<table cellspacing=1 cellpadding=0><tr>
<td> 0.</td> <td><input name='var[0]' value='\"#b.var[0];\"> </td>
<td> 1.</td> <td><input name='var[1]' value='\"#b.var[1];\"> </td>
<td> 2.</td> <td><input name='var[2]' value='\"#b.var[2];\"> </td>
<td> 3.</td> <td><input name='var[3]' value='\"#b.var[3];\"> </td>
<td> 4.</td> <td><input name='var[4]' value='\"#b.var[4];\"> </td>
</tr><tr>
<td> 5.</td> <td><input name='var[5]' value='\"#b.var[5];\"> </td>
<td> 6.</td> <td><input name='var[6]' value='\"#b.var[6];\"> </td>
<td> 7.</td> <td><input name='var[7]' value='\"#b.var[7];\"> </td>
<td> 8.</td> <td><input name='var[8]' value='\"#b.var[8];\"> </td>
<td> 9.</td> <td><input name='var[9]' value='\"#b.var[9];\"> </td>
</tr><tr>
<td>10.</td> <td><input name='var[10]' value='\"#b.var[10];\"> </td>
<td>11.</td> <td><input name='var[11]' value='\"#b.var[11];\"> </td>
<td>12.</td> <td><input name='var[12]' value='\"#b.var[12];\"> </td>
<td>13.</td> <td><input name='var[13]' value='\"#b.var[13];\"> </td>
<td>14.</td> <td><input name='var[14]' value='\"#b.var[14];\"> </td>
</tr></table>
```

追加変数名が指定された場合、“#!p.var[];”構文のように掲示物に保存された内容と並行し使用するこ

とができ、“#!fb.var[0];”構文を活用して選択的にデータを入力されるよう構成することが可能です。

5章で説明するウェブメールでは届いたウェブメールを掲示板に保存する機能があります。この機能はE SMTP資料構造を掲示板の資料構造に転換し保存されるようになります。掲示板の重要データの領域として転換することができない電子メールの重要データは追加変数0番から7番までに分けられて記録されます。次は追加変数として保存されるウェブメールの重要データ項目についての内容です。

追加変数の番号	電子メールのデータ	説明
0	From:	発信: 送信者(掲示板の転換時uid,name)
1	To:	受信: 受信者
2	CC:	Carbon Copy (メール転送の通知。)
3	BCC:	Blind Carbon Copy (受信メールでだけ表示。メール転送の無通知。)
4	ReplyTo	返信アドレス(転換されるとpost→E-mailでコピーされる)
5	ReturnPath	リターンメールアドレス
6	Charset	電子メール原本文字セット
7	Date	電子メールの作成日時

掲示板フィルタの直接指定

掲示板は一般的に管理者が管理する標準フィルタや追加された応用フィルタの中で使用することができます。一般ユーザーには応用フィルタの種類を知らせない場合、掲示板の環境設定を通じて使用することはできません。イントラセル管理者は“board_rc.html”に現在のユーザーたちが使用できるフィルタの種類を知らせることができます。しかし、コミュニティや、ユーザー領域において掲示板の自由な活用は制約を受けることになります。セジオはスーパーユーザーであり環境設定で表示、編集、リストなどに該当する掲示板ウェブフィルタを直接編集できるようにサポートしています。

```
リストフィルタ: <textarea name="listfilter">#b.listfilter;</textarea>
編集フィルタ: <textarea name="editfilter">#b.editfilter;</textarea>
表示フィルタ: <textarea name="viewfilter">#b.viewfilter;</textarea>
```

次はリストフィルタを“<div>～</div>”構文を活用し必要時のみセッティングすることができるよう作成するHTML文書です。

```
<div id=listfilterdiv style="width:500px;height:240px;z-index:1;visibility:hidden;">
<table border=0 class=subtable>
<tr><td align=center><b>リストフィルタ</b>: ビックリマーク(！)で始まると作動されません。</td>
</tr>
<tr><td style=border-style:inset;border-width:1px;>
<textarea name='listfilter' style=width:490px;height:220px;>#b.listfilter;</textarea>
</td></tr></table>
</div>
```

上のHTMLとしての環境設定の画面は次のように表すことができます。



“board_rc.html”ファイルに指定されなければ環境設定ファイルで設定項目の値を変更することができなくなります。この場合の環境調整項目は既存する環境設定をそのまま維持するようになります。レベルによって特定の環境設定項目について許諾したり、禁止したりするように区分できます。

強制接続は基準の接続をスムーズに解約できなかつたり、他の人が使用中であったりする場合に基準接続を解約して新しく接続するための選択事項です。次は“<input>”タグで入力するように構成することができる項目について説明します。

Name	説明	備考
url	ログインに成功すると移動するURL、失敗すると現在位置	
login	ログイン方法(“alone”が入力されると強制接続)	
uid	ユーザーID(登録されたID)	
passwd	パスワード	

紹介されたHTML原本を利用しウェブブラウザの基盤状態でログインができるようにするなど別途のポップアップウィンドウを呼び出すことができるよう作成することができます。URL項目を指定せずにログインに成功したらすぐに現在のブラウザのHTML文書を更新します。

ログインのポップアップウィンドウ

ジャバスクリプトや“#!popup…;”構文を利用しログインするための別途のポップアップウィンドウを開き、ログインするように構成することができます。横幅が300ピクセル未満であるポップアップウィンドウでログインするとログインと同時にポップアップウィンドウが閉じます。したがって、ログインするためのHTML文書を別途のファイルに保存し、“#!popup”構文を活用してログインするためには次のようなウィンドウを開くようにします。“#!popup…;”構文の使用法は2章の説明をご参照ください。



The image shows a simple login form. It has two text input fields. The first is labeled 'User ID' and the second is labeled 'Paseword'. Below the input fields are two buttons: one labeled 'JOIN' and one labeled 'CANCEL'.

ログインに成功するとウィンドウのHEML文書は新しく読み込まれてブラウザを更新し、ポップアップウィンドウは消えてなくなります。また次のように“#!if lv…;”構文を活用するとログインしたユーザーの簡単な情報を表示するように構成することができます。

```
#if u.lv>0; ... ユーザー情報表示... #else; ... ログイン区間... #fi;
```

ブラウザはユーザーのログイン/ログアウトの状態に合う区間を選択し表示されます。

管理ツールの連結

管理ツールは“#!href.admin...;”構文を利用し別途のHTML文書で作成して必要に応じウェブサービスに含まれるよう構成すると便利に使用することができます。次の内容からファイルを保存し“#!load...;”構文として管理ツールを必要な視点に位置させることができます。

```
#if u.lv<9; #return; #fi;
<script>
  function admin_page_change(Select) {
    idx =Select.selectedIndex;
    aurl=Select.options[idx].value; //value値が指定された場合にのみ実行
    if(aurl.length>0)document.location.replace(aurl);
    Select.selectedIndex = 0; //実行後元通りに復元させる
  }
</script>
```

```
<select name=admin_menu onChange="admin_page_change(this);">
<option value="">管理メニュー</option>
<option value="">_____</option>
<option value=#!href.admin.myhtml;">マイホームページ </option>
<option value=#!href.admin.html;">ホームページ </option>
<option value=#!href.admin.filter;">フィルタ管理 </option>
<option value=#!href.admin.board;">掲示板管理 </option>
<option value=#!href.admin.cell;">イントラセルの環境</option>
<option value=#!href.admin.host;">ウェブホスティングの設定</option>
<option value=#!href.admin.group;">コミュニティ管理 </option>
</select>
```

ロ、ユーザー管理

例外的にユーザーの登録情報はDataBaseに保存しますが別途の設定を通じMySQL、PostgreSQLなどのデータベースをサポートいたします。DateBaseの規格(Specification)は下のようになります。

区分	詳細内容
MySQL	- Version : 4.1以上(4.1以下のバージョンの場合、UTF-8をサポートしない) - ライブラリの位置: /usr/lib - O/S : RedHat 9.0以上
PostgreSQL	- Version : 7.3以上 - ライブラリの位置: /usr/lib - O/S : RedHat 9.0以上

システムの基本文字セット(Character-set)はUTF-8を基本として製作したのでユーザーの登録情報もUTF-8で保存されます。基本配布本の設定はPostgreSQLを使用しており、追加設定を通してMySQLの使用も可能になります。 * セジオのユーザー権はMySQLのライセンスを含んでおりません。

ユーザー登録情報のフィールド設定

環境設定(“Env”)をクリックすると登録する情報フィールドを設定する画面に転換されます。情報フィールドは必須項目(UID、PASSWD、UNAME、RNAME、UNIQSTR、EMAIL、QUWSTION、ANSWER、ADDR、IMG)を除く残りの項目について英文名、日本名などの追加及び修正が可能です。次の表に例示された情報フィールドは修正が不可能な領域を表しています。

情報フィールド	説明	備考
UID	ユーザー固有のID	
PASSWD	パスワード	
UNAME	別名(ニックネーム)	
RNAME	実名	
UNIQSTR	固有キー(一人ひとりを区別する固有のもの)	
EMAIL	メールアドレス	
QUESTION	質問(パスワードの紛失時に使用)	
ANSWER	返信(パスワードの紛失時に使用)	
ADDR	アドレス	
IMG	代表イメージ(JPG、GIF、BMPなど使用可能)	

下の図は該当するイントラセルのユーザー登録情報のフィールドを修正する画面です。

Field		Env	Msg				
NUM	ENAME	INAME	USE	MUST	MIN	MAX	
1	UID	ID	☒	☐	10	2	
2	PASSWD	パスワード	☒	☐	6	6	
3	UNAME	別名	☒	☐	2	2	
4	RNAME	実名	☒	☐	2	2	
5	UNIQSTR	固有番号	☒	☐	13	13	
6	EMAIL	E-mail	☒	☐	5	5	
7	QUESTION	質問	☒	☐	5	5	
8	ANSWER	答え	☒	☐	7	7	
9	ADDR	住所	☒	☐	5	10	
10	IMG	イメージ	☒	☐	7	7	
11	CONT	自己紹介	☐	☐	7	7	
12	SENDMAIL	携帯電話	☒	☒	3	5	
13	TELNUM	電話番号	☒	☒	3	5	
14	HAKBUN	学年番号	☐	☐	5	5	
15	BIRTHDAY	生年月日	☐	☐	5	5	
16	URL	ホームページ	☐	☐	5	5	
17	HOBBY	趣味	☐	☐	5	5	
18	JOB	職業	☐	☐	5	5	
19	TYPE	区分	☐	☐	5	5	
20	CLASS	学年	☐	☐	5	5	

SAVECANCEL

＊ フィールド名は仮想で適用される名前のみならず追加及び削除が可能です。しかしフィールド名を交換する場合、過去に入力された各フィールドのユーザー登録情報が自動的に変換しないために問題が引き起こされる可能性があります。

メッセージの設定

ユーザー登録システムはメッセージの設定を通し異なる言語を使用できるように変更が可能です。メッセージはサーバ内部にUTF-8で内容が保存されるため言語に関係なく保存することができます。

Field	Env	Msg
NUM	ENAME	
OK_SAVE	保存しました。	
OK_DEL	削除しました。	
OK_SIGNUP	登録されました。	
ERR_SAVE	保存できませんでした。	
ERR_DATA	正しくない入力情報です。	
ERR_DB	データベースエラーです。	
ERR_USER	存在しないユーザーです。	
ERR_MAIL	メールを使用することができません。	
ERR_SKIN	スキンファイルの読み込みに失敗！	
ERR_FILE	ファイルの読み込みに失敗！	
ERR_CONF	環境設定のエラー	
ERR_PERM	使用することのできないレベルです。	
ERR_DIR □학등□	生成できませんでした。	
ID_EXT	使用中のIDです。	
ID_OK	使用可能なIDです。	

SAVECLOSE

ユーザー管理

下の画面は該当するサイトに登録されているユーザーリストを表示しています。下の画面でユーザー情報の修正、削除、アクセスレベルの修正、検索などの管理が可能です。ユーザー管理はイントラネットのレベル9であるユーザーやイントラセルの指定ユーザーのみ可能です。レベル9以下のユーザーが下の画面にアクセスすると“使用することができないアクセスレベルです。”というメッセージが表示されると共に使用できません。



□ ユーザー管理: 1 Page / 1 Page (4 Users) 管理

☐	NO	ID	PHOTO	NICKNAME	ADDRESS	DATE	LEVEL
☐	4	ti		ti	...	2005/09/10	1
☐	3	thinkwoni		ti	...	2005/09/10	1
☐	2	argo		管理者	1111 1111...	2005/09/10	9
☐	1	vv		v	vv...	2005/09/05	7

< 1 >

登録 新規作成 一覧

ALL 検索

強制脱退させようと思うユーザーのチェックボックスをクリックするとユーザー情報が除去されます。ユーザーリストで書き込みボタンをクリックすると下のように新規登録が可能になります。

会員情報/修正 (会員情報の修正ページです。)

・セジオの会員登録事項です。セジオウェブアプリケーションは無料 会員制サービスです。
・下の簡単な様式を作成し登録して頂くを会員としてご利用いただけます。

▶ 会員情報

会員ID*	segio
パスワード*	(英文字数字の組み合わせの 3~8 字)
パスワードの確認*	(再入力)
パスワード再発行 質問*	旅行に行きたい場所は?
パスワード再発行 答え*	スイス
ニックネーム*	管理者
名前*	山田花子
E-mail*	sysop@segio.com

登録 取消

ユーザーリストで該当するユーザーのチェックボックスを選択後、修正したいアクセスレベルをセレクト

ボックスで選択してからアクセスレベルのボタンをクリックすると該当するユーザーのアクセスレベルが変更されます。

ユーザーリストで該当するユーザーのIDをクリックすると修正画面が生成されます。ID(UDI)、実名(RNAME)などを除外した残りのリストは修正が可能です。

パスワード検索

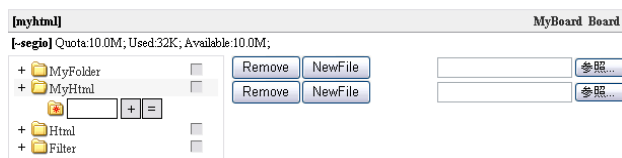
ユーザーが登録したパスワードを紛失するとイントラセル管理者は臨時のパスワードに変更してユーザーに通報する方式で問題を解決しなければなりません。ユーザーは他のシステムと同一であるパスワードを使用することが可能であるため、どのような方法であろうとパスワードを知られるようなことのないようにしなければなりません。次はパスワード検索サービスを表示する図です。

ID(UID)と自分の実名(RNAME)を入力するとユーザー登録情報に入力されていた質問と答えを通じてパスワードをE-mailで受け取り確認することができます。質問の回答を間違ったり入力しなかったりすると次のような画面が表示されます。

パスワード検索サービスを利用するにはユーザー登録情報に常に使用する他のホストに確保された電子メールと質問及び回答を入力しなければなりません。質疑/回答(秘密の質問/答え)の認証に失敗すると最終的にイントラセルの管理者が直接変更しなければなりません。

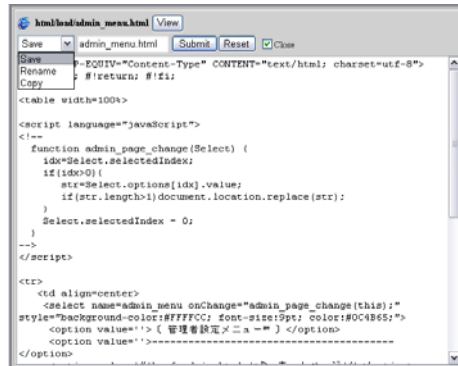
ハ、ウェブディレクトリの管理

ウェブディレクトリ管理ツールではホームページやウェブフォルダなどをウェブで接続しディレクトリ及びファイルを管理することができますようにします。次の図はウェブディレクトリの管理ツールです。



図の左側には掲示板の管理項目とディレクトリ経路を表示します。現在のディレクトリは左側上段に表示されています。ディレクトリアイコンの左側にチェックボックスをチェックして右側下段の“Remove”ボタンをクリックするとディレクトリが消えてなくなります。ディレクトリ経路の表示の空いている入力スペースはディレクトリを新しく作成したり名前を変更したりするときに使用されます。ディレクトリを選択して名前の入力後、[=]ボタンをクリックすると名前が変更されます。ディレクトリ名を入力して[+]ボタンをクリックすると新しいディレクトリが生成されます。ディレクトリの右側に表示された四角い表示はドロップボタンです。ファイルやディレクトリを選択した後、ドロップボタンを押すと選択された項目が移されます。

図の右側の領域は一般ファイルを表示しています。ファイルリストの右側にある修正ボタンをクリックすると名前の変更や他の名前でもコピーすることができるようポップアップウィンドウが現れます。マイン設定でtextとして指定されたファイル様式の内容を編集することができます。次の図は編集ウィンドウを表示しています。



図からも分かるようにテキスト文書ファイルは編集し保存(Save)したりファイル名を変更(Rename)したりファイルをコピー(Copy)することができます。

セジオのウェブディスク

ウェブディレクトリの管理ツールは別途の設置過程なしに使用することができるという長所がありますがFTPのように多量のディレクトリやファイルを伝送することはできません。多量のファイルを伝送するためにActiveXとして作成し、マイクロソフトのインターネットエクスプローラーでのみ実行されます。ActiveXウェブディスクは次のようにHTML文書を編集し作成します。ActiveXコントロールの特性上、自動設置の過程を経なければなりません。

形式: #i.webdisk, [オプション1], [オプション2];

オプションは[予約語=値] 形式で表記してオプション間はコンマで区分します。

lang: 言語指定予約語; base: 基本スタートポイント; width: コントロールの広さ;

ght: コントロールの高さ;

使用例: #if u.lv>0;#i.webdisk;base=/,lang=kr,width=700,height=500;#fi;

<OBJECT ID = "segiwebhard" codeBase="http://file.segio.com/download/segiwebhard/..." >

<PARAM NAME="DisplayType" VALUE="show">

</OBJECT>

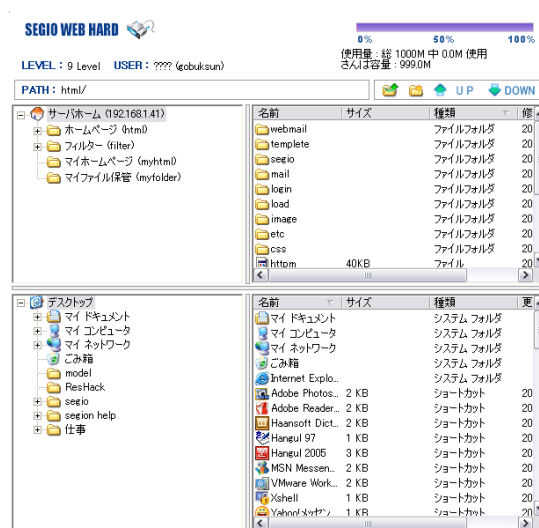
<script for="segiwebhard" event="OnSegiOnFileXLoaded()" language="JavaScript">

.....

</script>

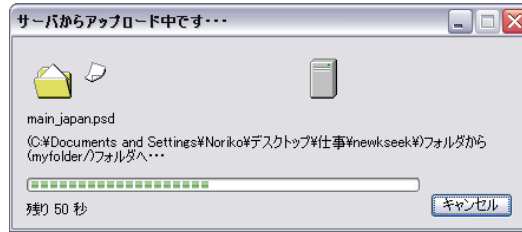
Activeコントロールは各ユーザーの同意の下に自分自身のPCに設置後のみ実行することができます。

ActiveXコントロールの動作C/S環境で成り立つためにサーバとクライアントのバージョンを一致させなければなりません。“#i.webdisk;”はサーバで自動的にマッチングされるActiveXコントロールを呼び出しする方法であることで標準的な使用方法として提示されています。なるべく上のActiveXコントロールの方法を原文でコピーして使用しないよう警告します。ウェブブラウザでActiveXとして実行されたウェブディスクコントロールは次の図のように構成されます。



コントロールの上段にログインされたユーザーのID及び氏名、アクセスレベル、現在の割り当て容量及び使用した容量の情報、現在選択されているサーバフォルダ経路などが表記されます。

ファイルのアップロード及びダウンロードは一般的であるウィンドウの検索の使用法と同一になります。ファイルを(フォルダを含む)マウスで選択して、ドラッグしダウンロード及びアップロードしようとする位置にドロップするようにしてください。



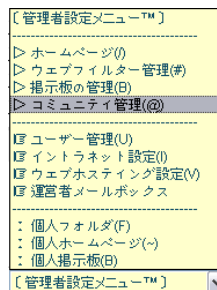
ウェブディレクトリの管理ツールやセジオウェブディスクはコミュニティ、ユーザーのディレクトリ管理にも同一する方法で使用されます。

4.2 コミュニティサービス

コミュニティはセジオで基礎として提供されている下位コミュニティ機能です。前に説明したユーザー領域に一定規模のコミュニティサービスを作成することは可能ですが、コミュニティサービスを作成することを目的として使用します。

イ、コミュニティ生成並びに環境設定

イントラセル管理者はコミュニティを生成及び環境設定の権限を持っています。コミュニティ管理のための管理ツールは前で説明したイントラセルの管理ツールの設置過程を通じて設置することができます。



次は上の図で表示されたイントラセルの管理ツールでのコミュニティ部分とこれを選択したときのコミュニ

ティ管理について表示した画面の例です。

コミュニティ管理 [@]									
[新しいコミュニティ 5]									
NO.	ID	ネーム	会員	Board	ユーザー	Post			
☐	01	@model1	個人・趣味	0 / 100	9 / 20	00	451K / 500M		
☐	02	@model2	映画・音楽・テレビ	0 / 100	9 / 20	00	397K / 500M		
☐	03	@model3	旅行・スポーツ	0 / 100	9 / 20	00	405K / 500M		
☐	04	@model4	コンピュータ	0 / 100	9 / 20	01	772K / 500M		
☐	05	@model5	文化美術・写真	0 / 100	9 / 20	00	411K / 500M		
削除		5/15	◀ 01 ▶						

図でGroupIDをクリックすると各コミュニティの環境を設定することができ、GroupNameを選択しコミュニティ内部の掲示板管理として移動することができます。

チェックボタンをクリックした後、削除ボタンをクリックするとコミュニティが削除されます。ただし削除されるコミュニティの内部では掲示板が存在してはなりません。削除ボタンの下に表示された数字はイントラセルに許容されるコミュニティ数(15)と現在設置されたコミュニティ(5)を表します。

モデルダウンロード

各コミュニティの右側ボタンは現在コミュニティディレクトリを一つのファイルにダウンロードすることができます。ダウンロードファイルは“*.cob”形態であり、このファイルはセジオ管理者のためのコミュニティモデルとして登録することができます。ダウンロードしたファイルは現在コミュニティに復旧する機能は提供されません。

新規生成

新しいコミュニティを生成するために“new group”を選択すると次のような環境設定画面が現れます。ID部分に新しいコミュニティIDを入力して下位の設定値を入力した後、“適用”ボタンをクリックすると設定された環境設定を基盤にコミュニティが生成されます。

コミュニティは最初の作成時に準備されたデザインモデルの中で一つを選択し、設置することができます。コミュニティモデルはセジオ管理者のモデル管理ツールで登録することができイントラネットの使用言語として指定されたり使用言語が指定されないモデルの中で選択することができます。環境設定画面での各入力項目についての詳細内容は次のようになります。

入力項目	内容	備考
GroupID	新規として作られるコミュニティID	
ServiceName	コミュニティ名	
Owner	コミュニティの指定管理者(加入可否及びアクセスレベルに関わらず)	
BoardIcon	下位掲示板で基本として使用される掲示板アイコン	
DiskQuota	ディスク使用割当量	
MaxBoard	最大掲示板生成制限	
MaxUser	最大メンバー	
BoardHead	掲示板上位部分のデザイン設定	
BoardTail	掲示板下位部分のデザイン設定	

コミュニティ環境設定はコミュニティオーナーに許可されますがディスク割当量、登録ユーザー数、掲示板許容量、コミュニティ所有者などの情報は変更することができません。

ロ、コミュニティ管理者

コミュニティは会員管理システムを運営し、会員情報とアクセスレベルを基礎として一つの下位イントラネットを作成することができます。会員管理システムは既存のイントラネットに登録されたユーザーのみを会員として登録することができます。コミュニティのホームページアドレスは次のような形式で表示されます。

`http://sm.kseek.com/@game/`

⇒ `game コミュニティ: /group/game/html/index.html`

コミュニティの独立的なホームページは一般的なHTML文書の編集方法により作成することができ、セジオでサポートするウェブフィルタリング効果の応用が可能なので、独立的なホームページとイントラネットとして作成することができます。

コミュニティを通したユーザー登録

イントラネットに登録されたユーザーのみがコミュニティに加入することができますので一般的に登録されていないユーザーがコミュニティの会員として加入することはできません。ただしコミュニティに加入するとき加入申請書に必要な情報を入力した後、イントラネットのユーザーとして先に登録したのと同時にコミュニティの会員として登録するようにすることができます。

コミュニティへのログイン

イントラネットにログイン後、コミュニティへ移動する場合には別途にログインする必要がありません。この場合、イントラネットのログイン情報がそのまま相続されるためです。次はホームページでログインするため別途に準備することができるHTML文書です。次のような内容をHTML文書で保存して“#!popup…”構文を利用しログインするためのポップアップウィンドウを生成させることができます。

```

<style>
.inputline { border-style:none; border-width:0px; width:100%; }
.inputcell { border-style:inset; border-width:1px; width:100px; }
.namecell { border-style:none; padding:2,3,0,3; }
</style>
<iframe name=hidden_frm frameborder=0 width=0 height=0></iframe>
<table border="0" cellspacing="0" cellpadding="1" style=padding:4; border=0>
<form method=POST action="#href.login" target="hidden_frm">
<tr>
  <td class=namecell> ID </td>
  <td class=inputcell><input name=UID type=text size=12 class=inputline tabindex=1></td>
  <td class=namecell>パスワード</td>
  <td class=inputcell><input name=UID type=password size=12 class=inputline tabindex=1></td>
</tr>
<tr><td colspan=2 align=center>
<input name=JOIN type=submit value="JOIN" >
<input type=button value="Cancel" onclick="window.close();">
</td></tr></form></table>

```

次は上のHTML文書を“#popup”構文を利用しポップアップウィンドウとして表した図です。

ログインに失敗するとエラーメッセージを表示し、エラーメッセージを確認後、続けてログインすることができます。ログインに成功すると小さなウィンドウはなくなりコミュニティホームページはログインしたユーザーの情報を認識した状態で更新されます。

コミュニティ管理者の管理ツール

イントラセルの管理者はコミュニティ管理ツールを利用しコミュニティの新規開設や環境設定をすることができます。これ以外にコミュニティの管理者（コミュニティオーナー）がコミュニティの掲示板、HTML文書を管理することができるように管理ツールはコミュニティHTML文書に次のようなHTML原文を挿入し設置することができます。

```
#if l.lv==9;
<a href="#!href.admin.lboard;"> 掲示板管理</a><br>
<a href="#!href.admin.html;"> HTML文書管理</a>
#endif;
```

上の原文がコミュニティのHTML文書内にある場合、ロケーションについての掲示板とHTML文書管理のための管理ツールがリンクされます。ジャバスクリプトを活用するとより悠然たる管理ツールとして変化させることができます。

ハ、コミュニティ及び掲示板の自動化

イントラセル管理者がコミュニティを新しく開設する場合コミュニティをよく利用することができるように管理者はHTML文書を編集すコミュニティのURIをリンクしなければなりません。コミュニティの掲示板を生成することができ、生成された掲示板は使用しやすいうにHTML文書を編集しリンクしなければなりません。イントラセル管理者やコミュニティ管理者がHTMLコーディングに慣れていない場合は、多少不便さを感じられるでしょう。このような不便さを簡素化させるためにコミュニティ及び掲示板の自動化機能を作成することができます。

コミュニティリンクの自動化

次はコミュニティを自動リンクさせるジャバスクリプトの要約内容です。コミュニティはイントラセルの資源として認識されるため次の構文は個人ホームページやコミュニティホームページ領域では作動されません。

```
<script>
function group_anchor(guri, gname)
{
    if(guri.length<1)return;
    src = "<tr><td height=22><a href=¥ "" +guri+ "¥" >" +gname+ "</a></td></tr>" ;
    document.wirte(src);
}
</script>
<script>
    group_anchor ("#!.guri[0];","#!.gname[0];");
    group_anchor ("#!.guri[1];","#!.gname[1];");
    group_anchor ("#!.guri[2];","#!.gname[2];");
    ...
</script>
```

上のジャバスクリプトはHTMLの表示部分を更に追加することができ、コミュニティの有効範囲の数まで拡張させ処理することができます。実際のコミュニティ数が上の表示された数より多いならば一部のコミュニティは表示されません。

掲示板リンクの自動化

次はロケーションに設置された掲示板を自動にリンクさせるジャバスクリプトの要約内容です。イントラセル、コミュニティ、個人ホームページなどはそれぞれのロケーションに掲示板を含んでいるため掲示板が設置されたすべてのスペースで次の構文が作動されます。

```
<script>
function board_link(buri,bid, bname){
  if(bid.length<1)return;
  if(bname.length<1)bname=bid;
  document.wirte("<a href='"+buri+"'.brd'"+"bname+" "</a><br>");
}
</script>
<script>
  if(#!.boards;>0){
    board_link("#!.buri[0];","#!.bid[0];","#!.bname[0];");
    board_link("#!.buri[1];","#!.bid[1];","#!.bname[1];");
    board_link("#!.buri[2];","#!.bid[2];","#!.bname[2];");
    ...
  }</script>
```

上のジャバスクリプトを応用し次のように名前の中の区分字でメニュー領域を違った形で区分することができます。次の構成を適用すると掲示板の環境設定では名前の前に'#', '@', '\$'の特殊記号が付いているのかを確認し特殊文字によって他のメニュー領域に分けてリンクされるようにしています。

```
<html>
<body>
<div id=open_menu></div><br>
<div id=share_menu></div><br>
<div id=study_menu></div><br>
<div id=hide_menu></div><br>
<script>
  function board_link(buri, bid, bname)
    if(bid.length<1) return;
    if(bname.length<1)bname=bid;
```

```

html="<a href='"+buri+"brd'"+"bname+"</a><br>¥n";
switch(bname.charAt(0))
    case '#': document.all.open_menu.innerHTML += html; break;
    case '@': document.all.share_menu.innerHTML += html; break;
    case '$': document.all.study_menu.innerHTML += html; break;
    #if !lv>8; default : document.all.hide_menu.innerHTML +=html; break; #!fi;
</script>
<script>
    board_link("#!l.buri[0];", "#!l.bid[0];", "#!l.bname[0];");
    board_link("#!l.buri[1];", "#!l.bid[1];", "#!l.bname[1];");
    board_link("#!l.buri[2];", "#!l.bid[2];", "#!l.bname[2];");
    board_link("#!l.buri[3];", "#!l.bid[3];", "#!l.bname[3];");
    .....
    board_link("#!l.buri[19];", "#!l.bid[19];", "#!l.bname[19];");
</script>

```

上のジャバスクリプトは最大20個までのみ自動的にサポートされるようにしています。

4.3 ユーザーサービス

ユーザーサービスはウェブメール、ウェブフォルダなどのように自分だけ使用するようにする閉鎖型サービスと掲示板、ホームページのように他のユーザーがアクセスすることができる開放型サービスに分類されます。次の図はユーザーサービスの種類及び機能を説明しています。ユーザーサービスはイントラセルに登録されたすべてのユーザーに提供されるのではなく、ユーザーごとに指定されたユーザーディレクトリスペースが確保された場合のみ利用することができます。

イ、ユーザーサービスの構成

機能名称	説明	個別的URL
ホームページ	ユーザーの個別ウェブサービススペース	http://sm.kseek.com/~summer/
掲示板	ユーザーの個別掲示板サービススペース	http://sm.kseek.com/~summer/note.brd
ウェブメール	ユーザーのメールサービススペース	なし
ウェブフォルダ	ユーザーのウェブディレクトリサービススペース	なし
ホームページ管理	ホームページ編集、管理機能など	なし
掲示板管理	掲示板生成、環境設定、削除など	なし
会員管理	会員加入承認、アクセスレベル調整、脱退	なし

閉鎖型サービスは外部からアクセスできるURLが個別的に与えられない反面、開放型サービスはユーザーごと個別的にURLが与えられます。イントラセル管理者は上で表示された閉鎖機能などをイントラネットで使用できるように構成します。

ユーザーホームページ

登録ユーザーはイントラネットのドメイン住所とユーザーIDを調み合わせた形態のユーザーホームページサービスを利用することができます。ホームページスペースのアクセスレベルによりディスククォータ方式で提供されますがホームページの使用量が指定されたユーザーは個人ホームページ、ウェブディスク(ウェブフォルダ)などの機能を使用することができます。

`http://sm.kseek.com/~summer/`

ユーザーホームページでのログイン、ログアウト、管理ツールなどの構成はコミュニティ部分の説明と同一に進行することができます。

個人掲示板(ユーザー掲示板)

イントラセル管理はアクセスレベルにより個人(ユーザー)に許容される最大掲示板数を指定します。ユーザーは次の形式と同じような掲示板を持つようになります。

`http://sm.kseek.com/~summer/myboard.brd` ⇒ summerユーザーの“myboard”掲示板

ウェブフォルダ

ウェブフォルダはホームページ管理と同一する管理ツールにより利用されます。ホームページスペースは他のユーザーがログインしたりログインしなかったりしたとき選択的にアクセスが可能である反面、ウェブフォルダは他のユーザーが全く接近することができません。

ロ、環境設定及び統計

環境設定

自分自身のIDを所有しているアクセスユーザーに自分の環境設定管理ツールが次のような形式で提供

されることもあります。

```
<a href="#"href.admin.mycell;">個人環境設定</a>
```

上の構文はどのスペースのHTML文書に含まれているのかに関係なく接続者の環境設定ページとして連結し、次の図のような管理ツールを使用可能にします。

環境設定は“個人ホームページ設定”と“個人ウェブメール設定”とに分けて見ることができます。上の図は“個人ウェブメール設定”部分の下段が省略されていますが、“個人ウェブメール設定”部分で詳細に説明しています。“個人ホームページ設定”の部分はコミュニティの環境設定部分と類似します。

ユーザー及び接続統計

接続位置の接続統計は必ずその位置でのみ表現されるが自身の接続統計はイントラネットのどの領域のHTML文書でも表現することができます。次はウェブページで接続者自身のホームページ使用量の統計を表すジャバスクリプトです。

```

<script>
function put_percent_bar(quota,data,usage,color)
{
    str="<table border=1 width=100%><tr><td>▶現在の使用量: <strong>";
    str+="<<font color=#FF3300>" +quota+"</font></strong>";
    str+="<<b><font color=#6633CC>" +data+"</font></b>ユーザー("& +usage+"%</td></tr>");
    str+="<<tr><td bgcolor=#CCCCCC height=16>";
    if(usage>0){
        str+="<<table height=14 border=0 width=" +usage+"%><tr>";
        str+="<<td bgcolor=" +color+">&nbsp;</td></tr></table>";
    }else str+="&nbsp;";
    str+="<</td></tr></table>";
    document.write(str);
}
</script>

```

ウェブフィルタリングコードを利用し次のように関数を呼び出します。

```

<script>
    put_percent_bar("#u.diskquota"," #u.data"," #u.usage, "red");
</script>

```

第5章 メッセージサービス

イントラネットでの掲示板は公的な情報交流を遂行します。その反面、私的な情報交流のためセジオはチャット、メッセージ、ウェブメールのメッセージサービスを別途に提供します。各サービスは情報伝達の速度や、資料の保管において次のような違いがあります。

サービス名称	公開	保存	特性説明	伝達
ウェブメール	非公開	非揮発性	個人的な目的でだけ使用する	間接
メッセージ	非公開	半揮発性	メッセンジャーの文書伝送及び通知機能	直接
チャット	非公開	揮発性	メッセンジャーとウェブ対話サービスとして具現される	直接

メッセージやチャットはメッセンジャーと密接な関係を持っており、メッセンジャーがないとしてもウェブサービスとして利用することができるように作成されています。

5. 1 メッセージ及びチャット

ウェブを基盤としているイントラネットはユーザー間の機敏な応答を期待することができないという限界を持っています。メッセージは他のサービスに比べて資料の永続性がないが迅速に伝達されます。チャットはメッセージよりも資料の揮発性が高い代わり、更に迅速にメッセージを伝達します。

イ、セジオメッセンジャー

セジオメッセンジャーはセジオとは別途に販売される製品でマイクロソフトウィンドウ系列のアプリケーションです。メッセンジャーを設置するためにはライセンスの購入可否を先に確認しなければなりません。次の図は業務用のセジオメッセンジャーを表示しています。



メッセージの設置方法及び機能説明はセジオメッセージの購入時に別途に提供されます。

ロ、メッセージ(Memo)

メッセージは特定のユーザーや多数のユーザーに資料を伝達します。ウェブメールやユーザーホームページがないユーザーもメッセージ機能を利用することができます。メッセージやトーク機能(対話機能)を利用するとメッセージが届いた場合、自動お知らせ機能が作動します。メッセージのユーザーには便利なインターフェースとして提供されますがメッセージを使用しなくてもメッセージ機能を使用することができるようにウェブインターフェースを提供しています。メッセージに指定した有効期間が過ぎるとサーバで自動的に消える半揮発性の特性があります。

メッセージ送信

メッセージは望むユーザーを選択し、また全体のユーザーに伝送することができます。

メッセージ送信

受信メッセージ

送信メッセージ

全体メッセージ

受信者

USER

ALL

タイトル

内容

添付ファイル

参照...

送信

閉じる

ユーザーを選択しメッセージを送る時は上の図で“USER”を選択して空白として区分し複数のID(UID)を入力します。最大30名のユーザーに伝送することができます。

全体ユーザーにメッセージを送る時は上の図で“ALL”を選択すれば受け取る人は項目が非活性化され、題目と内容だけを入力後、送るようにします。“ALL”で選択されたメッセージは“全体メッセージ”に保存され、すべてのメッセージャーとイントラネットのユーザーが閲覧可能です。

メッセージ確認

メッセージは受信メッセージ、送信メッセージ、全体メッセージに区分され保存されます。受信メッセージは自分に届いたメッセージが保管され、送信メッセージには自分が送ったメッセージが保管されます。全体メッセージはすべてのユーザーに送ったメッセージを保管します。

メッセージ送信

受信メッセージ

送信メッセージ

全体メッセージ

☐ 番号	ファイル	送信者	タイトル	送信日	既読
☐ 1		sysop	[緊急！]今日の会議時間のお知らせ	2005/09/15	N

ALL

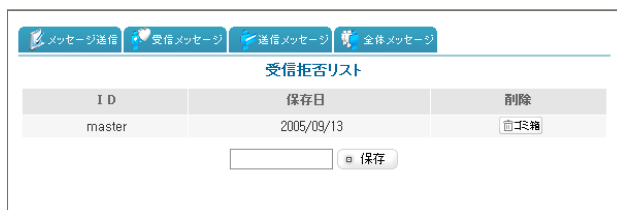
検索

削除

受信拒否

受信拒否

メッセージの受信を望まないユーザーからのメッセージを拒絶することができます。図のような画面でメッセージ受信を望まないユーザーID(UID)を入力すると該当するユーザーからのメッセージは受け取らないようになり、受信拒否されたユーザーはメッセージを送る際“受信を拒否されました”という案内メッセージが表示されます。



ID	保存日	削除
master	2005/09/13	削除

ハ、チャット

チャットはイントラセルにログインしたユーザー間に対話を互いに交わすことができるようにサポートされるサービスです。メッセンジャーではチャットルームを開設し対話を進行することができ、ユーザー間の2人の対話がサポートされます。ウェブアクセス状態のユーザーはJAVAアプリケーションやActiveXコントロールの中で一つを設置して作成しますがチャットルームの開設やチャットルームでのチャットはサポートされず、2人用対話(talk)機能だけ提供いたします。

ジャバアプレットトーク (Java Talk)

ジャバアプレットはリナックス/ユニックス、マイクロソフト社のウィンドウ系列のすべてのブラウザで実行することができます。接続したユーザーのコンピュータにJVMというソフトウェアが設置されていれば作動されます。JVMが設置されていないならばSUN社のジャバウェブサイトである“[http:// java. sun. com](http://java.sun.com)”で“JVM”を検索しダウンロードして設置するようにします。サーバにはジャバアプレットファイルを設置しなければなりません。既にJVMを設置したユーザーであるならば追加的な設置過程なしに実行することができる

という長所があります。またセキュリティ規則が厳格であるという長所もあるが多少アクセスするのに時間がかかるため便宜性をユーザーに提供するには限界があります。ActivrXコントロールは国際的なセキュリティ認証のもとに提供されています。最近のセキュリティの弱点を補完するために世界的な認証サービスが導入されており、SEGIOのすべてのActiveXコントロールは国際的なセキュリティ認証下に提供されています。次はジャバチャットを呼び出しする方法を提示しています。

形式 #javachat,[オプション 1][オプション 2];
オプションは[予約語=値]形式として表記しておりオプション間ではコンマで区分する。
bwidth:コントロールの広さ; height:コントロールの高さ;
使用例 #if u.lv>0#;javachat,width=150,height=200#;fi

上の使用例で提示した構文は次のように“<applet>”タグを含んだHTML文書として変換されます。このHTML構文によりウェブブラウザはジャバアプレットを実行させます。

```
<applet code=message.class codebase=/ archive=message.jar width=2 height=2>
<PARAM ...>
...
</applet>
```

“message.jar”ファイルは多少の“*.class”ファイルが圧縮されており、その中で“message.class”を中心に実行されます。“<PARAM...>”タグはジャバアプレットに情報を伝達する役割をします。

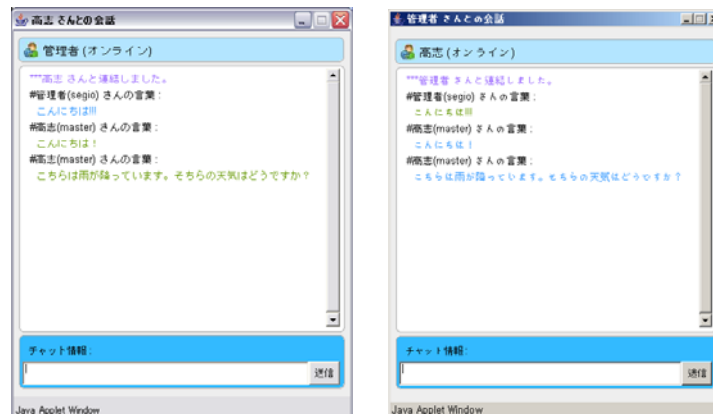
アプレットはウェブページが存続している状態でのみ有効的に動作します。ブラウザを更新すると実行中であるアプレットはダウンしもう一度新しいアプレットとして実行します。すべてのHTML文書にアプレットの呼び出し構文を書き留めておくチャットサービスの使用は可能になりますが必要な掲示物を読み込んだり他のウェブページへ移動したりする場合、チャットが中断されます。

チャットを続けて維持するためには別途にHTML文書でアプレットを呼び出しするようにします。このHTML文書を別途にポップアップウィンドウとして作成しチャットを続ける方法と、ウェブブラウザにサイズが0である隠れフレームを分けて、アプレット呼び出すようにする方法があります。ポップアップウィンドウを利用するとチャットする間、ポップアップウィンドウを続けて維持しなければならず、隠れフレームを活用する方法はアクセスしたすべての人の対話を可能にするという特性があります。



チャットサービス用のアプレットである“/etc/shttpd/bin/message.jar”として保存されており、各イントラセルの“html/message.jar”として保存させるとイントラセルのアプレットが優先的に実行されます。イントラセルごとに指定する言語セットや他の構成を持ったチャットアプレットを使用するならば file.segio.com で適切なバージョンをダウンロード後、ホームページにアップロードします。これはイントラセル管理者のみが選択して作業することができる領域の業務です。

接続者の名前をダブルクリックすると次のような二人用の対話(talk)ウィンドウが現れます。



上の二つの図はそれぞれ対話を要請したユーザーと対話の要請を受けたユーザーにそれぞれ表示したウィンドウの内容です。対話を入力すると上の図のように互いにメッセージを取り交わすようになります。UTF-8文字セットをサポートするために一つの画面に多様な文字を同時に表現することで、セジオンメッセージャーが設置されている場合、メッセージャーに接続したユーザーと対話が可能です。

WAKE UP

ジャバアプレットが横60ピクセル、縦60ピクセル以上の領域で実行されたならば接続者のリストを表示してユーザーを選択し対話することができます。狭い領域で実行されると接続者のリストを見たり対話を試みたりすることができません。このような場合、次のような方法で“#!u,wakeup;”フィルタリングコードを利用したHTML文書を作成しチャットサービスを利用したい時ポップアップウィンドウとして浮き出させます。

```
<title>マイチャットルームを起こす</title>
#!u,wakeup;
<script>
window.close();
</script>
<body>
閉じてもいいです。
</body>
```

ジャバスクリプトによりポップアップウィンドウは現れた即時に消えるようになり、HTML文書がフィルタリングされる瞬間メッセージサーバに“wakeup”というプロトコルが伝達されます。メッセージサーバはメッセージャー、ジャバチャット、アクティブエックスチャットなど複数のチャットサーバが連結されている時、最も優先されるメッセージクライアントを活性化させるようになります。Wakeup機能はこの後説明されるActiveXコントロールでも同一に作動します。

SegiOnWebX設置

SegiOnWebX は ActiveX コントロールとして作成されたチャットプログラムです。すべてのユーザーは ActiveX コントロールを設置しなければならず、アプレットと異なりリナックスやユニックス系のウェブブラウザでは実行されないという特性があります。ActiveX はジャバスクリプトのように各基本バージョンに含まれ配布されません。segio.com の顧客支援サービスを利用し ActiveX チャットの設置及び使用法を確認し設置しなければなりません。次は SegiOnWebX の呼び出し方法です。

形式 #i.chat[オプション 1][オプション 2];

オプションは[予約語=値]形式として表記し、オプション間ではコンマで区分する。

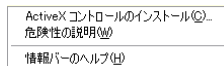
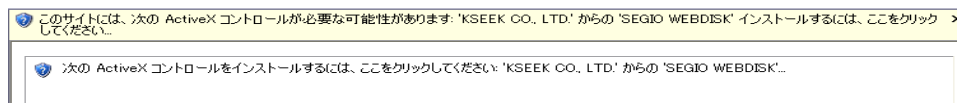
lang:言語指定の予約語 width:コントロールの広さ; height:コントロールの高さ;

使用例 #f u.v>0;#i.chatlang=kr,width=170,height=200;#f;

上の使用例で提示された構文は下のような HTML 文書として置き換えられます。実際に置き換えられる HTML の内容は Segio の基本バージョンによって異なる場合があります。したがって次のように置き換えられた HTML 文書を直接登録し ActiveX コントロールを呼び出ししないようにしなければなりません。

```
<OBJECT id="segiowebx"
codeBase="http://file.segio.com/download/segion/segionwebx.cab#Version=1.0.0.1" height=200 width=170
classid="CLSID:86970572-FF8C-4F2E-8ACD-3C9091523C3E">
<PARAM NAME="DisplayType" VALUE="show">
</OBJECT>
<script for="segiowebx" event="OnSegiOnWebxLoaded()" language="JavaScript">
.....
</script>
```

ActiveXコントロールはマイクロソフト社のインターネットエクスプローラー5.0以上で作動します。ユーザーのウェブブラウザに“segiowebx”オブジェクトの1.0.0.1バージョンActiveX Controlが設置されていないならば指定されたURLから自動的にインストールしようとします。マイクロソフト社のWindows XP、SP2バージョン以上のウェブブラウザでは次のような警告が表示されます。



ActiveXコントロールの設置メニューをクリックすると次のような設置画面が表示されます。



ジャバアプレットは毎ブラウジング画面で呼び出しされユーザーリストを直接表示する方式とhidden flamで呼び出された後“#!wakeup;”によりフレームを呼び出しする方式のうち一つのみ適用しなければなりません。ジャバアプレットが毎画面ごと呼び出しされるようにすると接続状態がずっと更新されるという短所があります。ActiveXは上のジャバのような活用が可能であるだけでなく、毎画面に接続者を重複し表示しながらも接続状態が維持できるようになります。

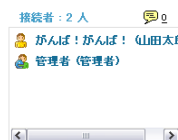
形式: #i:chat,[オプション 1],[オプション 2];

オプションは[予約語=値]形式として表記し、オプション間ではコンマで区分する。

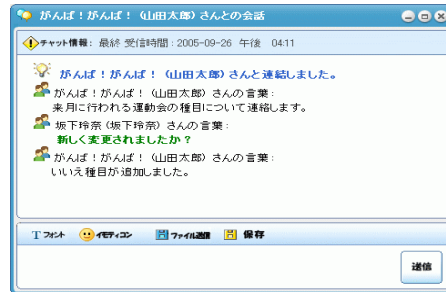
lang 言語指定の予約語 width:コントロールの広さ; heightコントロールの高さ;

使用例 #if u.>0;#i:chatlang=kr;width=170;height=200;#fi;

上の構文はActiveXコントロールを利用して次のような接続者リストを表示します。



上のリストはウェブブラウザの希望する位置に自由自在に位置させることができます。上段に位置するバールーンヘルプボタンをクリックすると開設されたチャットルームリストが表示されます。右側に表示された数字は現在開設されているチャットルームの数を表します。ユーザーをダブルクリックすると次のようなチャットルームウィンドウが生成され、2人だけの対話が可能になります。



ActiveXコントロールにより作成される2人の対話(talk)はメッセージャーで提供されるインターフェースと同一します。上の画面がメッセージャーでの2人の対話であれば、下のようなジャバアプレットの対話と連動しチャットを進行することができます。



5.2 ウェブメールサービス

ウェブメールを使用するためには1章で説明しているProcmailを設置しなければなりません。ウェブメールは使用権が確保されたイントラセルとユーザーに限り有効です。ウェブメールに関する環境設定はイントラセルの環境設定と各個人の環境設定に含まれております。

イ、サービス URL リンク

HTML文書ではレベルを確認しレベル1以上であるユーザーにウェブメールサービスを利用することができるようにリンクします。

次は簡単な2つの方法を説明しています。

例 1) 単純なリンク方式

```
#!if lv>0; <a href="/_mail/">ウェブメール</a> #!fi;
```

例 2) “#!popup...;”構文活用

```
#!if lv>0; <a href=# onclick=#!popup,webmail,width=800,height=600;">ウェブメール</a> #!fi;
```

“#!if lv>0;”はイントラセルの登録ユーザーを意味します。2番目の例で“#!popup.webmail;”はウェブメールサービスのための別のウィンドウを生成させます。可能であれば2番目の方法を利用することをお勧めします。ジャバスクリプトを利用し別のウィンドウを生成する方法として次の方法もあります。

```
<script language=javascript>
function open_window(url){
    opt=width=800,height=600,menubar=0,toolbar=0,scrollbars=1,resizable=1';
    window.open(url,"pop_577",opt);
    return false;
}
</script>
<a href="#" onclick="event.returnValue=false;oeprn_wiow('#!href.webmail;');">ウェブメール</a>
```

上のような方法でリンクし使用すると残りのウィンドウ構成は設定値にしたがって自動的にバイナリが必要なフレームを構成し、ウェブメールサービスを構成するようになります。

その他の設定

ウェブメールを使用できるようにセジオはウェブメールユーザーをバーチャルユーザーテーブルに定期的に登録します。ウェブメールのバーチャルユーザーテーブルが自動的に再作成される過程でシステム管

理者が追加した他のバーチャルユーザーを削除することができます。これはウェブメールのアドレスで使
されるローカルホスト名の設定でも同一に作動します。

“/etc/shttpd/conf/”には“m_localhost.conf”などのファイルがあり、これらはそれぞれ/etc/mail/の“loc
al-host-names”と“virtusertable”に自動的に挿入されます。各ファイルの編集方法は“virtualusertable”、“l
ocal-host-names”の編集方法と同様です。

ロ、ウェブメールの環境設定

ウェブメールの環境設定はイントラセル環境設定の一部として管理されます。次はイントラセル環境設
定に含まれたウェブメール部分の環境設定の図です。

メール文字セット	euc-jp	Webmail Headの高さ	152
メールサイズ	0	WebMail Menuの広さ	210
メール受信文字セット	euc-jp		
掲示板転換	Receiver ID	Redirection Board	brd

ウェブメールはブラウザの画面を上部 (m_top)、左下部 (m_menu)、右下部 (m_body) の三つのフレームに
分割して使用します。トップフレームの高さを0に指定すると、m_menu、m_bodyなどの二つのフレーム構造
で構成されるようになります。m_menuフレームはメールボックスとサービスをリンクする用途で活用され、
m_bodyフレームはメール確認、メール編集などの用途で使用されます。

トップフレームの高さ	⇒	トップフレームの高さ、0に設定すると2フレームで作動
メニューフレームの高さ	⇒	メニューフレームの横幅の最小80最高300以内で調整される
有効の広さ	⇒	ボディフレームの横使用の広さ(基本600pixel、%単位でも入力可能)
メール文字セット	⇒	メールを送信する時基本となる文字セット
編集容量	⇒	新規メール作成の許容される資料の大きさ(ファイル同封数を含む)
添付ファイル	⇒	メール作成に許容されるファイルの個数
inCharset	⇒	文字セットが指定されないメールに基本的に適用させる文字セット

各国同一する言語圏ではメールに使用される文字セットを指定しなくても互いに基本で認識する場合が

ほとんどです。例えば、日本では“EUC-JP”という文字セットを基本として使用しており、日本国内どのメールサーバに“EUC-JP”であることを表示しないメールを送ったとしても文字化けせずに読むことが可能です。韓国の場合は“EUC-KR”、中国の場合は“EUC-CN”などの文字セットが電子メールに使用される基本文字セットとなります。受信文字セットは文字セットを指定しないメールが到着した時、基本的に適用される文字セットを設定します。

掲示板転換(mail2board)

掲示板の転換とはユーザーに届く電子メールを指定させた掲示板に迂回し保存する機能です。掲示板転換は受信するID(イントラセルのUID)と迂回し保存する掲示板をひとまとめにして指定します。受信者のIDは空白で区分し複数入力することができます。

電子メールはESMTPで指定するMIME構造で保存され掲示板と他の資料構造とを持つようになるので掲示板に保存するために変換過程を経ます。電子メールが持つ追加的な情報は掲示板の拡張変数に一定の様式で保存されます。

ハ、ウェブメールの構成

ウェブメールは加入したユーザーが開発的に使用するサービスです。イントラセルの管理者はウェブメールのインターフェースを作成し管理しなければなりません。すべてのウェブメールユーザーはイントラセル管理者が指定同一するウェブ構成を利用するようになります。次の図はウェブメールの一例です。



前で説明したようにウェブメールは基本の3つのフレーム形式から構成されます。ユーザーに悠然なユーザーインターフェースを提供するためイメージなどを混合しデザインするようになるとイントラセルの“html/webmail/”の下位構造に保存するようお勧めします。随時正しく構成された他のウェブメールのデザイン形式に変更する時、一定の様式で構成すると大変効果的です。

#!m;フィルタコード

ウェブメールの専用フィルタでだけ作動するフィルタコードです。ウェブメールは掲示板のように多数の専用フィルタを採択して使用しますがデザインの構成においては多少自由自在とはいかないという特性があります。専用フィルタでは与えられた範囲内で#!m…形式のフィルタコードを活用しデザインを変更することができます。

#m.viewname;	⇒ タイトルを表示する 例) 受信メールボックス、送信メールボックス、メール作成、Administration;
#m.compose;	⇒ メール作成リンク
#m.inbox;	⇒ 受信メールボックスリンク
#m.sentbox;	⇒ 送信メールボックスリンク
#m.spambox;	⇒ 迷惑メールボックスリンク
#m.trashbox;	⇒ 削除したメールボックス(ゴミ箱)リンク
#m.userboxes;	⇒ ユーザーが追加されたメールボックスリンク(テーブルで複数でリンクする)
#m.address;	⇒ マイアドレスブック管理ツールリンク
#m.mymailbox	⇒ メールボックス管理ツールリンク
#m.mysetup;	⇒ ユーザーウェブメール環境設定リンク
#m.href.mymailbox;	⇒ 受信メール(受信箱)管理 URI
#m.href.mysetup;	⇒ マイ環境設定 URI
#m.href.address;	⇒ マイアドレスブック管理 URI
#m.href.addressfind;	⇒ マイアドレスブック検索 URI (メール編集フィルタからアドレスブックブラウジング用)
#m.href.setup;	⇒ ウェブメール環境設定 URI
#m.href.spam;	⇒ 迷惑メールフィルタリング管理ツール URI
#m.myfolder;	⇒ マイフォルダ エディタ
#m.mboxquota;	⇒ 許容されたウェブメール空きスペース容量(レベルによって異なる)
#m.mboxdata;	⇒ 全体メールボックスが使用したディスクの容量を表示(KB, MB など記号表示を含む)
#m.mboxusage;	⇒ 使用量百分率の数(ジャバスクリプトで棒グラフ表示可能)
#!m.mboxlist;	⇒ すべてのメールボックスの状況表示(ボディフレームで使用)

次は電子メールの属性と関連した予約語として電子メールを確認したり、送信したりするために電子メールを編集するフィルタで使用されます。

<code>#!m.composesize;</code>	⇒ 新規メール編集のサイズ制限
<code>#!m.to;</code>	⇒ 電子メールの受信
<code>#!m.cc;</code>	⇒ 電子メールの参照
<code>#!m.bcc;</code>	⇒ 電子メールの隠れ参照
<code>#!m.subject;</code>	⇒ 電子メールのタイトルを表示
<code>#!m.context;</code>	⇒ 電子メールの本文を表示
<code>#!m ctype;</code>	⇒ 電子メールの本文のContent-typeを表示(基本はtext/plain)
<code>#!m.date;</code>	⇒ メール送信の日時
<code>#!m.m_list;</code>	⇒ 電子メールのリスト表示へ
<code>#!m.m_del;</code>	⇒ 電子メールの削除
<code>#!m.mboxselect;</code>	⇒ メールボックス移動のためのメールボックスの選択表示
<code>#!m.m_move;</code>	⇒ 電子メールの他のメールボックスに移動
<code>#!m.m_forward;</code>	⇒ 電子メールのforward
<code>#!m.m_up;</code>	⇒ 上のリストの電子メール読み込み
<code>#!m.m_down;</code>	⇒ 下のリストの電子メール読み込み
<code>#!m.data;</code>	⇒ 電子メールのサイズ
<code>#!m.mails;</code>	⇒ メールボックスのメール数
<code>#!m.mailno;</code>	⇒ メールボックスでの現在のメール番号

次は電子メールのリストを表示する専用フィルタで使用する予約語です。メール読み込みフィルタと共通に使用される予約語が存在し、これは状況によって異なって作動します。

<code>#!m.querybox;</code>	⇒ メールボックス検索フィルタと検索入力欄の表示
<code>#!m.list;</code>	⇒ メールリストの表示
<code>#!m.m_list;</code>	⇒ メールリストをもう一度開きリストを表示
<code>#!m.pagemenu;</code>	⇒ メールボックスのページメニュー表示
<code>#!m.m_remove;</code>	⇒ メールボックスの削除
<code>#!m.mboxselect;</code>	⇒ メールボックス移動のためのメールボックス選択を表示
<code>#!m.m_move;</code>	⇒ 選択されたメールをメールボックスへ移動させるアイコンメニュー
<code>#!m.data;</code>	⇒ メールボックスの使用データ量
<code>#!m.totalmails;</code>	⇒ メールボックスの全体メール数
<code>#!m.mails;</code>	⇒ メールボックスの現在検索されたメール数
<code>#!m.pages;</code>	⇒ メールボックスの現在ページ数
<code>#!m.pageno;</code>	⇒ メールボックスリストの現在ページ番号

#!addr; フィルタコード

#!addr;フィルタコードはウェブメールに付加的に使用するメールアドレスブックに関連した予約語として主

にウェブメールアドレスを検索する画面である“/filter/mail/addr_browse.html”フィルタファイルで使用され、次のような種類があります。

#addr.query;	⇒ 検索 クエリーで入力された文字列; ex) <input name=query value=#addr.query;>
#addr.m_seek;	⇒ 検索(アイコン表示)
#addr.list;	⇒ アドレスブックのフォルダまたはフォルダ内のアドレスリスト出力
#addr.m_top;	⇒ アドレスブック検索で最上位へ移動(アイコン表示)

ウェブメール専用フィルタ

ウェブメールは3段フレームを基本に構成されますが、これは次の表に整理されたとおりです。

フレーム名	フレームID	説明	備考
ヘッドフレーム	m_head	ウェブブラウザの上の部分占める。	
メニューフレーム	m_menu	ウェブブラウザの左側の部分、管理ツール、メールボックスリスト	
ボディフレーム	m_body	ウェブブラウザの残りの部分、メールリスト、書き込み	

次の七つのファイルはユーザーインターフェースを構成することに関連しており、イントラセル“filter/mail/”ディレクトリに位置します。よってディレクトリエディタによる編集が可能です。

addr_rcpt.html	⇒ メール作成/アドレスブック検索ウィンドウで左側のフレーム
addr_browse.html	⇒ メール作成/アドレスブック検索ウィンドウで右側のフレーム #[];
frm_head.html	⇒ m_headフレームの基本画面構成
frm_menu.html	⇒ m_menuフレームの基本画面構成
frm_body.html	⇒ m_bodyフレームの基本画面構成
m_edit.html	⇒ m_bodyフレーム、メール編集画面構成
m_view.html	⇒ m_bodyフレーム、メール確認
m_list.html	⇒ m_bodyフレーム、メールボックスのメールリスト

右側に“#[];”表示がある構成ファイルは必ず“#[];”構文を含むように構成しなければなりません。セジオ3.0のウェブメールでは掲示板のようにメール確認、メール作成、メールリスト管理画面を細かいウェブデザインとしての作業が不可能です。

ウェブメールの構成文書

ウェブメールはイントラセルの“html/segio/mail/”下位ディレクトリに関連するウェブ文書とイメージファイルを位置させるよう勧奨しています。

html/segio/mail/	⇒ ウェブメールのイメージ及びウェブ文書を位置させることを勧奨
html/segio/mail/index.shell	⇒ ウェブメールと共に使用される機能で採択する基本セル
html/segio/mail/mail.css	⇒ ウェブメールフィルタ、シェルでよく呼び出され使われるcss(必須でない) *MyFolderなどの機能で基本セルとして採択し使用する

ウェブメール文書のstyle適用

ウェブメールを構成に関連したすべての文書はディレクトリ管理ツールを利用し管理することができます。それぞれの文書がフィルタリングしながらウェブメールバイナリから生成されるHTMLの領域についてStyleを適用するようにclassとして予約しています。次は実行結果の生成されたHTML文書の例です。

```
<tr>
<td class=cell4name>アドレス</td>
<td class=cell4input><input class=inputcell style=width:100%></td>
</tr>
<tr><td colspan=2 class=cell4textarea><textarea></textarea></td></tr>
```

上のような形態でウェブメールの実行結果があらわれるとCSS技法を利用しHTMLの各構成要素のウェブデザインの構成を簡単に変更し一貫性を維持するように構成することができます。次はウェブメールバイナリで“<td>”、“<input>”などに使用するクラスについての要約内容です。

classネーム	用途説明	備考
cell4name	入力フォームで入力項目名を位置させるtd	
cell4value	メール確認で“夏<summer@smkseek.com>”td	
cell4input	入力するためのセル(inputの境界線はnoneである)	
cell4textarea	メール確認で本文編集のためのtd	
cell4list	メール、アドレスブックなどのリストで一般リスト構成td	
cell4last	メール、アドレスブックなどのリストで最後のリストからのセル	
cell4headline	メールリストでヘッドライン構成のth	
cell4pages	メールリストでPageを表示するセル	
cell4title	cell4nameより上位概念の名前を位置させるのに使用	

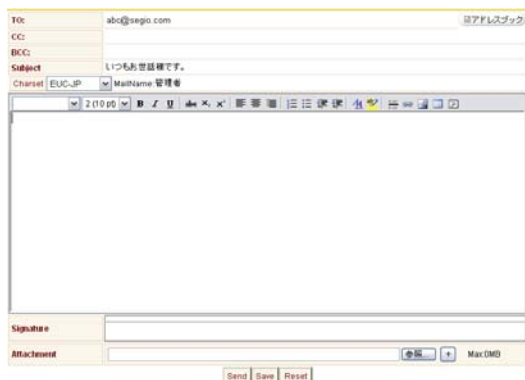
次は一部classについてのCSSstyle適用の具体的な例です。

```
<style>
.cell4name { border-style:outset; border-width:1px; padding:0,3,1,3; }
.cell4input{ border-style:inset; border-width:1px; padding:0,0,0,0; }
.inputcell { border-style:none; border-width:1px; padding:0,0,0,0; }
.cell4list { height:20;border-bottom-style:solid; obder-bottom-width:1px; paddind:0,4,1,4; }
.cell4list { height:20;border-bottom-style:solid; border-bottom-width:3px; border-color:#0f0f0; }
</style>
```

セジオウェブメールは'filter/mail/'以下の専用フィルタによりすべての使用サービスが 統制されるのでこれらのフィルタ文書に上のようなスタイルの定義文を含ませることができます。また管理と関連したサービスは'html/segio/mail/index.shell'ファイルにより生成されたHTMLコードが構成されるのでその場でスタイルを定義することができます。

電子メールの編集フィルタ

“filter/mail/m_edit.html”ファイルは電子メールの編集フィルタであり、掲示板の編集フィルタと類似する構成を持っています。電子メールの編集フィルタは新規メールのforwarding、返信メール編集、forwarding編集の編集用として使用されます。電子メールのforwardingと返信メール作成は基準メールの属性(プロパティ)を一部、相続されます。相続対象の属性(プロパティ)としては本文内容、本文内容に含まれたファイル、添付ファイルなどがあり、forwardingは添付ファイルが自動的に含まれるようになるが返信作成では本文内容の包含ファイルのみ挿入されます。次は電子メールの編集フィルタによるメール作成ウィンドウの図です。



The screenshot shows a web-based email composition interface. At the top, there are input fields for 'To:' (filled with 'abo@segio.com'), 'CC:', 'BCC:', and 'Subject:' (filled with 'いつもお世話様です。'). Below these is a 'Charset' dropdown set to 'EUC-JP'. A large, empty text area for the email body occupies the center. At the bottom, there are fields for 'Signature' and 'Attachment', and a row of buttons: 'Send', 'Save', 'Reset', '全編' (Full Edit), and 'Max DND'.

次は電子メールの編集フィルタのジャバスクリプトの要約内容です。

```

<script language=javascript>
function address_browser(){
  window.open('/_m.href.addressfind;', 'address_win', 'width=600,height=400,scrollbar=1,resizable=0'),
}
function set_rcpt(no, value){
  var ele=null;
  if(no==1)ele=document.editform.to;
  if(no==2)ele=document.editform.cc;
  if(no==3)ele=document.editform.bcc;
  if(ele!=null)ele.value=value;
}
function plus_filefield(form)
{
  count=form.count.value;
  if(count>5)return false;
  count++;
  form.count.value=count;
  str = '<br><input type=file name=file style=width:99%>';
  document.all.filefield.innerHTML+=str;
  return false;
}

```

“address_broser()”関数と“set_rcpt()”関数は電子メールアドレスブックからアドレスを検索するのに重要な役割を果たし、電子メールアドレスと関連した“filter/mail/addr_rcpt.html”に含まれたジャバスクリプトと大変緊密に関連しています。“plus_filefield()”関数は添付ファイルの数を増やす機能をします。次は電子メール編集 のHTMLを要約した内容です。

```

<head>
<!-- ジャバスクリプト -->
<title>セジオウェブメール</title>
<link href="/segio/mail/mail.css" rel="stylesheet" type="text/css">
</head>
<font size=3><b>新規メール作成</b></font>
<table width=100% border=0 cellsapcing=2 cellpadding=0>
<form name=editform method=post enctype="multipart/form-data" target=action_target>
<tr>
<td>TO: </td><td><input name=to value="#!m.to;" class=input></td>
<td>

</td></tr>
<tr><td>CC: </td> <td colspan=2><input name=cc value="#!m.cc;" class=input></td></tr>
<tr><td>BCC:</td> <td colspan=2><input name=bcc value="#!m.bcc;" class=input></td></tr>
<tr><td>題目</td> <td colspan=2><input name=subject value="#!m.subject;" class=input></td></tr>
<!-- 文字及び特性設定 -->
<tr><td colspan=3>
<textarea name=context>#!m.context;</textarea>
</td></tr>
<tr><td>署名</td><td><pre>#!m.signature0;<hr>#!m.signature1;</pre></td></tr>
<input type=onfile type=hidden value="">
<tr><td><a href=# onclick="#!popup,onfile;" >ServerFile</a><td id=serverfile> </td></tr>

<tr><td>Attachment</td><td id=filefield>
<input type=file name=file style=width:99%;"></td>
<td><input type=button value='+' OnClick="plus_filefield(this.form)" ></td>
<td>容量:#!m.pquota;MB</td></tr>

<tr><td colspan=3 align=center>
<input type=submit value='送信' name='act_send '>
<input type=submit value='保存' name='act_save '>
<input type=reset value='初期化' class=button name='act_reset '>
</td></tr>
</form></table>

<!-- DHTML エディタの呼び出し区間 -->
<iframe scrolling=no frameborder=0 height=0 width=0 name="action_target"></iframe>

```

次は文字セット及び発信名を入力するHTMLの要約内容です。

```

<tr><td colspan=3 class=cell4input>
文字セット
<select name=charset>
<option value='UTF-8'>ユニコード</option>
<option value='EUC- JP ' selected> EUC-JP </option>
<option value='ISO2022JP'>ISO2022JP</option>
<option value='EUC-CN'>EUC-CN</option>
<option value='EUC- KR ' > EUC- KR </option>
</select>
発信名:<input class=input name=mailname value='#!m.mailname;'>
</td></tr>

```

上で文字セットは選択することができるようになっていますがユーザーはウェブメールを送信する時ウェブメールがどの文字セットで設定させるのかを決定します。次は DHTMLによるウィジウィグエディタを呼び出すHTML構文です。セジオウェブメールでは掲示板で使用するDHTMLエディタを使用します。

```

<script language=" Javascript1.2">
<!--
_editor_url = "/icons/editor/";
var win_ie_ver = parseFloat(navigator.appVersion.split("MSIE")[1]);
if (win_ie_ver >= 5.5) {
    document.write('<scr' + 'ipt src="'+_editor_url+'editor.js">');
    document.write(' language=" Javascript1.2"></scr' + 'ipt>');
} else {
    document.write('<scr'+ipt>function editor_generate() { return false; }</scr'+ipt>');
}
-->
</script>
<script language="javascript1.2">
editor_generate('context');
</script>

```

電子メールのリストフィルタ

電子メールのリストフィルタは送信メールボックスを開いた時、メールリストをページ単位に割り当てて表示する役割をします。次は電子メールリストの例です。

					SEGIO	
	メールボックス選択		Mail:3			
☐	番号	件名	送信者	日付		
☐	003	事業提案書です。	管理者	21:19:17	4.0K	
☐	002	来月の行事内容について連絡します。	管理者	21:16:15	4.0K	
☐	001	新入社員の歓迎会についての連絡事項	管理者	09/27	4.0K	
< 01 >						
	メールボックス選択		全体			

上の図からも分かるように送信メールボックスを開くと電子メールリストがあらわれ、リストでは電子メールを選択し、削除やメールボックスの移動、検索、全体リストの再確認などの機能がサポートされます。次はリストフィルタの要約内容を表示します。

```
<title>セジョウェブメール</title>
<script language="JavaScript">
function reverse_check(tform) {
    var ij;
    var checked=tform.reverse_ck.checked;
    for(i=1,j=tform.elements.length;i<j;i++){
        var ele=tform.elements[i];
        if(ele.name=="normal_ck"){ele.checked = checked?!ele.checked:checked;}
    }
    return;
}</script>
<style>
.cell4list{ border-bottom-style:solid;border-bottom-width:1px;border-color:#FF99AA;padding:'0,3,0,3'}
.cell4last{ border-bottom-style:solid;border-bottom-width:3px;
    border-color:'#!style.barriercolor;';padding:'0,3,0,3'}
.cell4headline{border-bottom-style:solid;border-bottom-width:3px;
    border-color:#C38F54;padding:'0,3,0,3'background-color:#F3E1CA; font-size:12px;}
</style>
<body bgcolor=#FFFFFF leftmargin=0 topmargin=0 marginwidth=0 marginheight=0>
<table border=0 cellspacing=0 cellpadding=0>
<form method=post enctype=multipart/form-data target='action_mlist'>
<tr><td>#!m.viewname;</td></tr>
<tr><td>#!m.list;</td></tr>
<tr><td>#!m.pagemenu;</td></tr>
<tr><td>#!m.m_remove; #!m.m_boxselect; #!m.m_move;</td>
    <td>メール:#!m.mails;</td><td>#!m.querybox; #!m.m_list;
</td></tr></table>
<iframe src="about:blank" scrolling=no frameborder=0 height=0 width=0 name="action_mlist"></iframe>
</body>
```

電子メールの表示フィルタ

電子メールの表示フィルタは次の図のように電子メールのないようを確認する用途で使用されます。



次は電子メールの表示フィルタの要約内容です。

```

<link href="/segio/mail/mail.css" rel="stylesheet" type="text/css">
#m.viewname;
<table width=100% border=0 cellspacing=0 cellpadding=0>
<form method=post target='action_mview' enctype='multipart/form-data'>
<tr><td>
  <table width=100% border=0 cellspacing=0 cellpadding=0>
    <tr><td>
      #m.m_reply;返信作成; #m.m_forward; #m.m_print,인쇄;&nbsp; #m.m_up; #m.m_list; #m.m_down;
    </td><td align=right>
      #m.m_remove; &nbsp; #m.mboxselect; #m.m_move;
    </td></tr></table>
  </td></tr>
<tr><td width=20% class=cell4name>題目:</td><td width=80% class=cell4value>#m.subject;</td></tr>
<tr><td width=20% class=cell4name>送信</td><td width=80% class=cell4value>#m.from;</td></tr>
<tr><td width=20% class=cell4name>受信</td><td width=80% class=cell4value>#m.to;</td></tr>
<tr><td width=20% class=cell4name>CC</td><td width=80% class=cell4value>&nbsp;#m.cc;</td></tr>
<tr><td width=20% class=cell4name>BCC</td><td width=80% class=cell4value>&nbsp;#m.bcc;</td></tr>
<tr><td width=20% class=cell4name>&nbsp;</td>
<td width=80% class=cell4value>#m.ctype; &nbsp;#m.charset;&nbsp;#m.date;</td></tr>
<tr><td width=20% class=cell4name>Disposition:</td><td width=80% class=cell4value>
  #m.file;</td></tr>
<tr><td colspan=2 class=cell4context>
  #m.context;
</td></tr>
</td></tr></form></table>
<iframe src="about:blank" scrolling=no frameborder=0 height=0 width=0 name="action_mview"></iframe>

```

ウェブメールのメニューフレーム

ウェブメールのメニューフレームは迷惑メールボックス、ゴミ箱を空にする機能を追加するために次のような形式で作成することができます。

```

<body bgcolor>
<style>.cell4foldername { padding='2,0,1,20';font-size:8pt;} </style>
<table border=0>
<form method=post target=action_menu enctype=multipart/form-data>
<tr><td>#m.compose;</td></tr>                                <tr><td>#m.sentbox;</td></tr>
<tr><td>#m.inbox; &nbsp;&nbsp;&#u.newmail;</td></tr>
<tr><td>#m.spambox;</td></tr>
<tr><td><input type=image name=act_cleanspam src="/segio/mail/empty_mbox.gif"   align=absmiddle onclick="event.returnValue=confirm('迷惑メールを空にしますか?');"> </td></tr>
<tr><td>#m.trashbox;
<tr><td><input type=image name=act_cleantrash src="/segio/mail/empty_mbox.gif"   align=absmiddle onclick="event.returnValue=confirm('ゴミ箱を空にしますか?');"> </td></tr>
<tr><td>#m.userbox;</td></tr>
<tr><td><input name=newbox value=" " style=border-style:outset;border-width:1px;></td></tr>
<tr><td>#m.mysetup;</td></tr>    <tr><td>#m.mymailbox;</td></tr>
<tr><td>#m.address;</td></tr>    <tr><td>#m.myfolder;</td></tr>
<tr><td>
#&#if l.lv>8; .... ウェブメール管理ツール ... #!fi;
</td></tr></form></table>
<iframe width=0 height=0 name=action_menu frameborder=0></iframe>

```

ゴミ箱(trashbox)、迷惑メール(spambox)などはすべてのメールを一度に削除する“メールボックスを空にする”という機能が提供されます。空にするというボタンをクリックすると次のようなダイアログが生成されます。“確認”を選択するとダイアログの内容が実行され取消を選択すると実行されずそのまま終了します。



メニューフレームの基本構成は“<form>～</form>”構文を活用しており、多数のsubmit形態であるinputタグが含まれます。ユーザーのメールボックスの作成や、ゴミ箱及び迷惑メールを空にする機能などでポストの目的としてiFrameを使用しました。

次はメニューフレームに含まれる管理メニューの原文です。

```
<script language="JavaScript">
<!--
function admin_page_change(Select) {
    idx=Select.selectedIndex;
    if(idx>0){
        str=Select.options[idx].value;
        if(str.length>1)top.m_body.location.replace(str);
    }
    Select.selectedIndex = 0;
}
-->
</script>
<select name=admin_menu onChange=" admin_page_change(this);" style="width:165">
    <option value="">ウェブメール環境設定</option>
    <option value="">-----</option>

    <option value="#!m.href.setup;">環境設定</option>
    <option value="#!m.href.spam;">迷惑設定</option>
</select>
```

メニューフレームで構成される受信メールの定義フォルダはユーザーが管理するフォルダのリストを表示できるようになり、<table>～</table>タグにより構成されます。ウェブメールのアイコンはイントラセルの環境設定で表示した掲示板アイコンを共に使用します。

"#!m.userboxs;"はユーザーが作成したメールボックスリストとして置き換えられます。ユーザーの作成したメールボックスリストは次のようなテーブル形態で表示されます。

```
<table>
<tr><td class=cell4foldername><a href=... target=m_body>友達1</a></td></tr>
<tr><td class=cell4foldername><a href=... target=m_body>友達2</a></td></tr>
<tr><td class=cell4foldername><a href=... target=m_body>友達3</a></td></tr>
...
</table>
```

テーブルのセルは" class=cell4foldername"と指定され" <style> ... </style>"のタグ構文を利用しテーブル

セルの特性を変更することができます。

メニューフレームでユーザーが作成したメールフォルダのリストはディレクトリリストで次のようなアイコンを採択しています。

/icons/mbox_list.gif	⇒ “#!m.userbox;” のリストで一般メールの前に表示されるアイコン
/icons/mbox_last.gif	⇒ “#!m.userbox;” のリストで最後のメールの前に表示されるアイコン
/icons/mbox_spam.gif	⇒ 迷惑メールの前に表示されるアイコン
/icons/mbox_in.gif	⇒ 受信メールに表示されるアイコン
/icons/mbox_sent.gif	⇒ 送信メールに表示されるアイコン
/icons/mbox_user.gif	⇒ ユーザーが作成したメールに表示されるアイコン
/icons/mbox_temp.gif	⇒ 臨時保管メールに表示されるアイコン

二つのアイコンは共有ウェブ資源を活用するようになります。他のアイコンに入れ替える場合は各インタセルの “html/icons/file/” 中に位置させるようにします。

```
<style>
.cell4foldername { padding-left:4px;font-size:12pt; }
</style>
<table border=0 cellspacing=0 cellpadding=0>
<tr><td style=padding-left:10px;>
#!m.userbox;
</td></tr>
<tr><td style=padding-left:30px;>
<input name=newbox value="" style=border-style:inset;border-width:1px;width:80px;>
</td></tr></table>
```

次の図は上のようにメニューフレームで構成されたメニューフレームの実際の図例です。



customer, develop, friendsなどの左側のアイコンは実線がつながったように表示されていますが、これは

“mbox_list.gif”です。winboxはリストの終わりであり、“mbox_last.gif”がアイコンで繋がれ実線連結が最後に表示されました。

下の入力ウィンドウにユーザーが新しく生成したいメールボックスを選択しエンターキーを押すと新たにメールボックスが設置されます。

アドレスブックの検索

メールを送信する時アドレスブックを検索し受信、CC、BCCを指定することができます。次はアドレスブックを検索できるように提供されるポップアップウィンドウです。

The screenshot shows an email composition window with a search popup for the address book. The popup has a table with columns for selection (checkboxes), name, and email address. The contacts listed are:

to cc bcc	ネーム	電子メール
☒	山田太郎	id001@jp.segio.com
☒	佐藤花子	id002@jp.segio.com
☒	坂下玲奈	id23@jp.segio.com
☒	高橋雅夫	id003@jp.segio.com
☒	黒川美智子	id035@jp.segio.com

Below the table, there is a copyright notice: "Copyright 2005, KSEEK Co., Ltd. all right reserved".

図は左側と右側のフレームに分けられそれぞれ“addr_rcpt.html”、“addr_browse.html”のメール専用フィルタにより作られます。右側のフレームにあるウェブメールアドレスのチェックボックスを選択すると自動的に左側のフレームのメール受信部分が完成されます。次は “addr_rcpt.html”の要約内容です。

```

<title>セジオウェブメール</title>
<script>
function set_rcpt_value(no,sss)
function set_mail_address(form)
function remove_from(ele,vstr)
function refresh_view(ele,sss)
function refresh_list(val1,val2,val3,val4)
function refresh_views()
function terminate(form)
function terminate_nothing()
</script>

<body bgcolor=#FFFFFF>
<table border=0 cellspacing=0 cellpadding=1><form name=form>
<tr height=30><th bgcolor=#e0e0FF class=outset1>
メール受信
</th></tr><td><table width=100%>
<tr><td height=2></td></tr>
</th></tr><tr><td class=none style=padding:3;>
TO:
</td></tr><tr><td>
<input type=hidden name=to value="">
<textarea name='to' readonly></textarea>
</td></tr><tr><td height=2></td></tr>
</th></tr><tr><td style=padding:3;>
CC:
</td></tr><tr><td>
<input type=hidden name=ccs value="">
<textarea name='cc' readonly></textarea>
</td></tr><tr><td height=2></td></tr>
</th></tr><tr><td style=padding:3;>
BCC:
</td></tr><tr><td>
<input type=hidden name=bccs value="">
<textarea name='bcc' readonly></textarea></td></tr><tr><td align=center>
<input type=button name=ending value="完了" onclick="terminate(this.form);">
<input type=button name=cancel value="取消" onclick="javascript:terminate_nothing();">
</td></tr>
</table>
</td>
</tr></form></table>

```

ジャバースクリプトは本文の構成と大変密接に関連しているので各構成単位のnameやidに関する属性はそのまま維持する範囲内でHTMLの変形が許容されます。ジャバースクリプトは電子メール編集フィルタのジャバースクリプトを呼び出しするように連係させるのでなるべく修正しないようにしてください。次は“addr_browse.html”の要約内容です。

```
<script language="Javascript1.2">
function check_all(th)
function form_check(tform,th,ino)
function init_check(no,sss)
function initialization()
function refresh_list(istr,sub)
</script>
<body onLoad="javascript:initialization();">
<table width=100% border=0 cellspacing=0 cellpadding=0>
<form name=form target=action_addrbrowse method=post>
<tr height=30><td>

<table width=100% border=0 cellspacing=0 cellpadding=0 height=30>
<tr bgcolor=#e0e0ff><td width=20 align=center><img src=/icons/file/dir.gif border=0></td>
<td>#!addr.viewname;</td><td align=right>
  <table><tr><td width=20 align=center>#!addr.m_top;</td>
    <td><input name=query value="#addr.query;" ></td>
    <td>#!addr.m_seek;</td>
  </tr></table>
</td></tr></table>

</td></tr><tr><td>
#!addr.list;
</td></tr></form></table>
<iframe src="about:blank" frameborder=0 height=0 width=0 name="action_addrbrowse"></iframe>
<table width=100%><tr>
<td align=center>Copyright 2005, KSEEK Co., Ltd. all right reserved</td>
</tr></table>
</body>
```

本文に“#![]:”構文はウェブメールの実行ファイルが実行した結果を挿入させる部分です。ウェブメール

の実行部分として生成されるHTMLについて“style”を指定する方式でウェブデザインを変更することができます。包含されたジャバスクリプトは実行部分のHTMLと密接な関係にあるのでなるべく修正しないことをお勧めします。

二. ユーザー管理の項目

ウェブメールのユーザーはウェブメールと関連した管理者の環境設定とユーザーアドレスの登録などを管理することができます。

ユーザーが作成したメールボックス

ウェブメールのユーザーは受信箱(inbox)、送信済みメール(sentbox)、ゴミ箱(trashbox)、迷惑メール(spambox)などを基盤にしており、必要に応じて追加的なメールボックスを新設し管理することができます。次はメールボックスの管理ツールを表示しております。

▶ 管理者(segio@jp.segio.com)さんのウェブメールです。 User Level : 9 [現在使用量 : 1 総使用量 : 10 MB]

☑ 受信メールボックス	4	16K
☑ 送信済みメール	7	28K
☑ 迷惑メール	0	0.0K
☑ 友達	0 削除	0.0K
☑ 取引先	0 削除	0.0K



左下段の入力部分にメールボックス名を入力してボタンをクリックすると新しいメールボックスが開設されます。メールボックス名にはドット(.)、スラッシュ(/)、引用符(")などの特殊文字を除外して日本語やハンゲル、中国語などを使用することができます。

ユーザー環境設定

イントラセルの登録ユーザーは個人のホームページを持つ場合、自分自身の下位コミュニティを構成す

ることができ、ウェブメールと環境設定のための次の環境設定を表示することができます。

次の図はウェブメール使用者の環境設定ツールです。

個人ホーム設定

ネーム

リストの長さ0

表示物の容量0

ページの長さ0

表示欄容量0

掲示板アイコンユーザー

色相設定

BorderColor#EEEEEE

BodyBGcolor#FFFFFF

TextBGcolor#FFFFFF

ListBGcolor#FFFFFF

ListOvcolor#F6F6F6

ListSWcolor#EFEFEF

TextColor#333333

AtextColor#333333

BarrierColor#D8D8D8

HeadBGcolor#EFEFEF

ReverseColor#666666

NameBGcolor#EFEFEF

掲示板上段

掲示板下段

個人メール設定

通信住所

メール文字セット

メール名

スイッチ選択

☐ フォワード

☐ 迷惑メールフィルタリング

☐ 掲示板保存

☐ 分離受信

自動削除

迷惑メール00

Day(s)

ゴミ箱00

Day(s)

フォワード

サイン

サイン*

掲示板保存

送信者アドレス

タイトルヘッド

ターゲットボード

_____ .brd

分離受信

適用

初期化

重要な設定項目についての機能説明は次のようになります。

設定項目	説明	備考
返信アドレス	電子メールを送信する時送信するアドレス以外の返信アドレスがある場合	Reply-to:
文字セット	電子メールを送信する時基本的に送信する文字セットの種類	
選択事項	着信転換子、スパム（迷惑メール）、掲示板転換、分離受信などを設定したとおりにするかどうかを選択	
自動整理	定期的にメールボックスの古くなったファイルを整理する機能 0として設定されると作動しない	
着信転換	届いたメールを保存しないでもう一度送信するアドレスを入力 複数で入力が可能であり、自分自身の 電子メールをもう一度入力すると保存される	.forward

掲示板の転換機能は到着したメールの発送アドレスと題目(タイトル)の始めの部分を検索し一致する場合、指定された掲示板に保存させます。例えば、携帯電話のカメラで撮った写真の題目を “[写メール]”と

162

言う題目で入力したメールを送信してウェブサーバでは特定掲示板で自動的にウェブサーバ上げられるように具現することができます。発信した電子メールアドレスは一行に一つずつ入力して題目の始めの条件も同様に一行に条件を一つずつ入力します。両側の一行以上を同時にぴったり合う場合掲示板として保存されます。

分離受信は発信者の電子メールアドレスを条件として分岐し特定のメールフォルダとして保存させるようにする設定機能です。電子メールアドレスを“@sm.kseek.com”のように“@”とドメイン住所としてだけ入力すると該当するドメイン住所から送られたすべてのメールを特定フォルダとして区分し受信することができるようにします。

スパム処理エンジンはMIME-typeの文法エラーのある場合迷惑メールとして規定します。迷惑メールとして処理される特定メールアドレスについて正常に受信を望む場合分離受信にウェブメールと受信箱(inbox)を指定するとスパム処理で救済されます。着信転換、分離受信、掲示板転換などの内容を設定したとしても選択事項から選択しないと作動しません。

アドレスブックの管理検索

メールを送信する時アドレスブックを検索し受信、CC、BCCを指定することができます。ウェブメール使用者はすべて自分自身のアドレスブックを持つようになります。次はアドレスブックの管理画面です。

アドレスブック		友達	
☐	友達 (5)	☐	山田太郎
☐	取引先 (0)	☐	佐藤花子
☐		☐	坂下玲奈
☐		☐	高橋雅夫
☐		☐	黒川美智子
		Remove New	

左側のフォルダ名を入力する部分に名前を入力して“+”をクリックすると入力された名前のアドレスブックフォルダが生成されます。“=”は名前を変更するオプションとしてアドレスブックフォルダ中に最初に選択されたアドレスフォルダ名を入力された名前に変更します。空いているフォルダやユーザーの左側に位置す

るチェックボックスを選択して “remove” をクリックすると該当する資料が削除されます。削除された情報は復旧することができません。次の図は住所登録用のフォームは表示しています。住所登録用フォームは既存の登録住所の編集用、住所の新規登録、メール確認での住所登録時、付加的な情報を編集することができるよう提供されています。新規登録は上の図で“New”ボタンをクリックし登録するとメール確認での住所登録は電子メール住所の後ろに(.)をクリックして登録します。

A screenshot of a web browser window displaying a registration form for Segio webmail. The browser's address bar shows 'http://jp.segio.com - セジオウェブメール'. The form contains several input fields: 'ネーム' (Name), '電子メール' (Email), '電話番号' (Phone Number), 'ファックス番号' (Fax Number), '組織' (Organization), '郵便番号' (Postal Code), and '住所' (Address). There is a '友達' (Friends) dropdown menu next to the Name field. Below these fields is a large 'メモ' (Memo) text area. At the bottom of the form are three buttons: '適用' (Apply), '初期化' (Initialize), and '取消' (Cancel). The browser's status bar at the bottom shows '완료' (Complete) and '인터넷' (Internet).

新規登録方法で上の住所登録ウィンドウが生成されると情報を入力し“作用”ボタンをクリックし完了したら続けて住所を入力するように更新され既存の登録住所を編集する時には保存の完了後ウィンドウが消えてしまいます。

ホ、迷惑メールのフィルタリング設定

電子メールがすべての使用階級で普遍的に使用されながら電子メールを販売促進の宣伝用メールとして使用することが急増しています。特に分別無しに行われているごみ性広報メールでストレスを受ける人々が増えています。Segioは比較的簡単な水準の迷惑メールフィルタリング機能を提供しています。各イントラセルはキーワードの組み合わせで迷惑メールの条件を検索しフィルタリングすることができ、ウェブメールのエンジンは電子メールの構造文法を検索し粗っぽい文法のウェブメールをspamとしてで自動分類しています。次の図はイントラネットの電子メールの迷惑メールフィルタリングキーワードの調律ツールです。

スパム環境設定

件名	昨日の夜はね♪ 合コンのお知らせ 管理No-*****債権代行通知
送信者	marketplace@elancer.co.kr geopia@geopia.co.kr webmaster@news24.com
受信者	
コンテンツ	入金 人件費
ファイル名	readme.zip text.zip

適用

初期化

図で表示している管理ツールはイントラセルの管理者(レベル9)にのみ提供されます。図で表示されているようにタイトル、送信者、受信者、本文、ファイル名などの項目にキーワードの条件は同一に作動されます。

スパムキーワードは一つの条件について一行に記述するようにします。各スパムの条件キーワードは1つ以上のキーワードで設定されます。キーワードは“キーワード”形態で区分されており

それぞれの単語がすべて含まれる時のみスパム条件に満たします。各キーワードはOR(|)の演算子による複数キーワードの組み合わせが可能です。

いくつかのキーワードが羅列される時、各キーワードは包含関係をすべて満足させなければならないことはもちろんキーワードが含まれた順序まで合っていなければなりません。順序に関係なく初めからもう一度単語を探そうという場合にはキーワードの開始にアンダースコア(_)を付けます。次はスパムキーワードを構成する例です。

例1) “英語|日本語|日本語| “_外国人|無料|電話”

例2) “英語|日本語|日本語| “外国人|無料|電話”
⇒1番は順序に関係なく両側のキーワード集団の中で一つずつのみ含むとスパムとしてみなす
⇒2番は両側のキーワード集団の一個以上含まれており、順序が合うとスパムとしてみなす

<http://www.segio.net/>



〒302-830 大田広域市西区屯山2洞 1191番地 郷天ビル 3F
Tel : +82-42-485-7114,7144 Fax : +82-42-482-7995
<http://www.kseek.com/> E-mail : support@kseek.com